

# 令和7年度 第3回（第56回）魚沼市地域公共交通協議会

## 次 第

日 時：令和7年11月7日（金） 13：30

会 場：魚沼市役所本庁舎3階 議会会議室

### 1 開 会

### 2 開会あいさつ

### 3 議 題

（協議事項）

- (1) 第2次魚沼市地域公共交通計画（基本方針、施策等）について・・・資料1

### 4 その他

### 5 閉 会

■協議会と計画策定スケジュール(更新)

- 協議会の予定と魚沼市地域公共交通計画の章構成（案）を以下に示す。
- 今回の協議会では、第1章～第4章について、計画に示す内容を報告する。
- また、第5章の施策については、前回示していなかった施策を新たに追加したことから、前回の施策イメージに加え、ご意見を広く頂きたい。
- また、第6章 計画の達成状況の評価については、本協議会で示す予定であったが、作成中のため、次回の協議会での提示とさせて頂きたい。

表 章構成（案）及び策定スケジュール

章構成（案）	R7年度				
	協議会① R7/6/26	協議会② R7/9/16	協議会③ R7/11/頃	協議会④ R7/12/2	協議会⑤ R8/2月頃
<b>第1章 はじめに</b> …計画策定の背景と目的、位置付け、計画区域、計画期間			●		パブ コメ結果等を含めた 修正案について協議
<b>第2章 地域および公共交通の現状</b> …社会状況、公共交通の現状（アンケート結果等（R7.8実施）からニーズを把握）		○ R6 事業活用 アンケート 結果	●		
<b>第3章 公共交通の課題</b> …第1章、第2章を踏まえた課題整理		○	●		
<b>第4章 基本的な方針、計画の目標</b> …目指すべき将来像、各交通手段の役割、取組の方向性を明確化 ↑統合			●		
<b>第5章 計画の目標</b> …目標の設定					
<b>第5章 目標達成のための施策・事業</b> …具体的な施策・事業を体系的に整理		○ 施策イメージ	○ 引き続き協議	●	
<b>第6章 計画の達成状況の評価</b> …計画の評価・見直しのスケジュール、方法、体制の整理				●	

全章揃えた計画素案として提示  
その後、R8/1月頃パブリックコメント

R7年度中  
に成案

○：協議会での意見出し・協議用に作成

●：計画に示す内容として作成

# 魚沼市地域公共交通計画（資料）

※第6章未作成

令和7年11月

魚沼市地域公共交通協議会

## <目 次>

---

<b>第1章 はじめに</b> .....	<b>5</b>
1.1 計画策定の背景と目的	6
1.2 計画の対象区域と期間	6
1.2.1 対象区域	6
1.2.2 対象期間	6
1.3 本計画の関連計画と位置づけ	7
1.4 前回計画の評価	8
1.4.1 施策の実施状況	8
1.4.2 目標値の達成状況	9
<b>第2章 魚沼市及び公共交通の現状</b> .....	<b>10</b>
2.1 魚沼市の概況	11
2.2 社会状況	12
2.2.1 魚沼市の人口	12
2.2.2 交通事故の状況	15
2.2.3 自動車運転免許保有状況	16
2.3 主要施設	17
2.3.1 医療機関	17
2.3.2 商業施設	18
2.3.3 学校	19
2.3.4 行政施設	20
2.4 通勤・通学の動向	21
2.5 観光	22
2.6 公共交通の現状	23
2.6.1 魚沼市の公共交通概要	23
2.6.2 市内公共交通利用者の推移	27
2.6.3 公共交通に係る市負担額の推移	28
2.6.4 利用者一人あたり市負担額	29
2.6.5 市内の公共交通ドライバー数の推移	31
2.6.6 路線バス	32
2.6.7 路線バスによる市外への利用状況（令和6年度）	36
2.6.8 のるーと魚沼	38
2.6.9 乗合タクシー	39
2.6.10 入広瀬コミュニティバス	42
2.6.11 一般タクシー	43
2.7 その他市内の交通手段	44
2.7.1 スクールバス	44

2.7.2 診療所患者通院バス	46
2.8 市外への移動手段	47
2.8.1 鉄道	47
2.8.2 高速バス	47
2.9 アンケート調査結果	48
2.9.1 アンケート調査の概要	48
2.9.2 魚沼市内の公共交通に対する満足度	49
2.9.3 今後魚沼市に住み続ける場合の将来の公共交通に対する安心度	49
2.9.4 路線バス（入広瀬コミバスも含む）に対する改善要望	50
2.9.5 各地域乗合タクシーおよびのりーと魚沼に対する改善要望	51
2.10 市内団体へのヒアリング調査	52
<b>第3章 公共交通の課題</b>	<b>53</b>
<b>第4章 基本的な方針、計画の目標</b>	<b>56</b>
4.1 計画の基本方針	57
4.2 計画の目標	57
4.3 目指す地域公共交通網	58
4.4 目指す地域公共交通網に関わる各交通手段の役割	59
4.5 地域公共交通確保維持事業等の必要性和実施主体	60
<b>第5章 目標達成のための施策・事業</b>	<b>63</b>
施策1-1 路線バス及び乗合タクシー重複区間の再編	64
施策1-2 のりーと魚沼の運行効率化	65
施策1-3 地域間幹線系統の再編・維持の検討	65
施策1-4 乗合タクシーの運賃改善	65
施策2-1 郊外部からの魚沼基幹病院アクセス改善の検討	66
施策2-2 乗換拠点における待合環境整備	66
施策2-3 中高生へのバス利用促進	66
施策2-4 誰もが分かりやすい公共交通マップの作成	67
施策2-5 乗合タクシーの乗り方説明会の開催	68
施策2-6 公共交通利用機会の創出	68
施策2-7 運転免許返納者への公共交通利用券の交付	69
施策2-8 高齢者福祉タクシー利用券・障がい者福祉タクシー利用券の交付	69
施策2-9 尾瀬エリアへのアクセス路線の利用促進	70
施策2-10 キャッシュレス決済等の導入	70
施策3-1 こどもへのバス利用意識の醸成	71
施策3-2 交通事業者のドライバー確保に向けた補助制度の導入	72
施策3-3 大型バスの運転体験機会を通じたドライバー希望者の創出	72
■施策のスケジュールと実施主体	73



## 第1章 はじめに

## 1.1 計画策定の背景と目的

---

本市の市民の移動は自家用車への依存が高く、少子高齢化や通学需要の減少などの影響により、公共交通の利用者は減少傾向にあり、持続的な運行は厳しい状況が続いていました。そのような状況の中でも、市民が健康で安心して暮らせる生活環境を整備するため、令和3年3月に「魚沼市地域公共交通計画（令和3年度～令和7年度）」を策定し、地域公共交通の課題解決に向けた取り組みを進めてきました。

具体的には、AI デマンド交通「のるーと魚沼」の導入、各地域における乗換タクシーのきめ細やかな運行、魚沼基幹病院を經由する路線バスの運行など、地域の実情に応じた交通サービスの充実を図ってきました。

しかし現在でも、ドライバー不足や運行コストの増加などにより、持続的な運行が困難な状況が続いており、地域公共交通における課題は一層深刻化しています。

本計画では、深刻化する課題の解決に向けて、令和3年度から令和7年度にかけて実施してきた取り組みを継承・発展させながら、地域の実情に即した交通サービスの再編を行い、公共交通の持続可能な運行体制を構築することを目指します。それにより、すべての市民が安心して移動できる環境を整備し、地域住民の生活の質を向上させるとともに、公共交通の利便性を高め、利用促進を図ることで、地域の活性化にも寄与します。

これらの取り組みを推進するためには、行政、交通事業者、地域住民が連携し、地域交通の課題を共有しながら、共に解決に取り組む体制を整えることが必要です。本計画では、具体的な施策の実施主体を定めながら、関係者との連携を図り、施策を推し進め、持続可能で魅力ある交通体系の実現を図っていきます。

## 1.2 計画の対象区域と期間

---

### 1.2.1 対象区域

- 魚沼市全域

### 1.2.2 対象期間

- 令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間

### 1.3 本計画の関連計画と位置づけ

○本計画の策定にあたっては、上位計画である第三次魚沼市総合計画に即し、魚沼市の関連計画と連携を図ります。

○下表に魚沼市の関連計画と本計画との関連を整理した結果を示します。

表 各計画の方針・目標と本計画との関連

計画名	各計画の方針	
第三次魚沼市総合計画		今年度策定中
魚沼市都市計画マスタープラン		今年度見直し中
魚沼市立地適正化計画	まちづくりの方針	公共交通サービスの維持・充実
	本計画との関連	広域に分散する生活圏の連絡性を高めるため、高齢化が進展する中でも誰もが快適に移動できる環境を整えるため、公共交通サービスの維持・充実に取り組むとしており、本計画では交通結節点の強化、公共交通サービスの運行形態の見直しなどを推進する必要があります。

## 1.4 前回計画の評価

---

### 1.4.1 施策の実施状況

作成中

## 1.4.2 目標値の達成状況

- 評価指標 1 について、新型コロナウイルスの流行や路線バスの利用者が減少したことにより、当初現況値を下回る結果となりました。
- 評価指標 2 について、当初現況値の下限値よりも認知度が低くなる結果となりました。市内公共交通時刻表の全戸配布等の取組を進めてきましたが、認知度を回復させるためには更なる改善が必要です。
- 評価指標 3 について、燃料費や人件費の高騰による運行経費の増大や、のり一と魚沼等の新たな取り組みにより増加する結果となりました。
- 評価指標 4 について、路線バスについては改善が見られましたが、地域乗合タクシーについては、目標値を大幅に下回る結果となりました。乗合の発生が少ないことと、運行経費の増大に対して運賃が据え置きのみであったことが影響していると考えられます。
- 評価指標 5 については、新型コロナウイルスの影響により観光客が減少し、コロナ禍前の状態にまで回復しておらず、目標値には届かない結果となりました。

表 達成度評価指標

目標	達成度評価指標	当初現況値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値	達成度
目標 1 目標 2 目標 5	評価指標 1 市民 1 人あたりの年間 乗合バス等利用回数	6.6 回/年	7.9 回/年	4.0 回/年 (令和 6 年度)	×
目標 3 目標 4	評価指標 2 地域公共交通の認知度	59%~90%	90%	平均 58% 【51%~71%】 (令和 6 年度)	×
目標 1 目標 2	評価指標 3 公共交通への補助額	10,321 万円	12,400 万円 以下	13,319 万円 (令和 6 年度)	×
目標 1 目標 2	評価指標 4 公共交通の収支率	路線バス： 25.6%  地域乗合 タクシー等： 1.6%~22.6%	路線バス： 現状以上  地域乗合 タクシー等： 22.6%	路線バス： 平均 26.8% (令和 6 年度)  地域乗合 タクシー等： 平均 8.7% 【3%~9%】 (令和 6 年度)	○  ×
目標 5 目標 6	評価指標 5 観光入込客数	165 万人/年	175 万人/年	149 万人/年 (令和 5 年度)	×

※令和 7 年度値は現時点で算出不可のため、最新年度の平均値を使用

※【】内の値は各路線等の最小値~最大値

## 第2章 魚沼市及び公共交通の現状

## 2.1 魚沼市の概況

- 魚沼市は新潟県の南東部に位置し、福島県と群馬県の県境に接しています。
- 総面積は 946.76 平方キロメートル、新潟県全体 7.5%を占めています。
- 西を魚沼丘陵、東を三国山脈に挟まれた魚沼盆地の北方に位置しています。
- 夏は高温多湿で、冬は3メートルもの積雪がある豪雪地帯です。
- 市の中心を、アユ・ウグイ（ハヤ）・カジカなど数多くの魚が生息する魚野川が流れています。さらに、その支流である破間川、佐梨川、羽根川などの清流も市内を貫いています。
- 市の大部分は森林であり、市街地や田畑は魚沼盆地に集中しています。

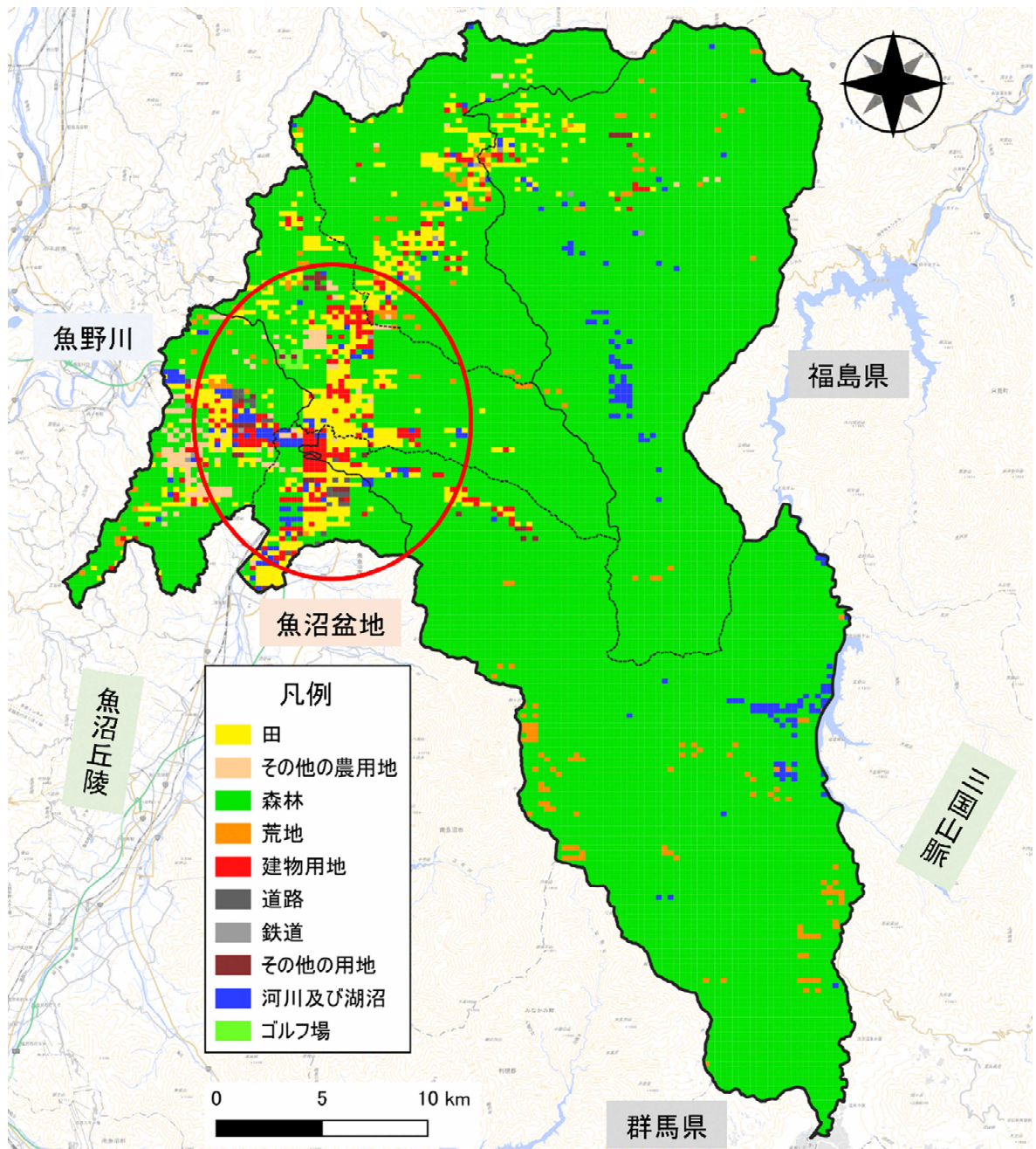


図 土地利用分布

〔出典〕 国土数値情報 土地利用細分メッシュ (R3)

## 2.2 社会状況

### 2.2.1 魚沼市の人口

#### (1) 魚沼市の人口推移

- 本市の人口は2020年（令和2年）国勢調査において34,325人で、高齢化率は37.6%となっています。
- しかしながら、本計画の目標年次である2030年（令和12年）には、人口約28,510人、高齢化率約42.7%になると推計され、人口減少・高齢化はさらに進むものとみられます。
- 地域別にみると、守門地域は高齢化率46.6%、入広瀬地域は52.7%と高齢化率が極めて高い状況にあることが分かります。

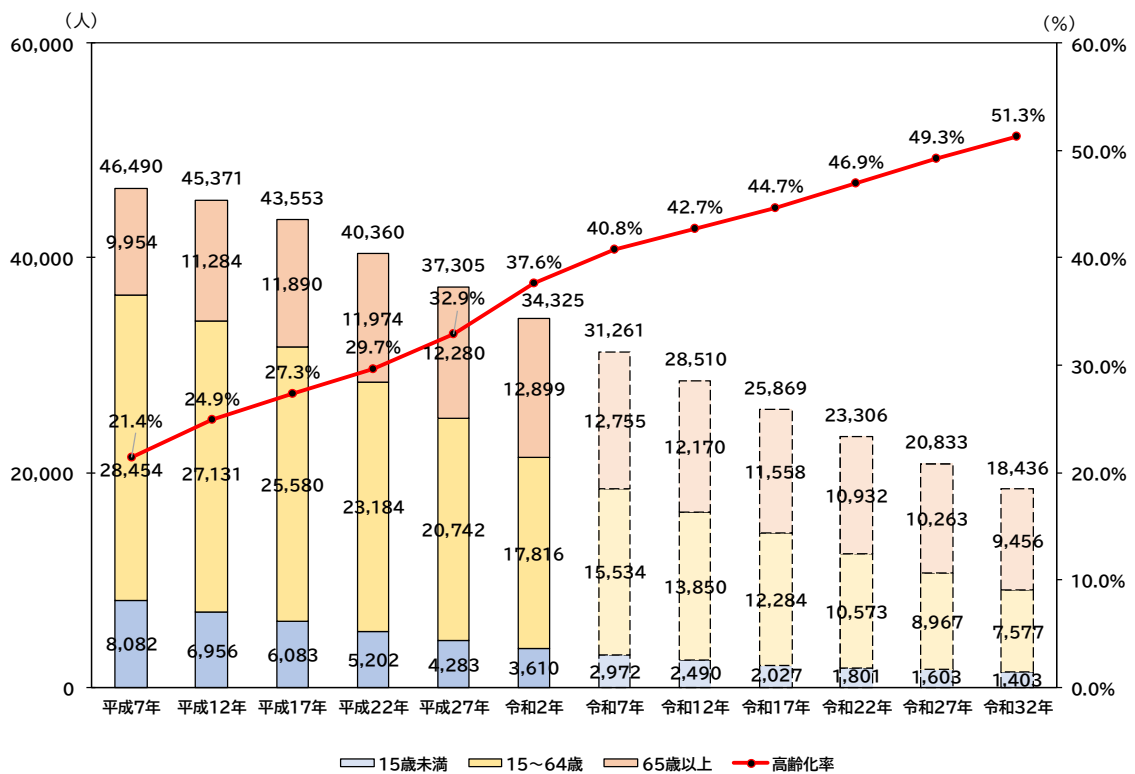
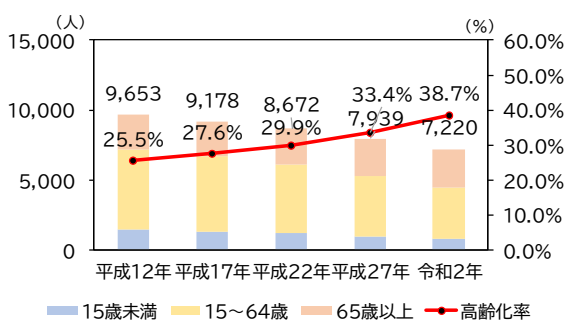


図 魚沼市の人口推移

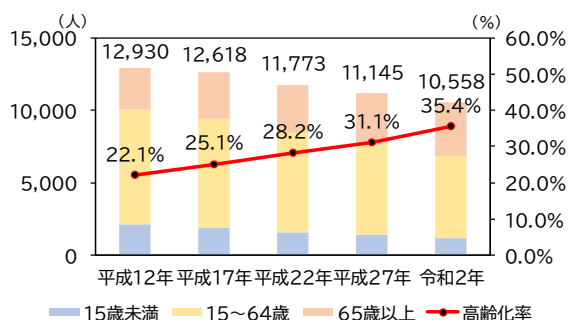
[出典] R2 以前は国勢調査、R7 以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計

## (2) 各地域別の人口推移

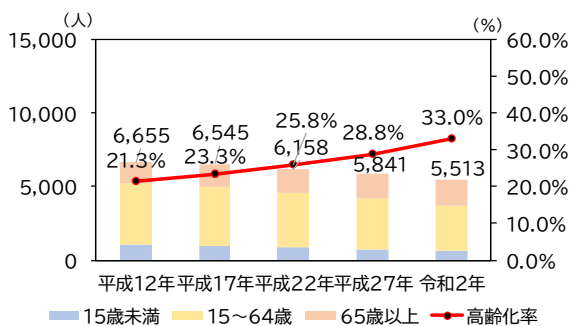
### ■堀之内地域



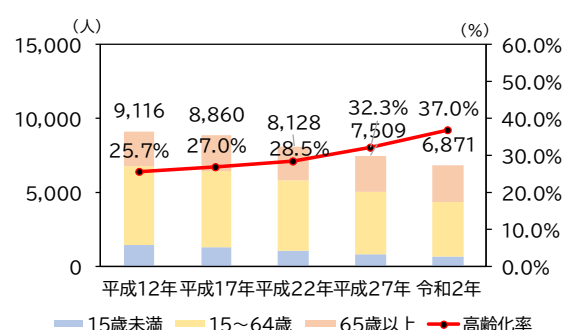
### ■小出地域



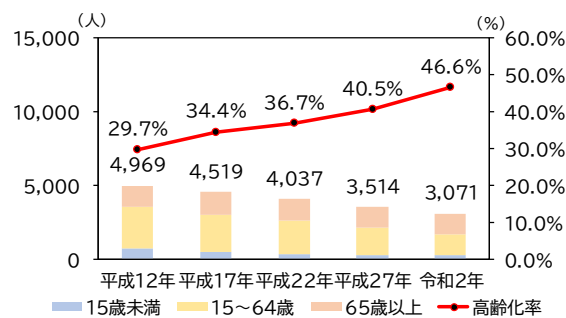
### ■湯之谷地域



### ■広神地域



### ■守門地域



### ■入広瀬地域

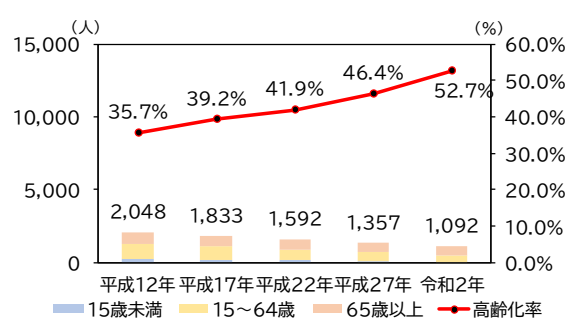


図 各地域における人口推移

[出典] 国勢調査

### (3) 人口分布

- 本市の人口分布をみると、小出地域や堀之内地域を中心に集積しています。
- また、国道17号・国道252号をはじめとする主要道路沿いやJR上越線・只見線沿線といった交通インフラに沿って人口が分布しています。
- なお、東部や南東部は森林部となっているため、人口分布はほとんど見られません。

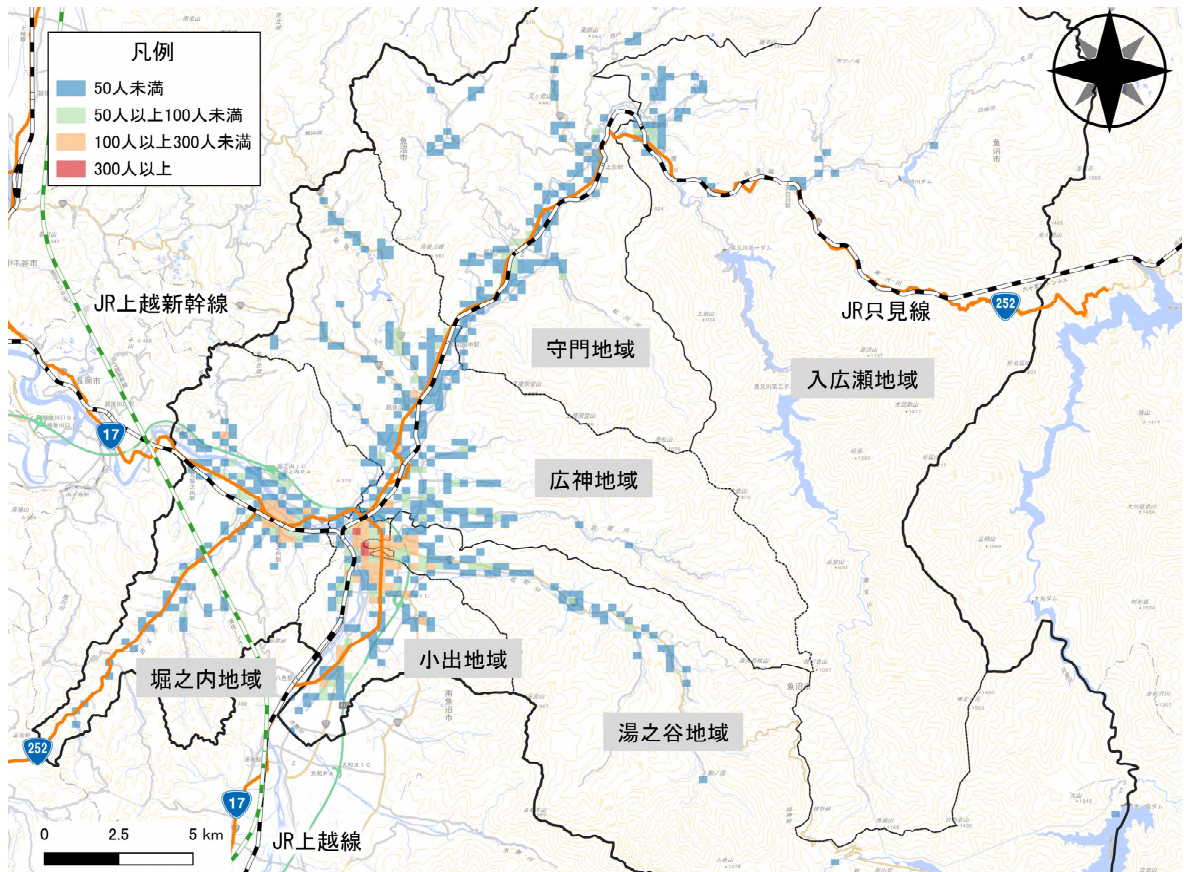


図 魚沼市における人口分布

[出典] R2 国勢調査

※人口メッシュ：1メッシュ（250m×250m）面積当たりの人口を示している

#### (4) 高齢化率

○本市の高齢化率をみると、全地域で高齢化が進行しており、公共交通の利用ニーズの高い地域が市内全域に広がっていることが分かります。

○特に、郊外地域においては高齢化率70%を超えている箇所も点在していることが分かります。

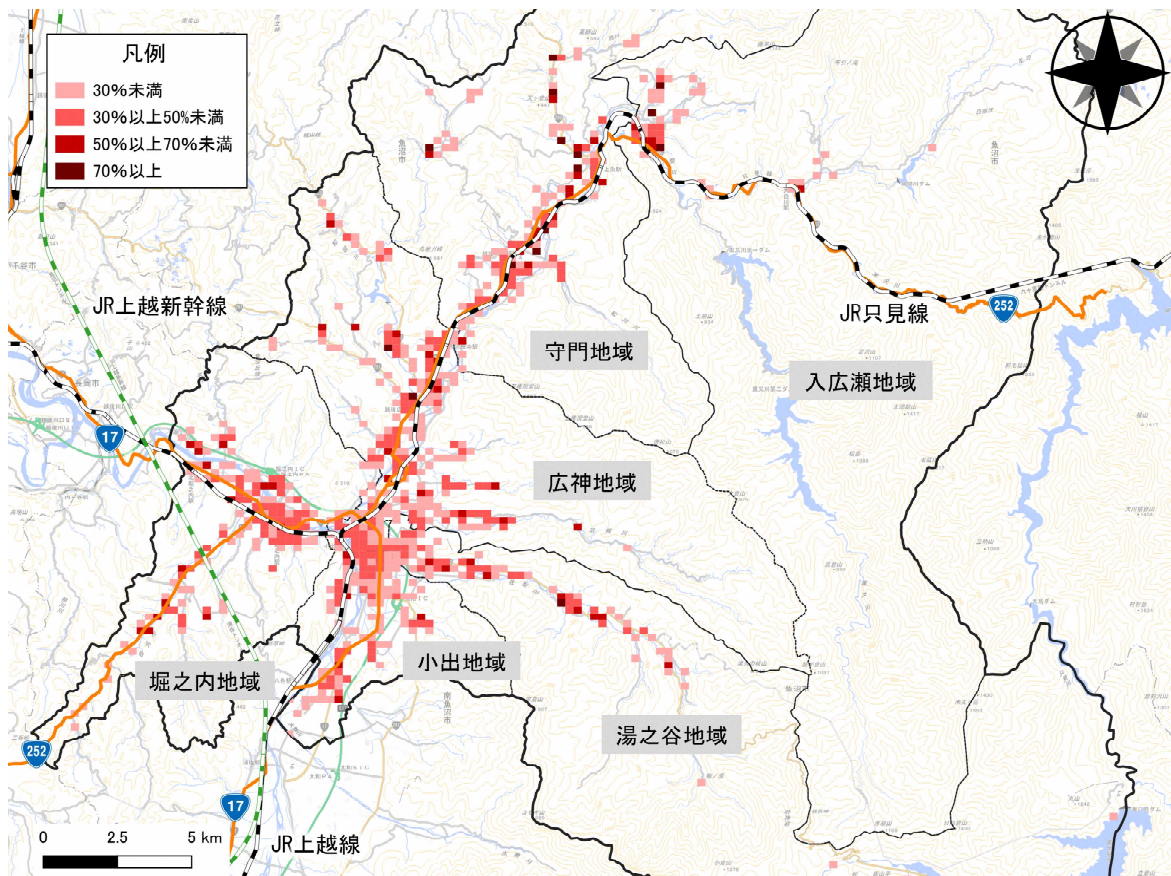


図 魚沼市における高齢化率

[出典] R2 国勢調査

#### 2.2.2 交通事故の状況

○交通事故件数は令和3年度から減少傾向にあります。一方で、高齢者の事故率は令和4年から微増傾向で推移しています。事故率の低下のため、公共交通利用促進が求められます。

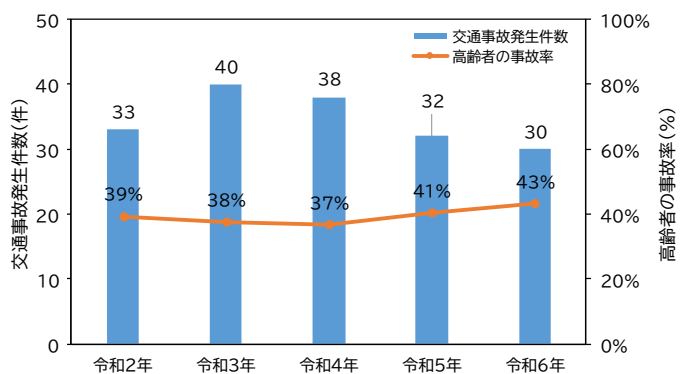


図 魚沼市における事故件数とその高齢者割合

[出典] 新潟県警察本部

### 2.2.3 自動車運転免許保有状況

- 本市における自動車運転免許保有者数の推移は、微減の傾向がみられます。一方で高齢者（65歳以上）の運転免許保有者は年々増加傾向にあります。
- 免許返納率は毎年2%程度に留まっています。免許自主返納者支援制度利用者数は毎年200人前後となっています。
- 免許返納数や免許自主返納者支援制度が一定数に留まっていることから、更なる公共交通への転換が求められます。そのためには公共交通の利便性向上が必要です。

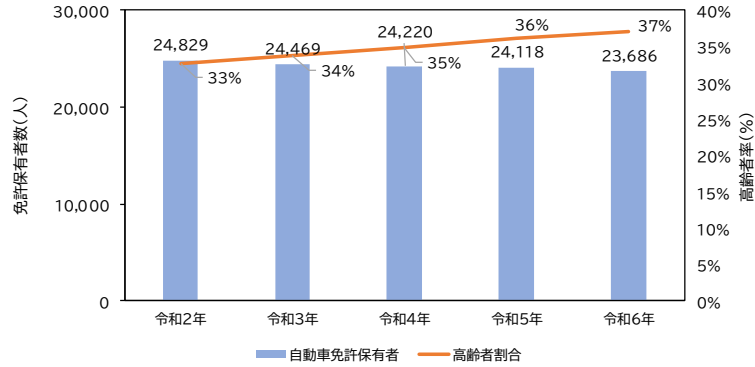


図 魚沼市における自動車運転免許保有者数と高齢者が占める割合

[出典] 新潟県警察本部

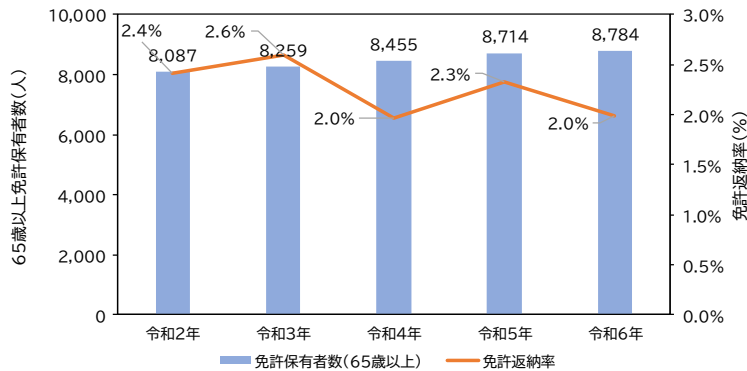


図 魚沼市における65歳以上の自動車運転免許保有者数と免許返納率

[出典] 新潟県警察本部

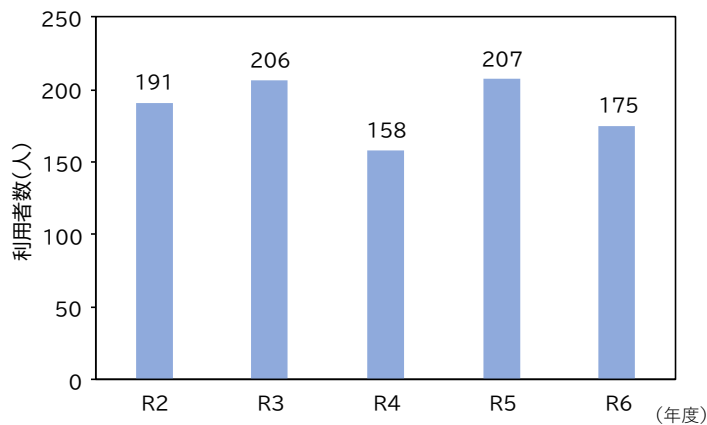


図 免許自主返納者支援制度利用者数

## 2.3 主要施設

### 2.3.1 医療機関

- 市立小出病院をはじめ、医療施設の多くは市中心部に集中しています。
- また、救命救急医療や高度医療を担う魚沼基幹病院が南魚沼市に開設されています。
- 北部の広神地域、守門地域、入広瀬地域には、それぞれ診療所が立地しており、基礎的な医療を提供しています。しかし、より高度な医療を受けるためには、市立小出病院や魚沼基幹病院に行く必要があります。



図 医療施設の立地状況

[出典] 国土数値情報

### 2.3.2 商業施設

○各地域には、食料品等を購入できる商業施設が点在しています。その一方で、大型店舗は小出・湯之谷地域や堀之内地域といった中心部に集積しており、郊外の住民はこれら中心部へ向かう必要があります。



図 商業施設の立地状況

[出典] 新潟県大規模小売店舗一覧 (令和7年7月末)  
魚沼市調べ

### 2.3.3 学校

○小・中学校は小出地域周辺部に集中しているほか、郊外部にも広く所在しています。また、入広瀬小学校が令和5年3月に閉校となり、須原小学校と統合されました。

○郊外に住む高校生は、魚沼市内の中心部に向かう必要があります。

○市外の高校へ通う場合には中心部の小出駅等からバスや鉄道を利用して通学する必要があります。

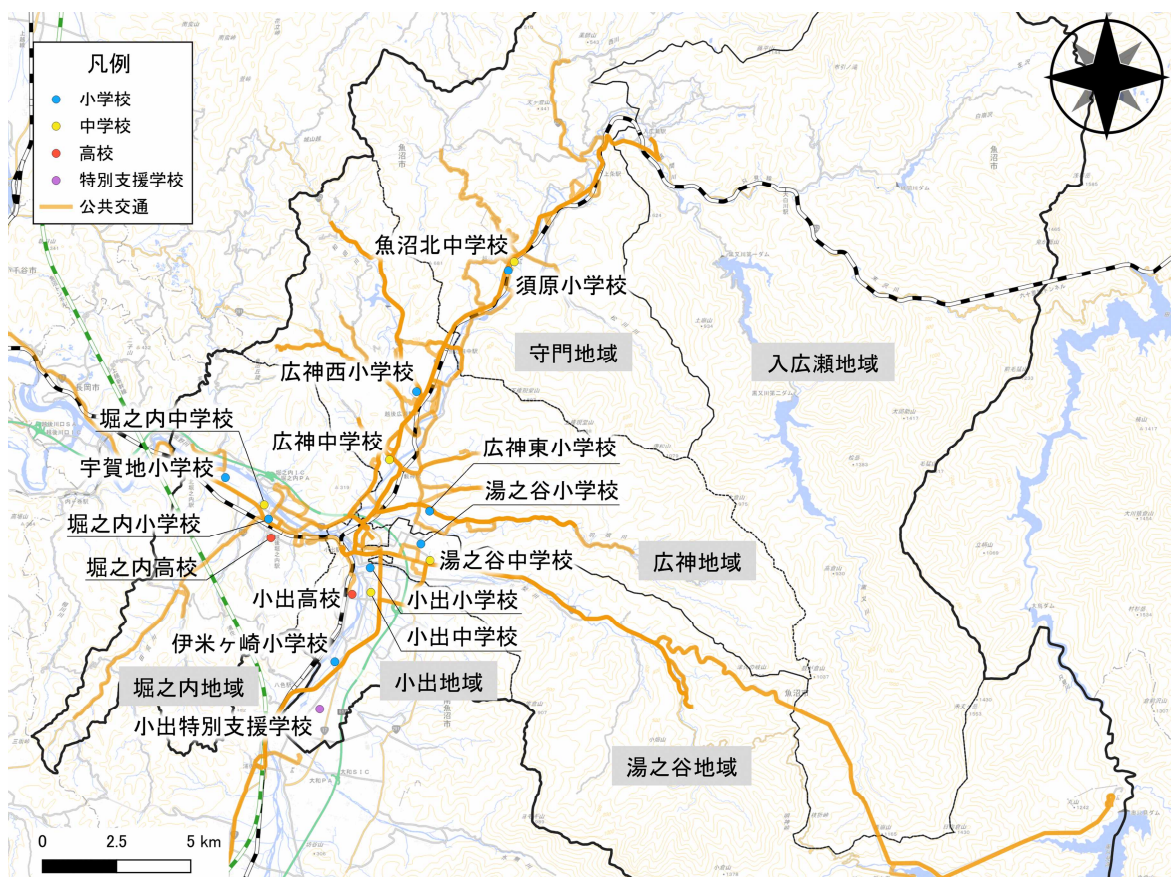


図 学校の立地状況

[出典] 新潟県立教育センター

### 2.3.4 行政施設

○行政施設は、各地域に所在しており、住む地域に関わらずアクセスがしやすい状況です。また、魚沼乗合タクシーが市役所本庁舎に乗り入れているため、市役所を訪れる人の利便性は高くなっています。



図 行政施設の立地状況

[出典] 魚沼市

## 2.4 通勤・通学の動向

○市外との流動を見ると、通勤・通学ともに南魚沼市、長岡市及び小千谷市との結びつきが強いことがわかります。特に南魚沼市には約 2000 人、長岡市には約 1000 人の市民が通勤しています。

○流出（本市から市外への通勤・通学）と流入（市外から本市への通勤・通学）を比較すると流出が多い傾向にあります。

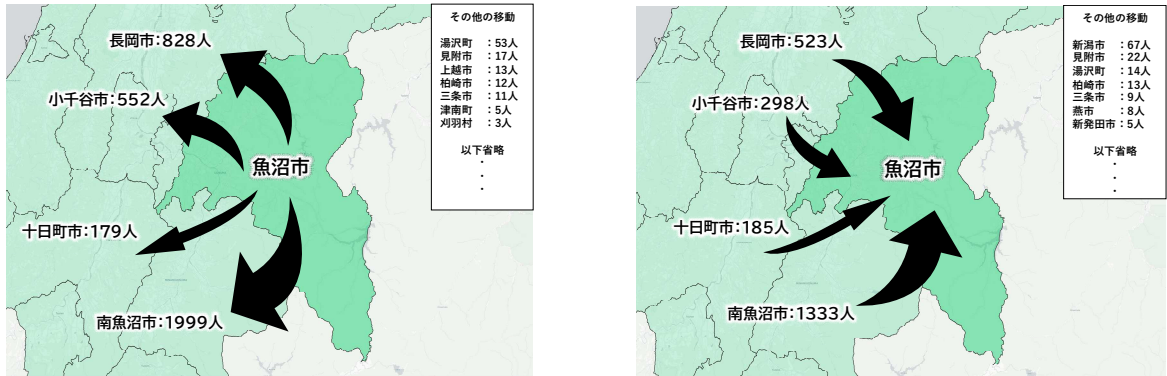


図 就業者の市外流動（左図：流出、右図：流入）

[出典] R2 国勢調査

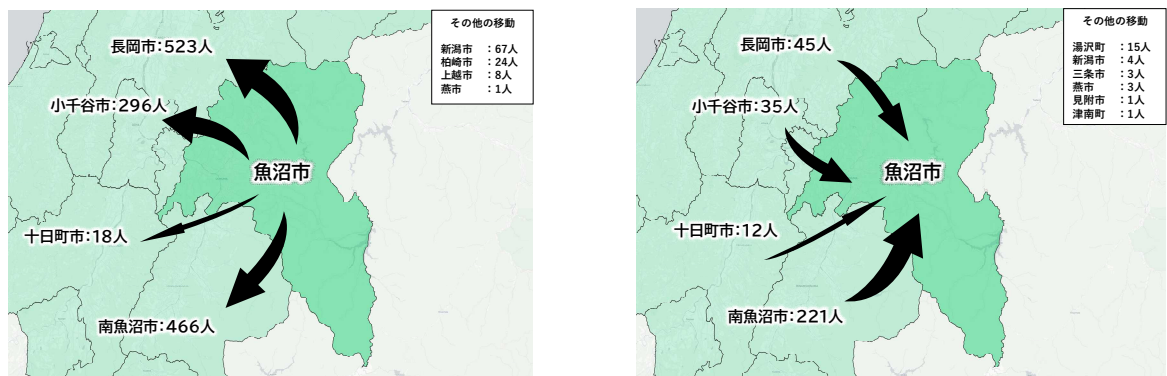


図 通学者の市外流動（左図：流出、右図：流入）

[出典] R2 国勢調査

## 2.5 観光

- 周辺を山に囲まれた本市は山間部を中心に観光資源が豊富で、温泉やスキー場等が点在しています。令和5年には年間149万人の観光入込客数があります。
- 魚沼市において最も入込客数の多い奥只見エリアへアクセスする手段として、路線バス「浦佐駅-奥只見ダム線（急行）」が運行されています。



図 観光施設の立地状況

[出典] 魚沼市観光オフィシャルサイトより主要施設を抜粋

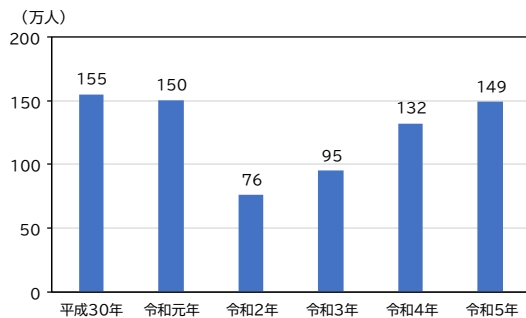


図 魚沼市における観光入込客数の推移

表 主要観光地点入込数

施設名所	令和5年 (人/年)	前年比
奥只見・銀山平・尾瀬	216,704	115.3%
湯之谷温泉郷	125,339	100.4%
見晴らしの湯こまみ	56,798	122.0%
道の駅 いりひろせ	82,490	110.8%

[出典] 令和5年新潟県観光入込客統計

## 2.6 公共交通の現状

### 2.6.1 魚沼市の公共交通概要

- 本市では、南西部から南部にかけて走る JR 上越線と北部方面に走る JR 只見線があり、この 2 路線は小出駅で接続しています。鉄道と路線バスが小出駅を中心に放射状に伸びている形状をしており、本市における公共交通の骨格を形成しています。
- 市域を越える広域移動を支える交通としては、高速バス 2 路線が魚沼 IC を経由し、新潟～十日町及び新潟～東京間を運行しています。同様に広域移動を支える JR 上越新幹線については、市内に停車駅はありませんが、隣接する南魚沼市に浦佐駅があります。
- 市内 5 地域（堀之内、小出、湯之谷、広神、守門）で、乗合タクシーが運行されています。いずれも 1 時間前までの予約制を採用しており、小出地域では停留所型、その他の地域では、自宅付近までの「ドアツードア」によるサービスがされています。一方で、市北部の広神、守門乗合タクシーは重複が発生し、一部非効率な運行となってしまうています。
- また、広神、守門乗合タクシーと堀之内地域乗合タクシーは路線バスとの重複もあることから、効率化やドライバー数の削減の余地があります。
- 入広瀬地域では、平成 29 年 10 月から自家用有償旅客運送によるコミュニティバスを運行しています。
- 小出市街地においては、周遊性を高めるためいつでも予約可能で利便性の高い「のるーと魚沼」が運行されています。
- 市内にはタクシー事業者 4 社が営業しています。タクシー利用に関しては、福祉タクシー利用料金助成事業により料金の一部を助成する制度があるほか、自動車運転免許自主返納者に対しては申請により、共通回数券（市内路線バス、タクシー、乗合タクシーで利用可）が交付されています。
- この他に、小中学生の通学を支援するためのスクールバスを市が運行しています。また、横根・大白川地区から入広瀬診療所及び、守門地域の福山地区から守門診療所への無料送迎を運行しています。



写真 JR 上越線



写真 路線バス



写真 高速バス

注) 運行概要は令和 7 年 9 月時

表 魚沼市の公共交通（その1）

種別	路線名	運行概要
鉄道	JR 上越新幹線	【浦佐駅】 ○東京方面行 17 本（うち越後湯沢行 1 本）運行 ○新潟方面行 16 本運行（運転日注意含むと 19 本）
	JR 上越線	○上下線各 15 本運行
	JR 只見線	○上下線各 5 本運行
高速バス	新潟－十日町線	○新潟－十日町線は片道 2 便運行 ※停留所は魚沼 IC
	新潟－東京線	○新潟－東京線は片道 8 便運行 ※停留所は魚沼 IC
路線バス	小出営業所前－小千谷線	○片道 4 便運行
	小出駅前－小出高校線	○朝 2 便、夕 1 便運行
	小出駅前－栃尾又温泉線	○栃尾又温泉行 4 便、小出駅前行 5 便運行
	魚沼市役所前 －小出駅前－六日町線	○片道 6 便運行
	小出駅前－貫木・穴沢線	○片道 6 便運行
	小出駅前－下倉 －小平尾－白樫線	○片道 3 便運行
	浦佐駅－奥只見ダム線 (急行)	○奥只見行 2 便、浦佐駅行 3 便運行

注) 運行概要は令和 7 年 9 月時点

表 魚沼市の公共交通（その2）

種別	路線名	概要
乗合タクシー	のるーと魚沼	○小出地域内で運行 ○自由乗降型の予約制で時刻表なし（平日のみ） ○料金は300円/回
	堀之内地域 乗合タクシー ※複数路線あり	○堀之内地域から小出市街地間を運行 ○自由乗降型の予約制で11便/日運行（基本平日のみ運行、一部土日運行便あり） ○料金は300円/回
	湯之谷地域 乗合タクシー	○湯之谷地域から小出市街地間を運行 ○自由乗降型の予約制で6便/日運行（年末年始を除く毎日運行） ○料金は300～400円/回
	広神地域 乗合タクシー ※複数路線あり	○広神地域から小出市街地間を運行 ○自由乗降型の予約制で11～13便/日運行（東側・西側で平日隔日運行） ○料金は300円/回
	守門地域 乗合タクシー ※複数路線あり	○守門地域から小出市街地間を運行 ○自由乗降型の予約制で6便/日運行（平日のみ） ○料金は200～400円/回
	広神地域内定期便	○「広神老人憩の家」方面に予約制で運行 ○特定曜日に地域別で運行し、2便/日運行 ○料金は200円/回
コミュニティバス	入広瀬地域 コミュニティバス	○入広瀬地域内で運行 ○週4日運行（月・火・水・金のみ） ○定時定路線型で13便/日運行 ○運賃なし（年度会費2,000円/世帯）
タクシー	—	○市内タクシー事業者4社が営業



写真 のるーと魚沼



写真 入広瀬コミュニティバス



写真 タクシー

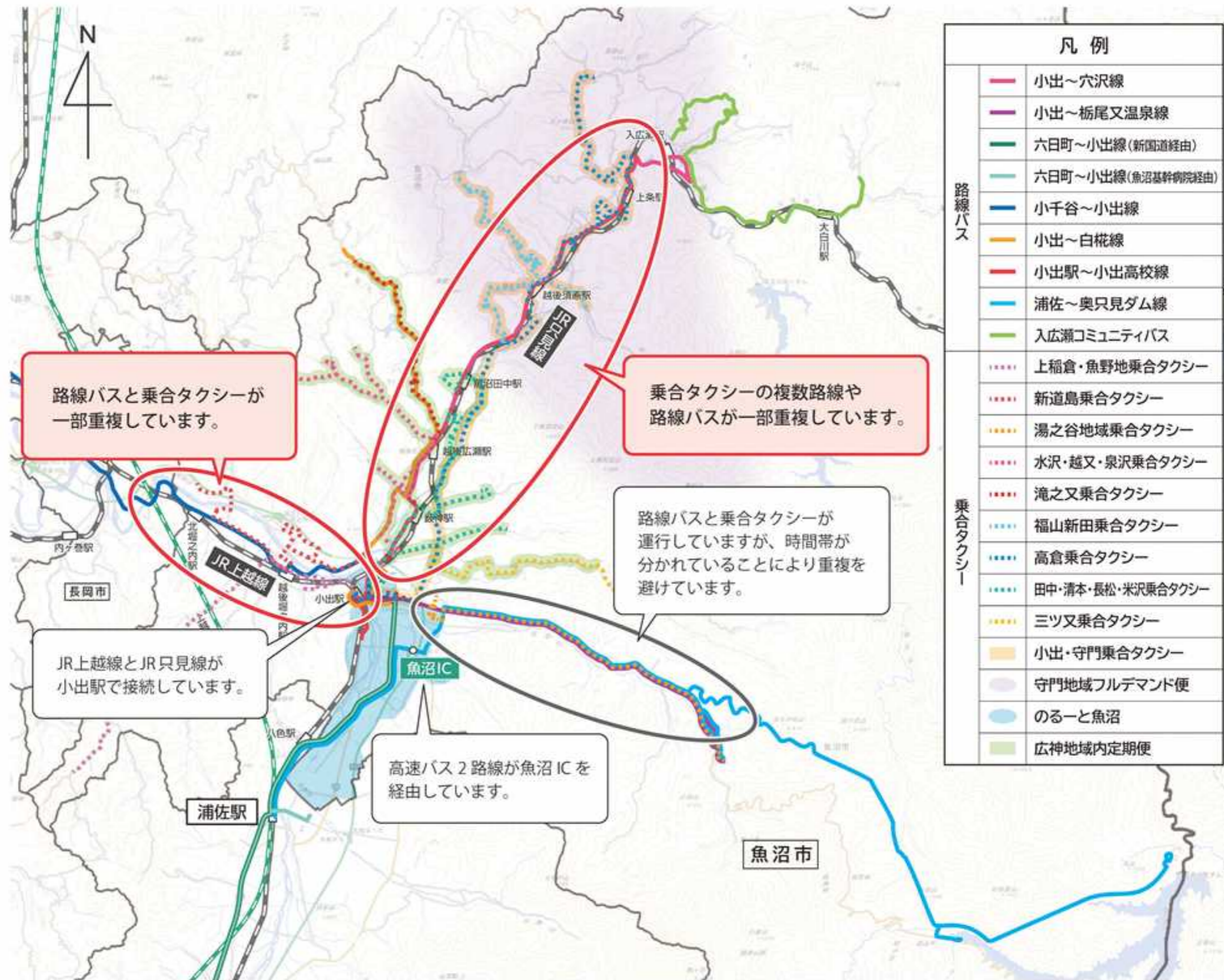


図 魚沼市内の公共交通

## 2.6.2 市内公共交通利用者の推移

### a) 市内の総公共交通利用者数の推移

- 公共交通の総利用者数は令和2年度から令和5年度にかけて減少傾向にありましたが、令和5年度から再び増加傾向に転じています。
- 路線バスの利用者数については、コロナ禍後の利用者の減少から利用者は回復せず、令和4年10月の各路線の減便の影響で令和5年度はさらに利用者数が減少しました。
- 乗合タクシーの利用者については、令和2～5年度は横ばい傾向でしたが、令和6年に利用者が増加しています。これは、「のるーと魚沼」の運行開始と、湯之谷乗合タクシーの利用回数が増加（※）したことが大きな要因です。  
※増便と温泉地までの延長により、観光客を含む利用が増えたため。

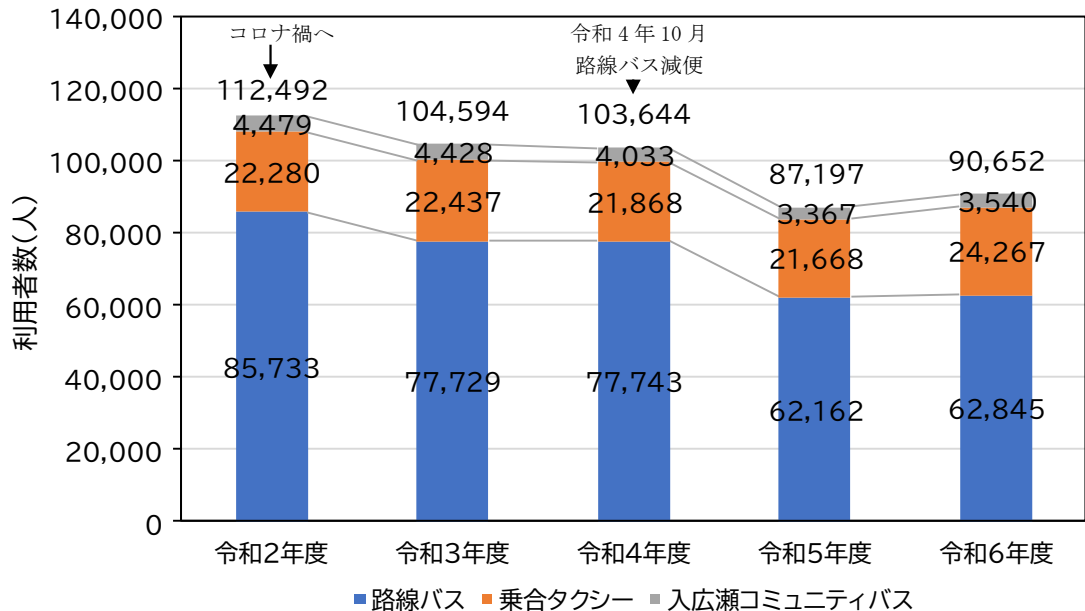


図 市内の総公共交通利用者数の推移

[出典] 魚沼市資料

### 2.6.3 公共交通に係る市負担額の推移

- 令和2年度から令和6年度にかけて、公共交通に係る市負担額は全体で見ると増加傾向にあります。特に、乗合タクシーは令和6年度に大きく増えています。
- 令和6年度に大きく乗合タクシーの市負担額が増加した理由として、「のりと魚沼」の運行開始と、湯之谷乗合タクシーの利用回数が増加（※）したことが大きな要因です。
- ※湯之谷乗合タクシーの利用回数の増加は、増便と温泉地までの延長により、観光客を含む利用が増えたため。

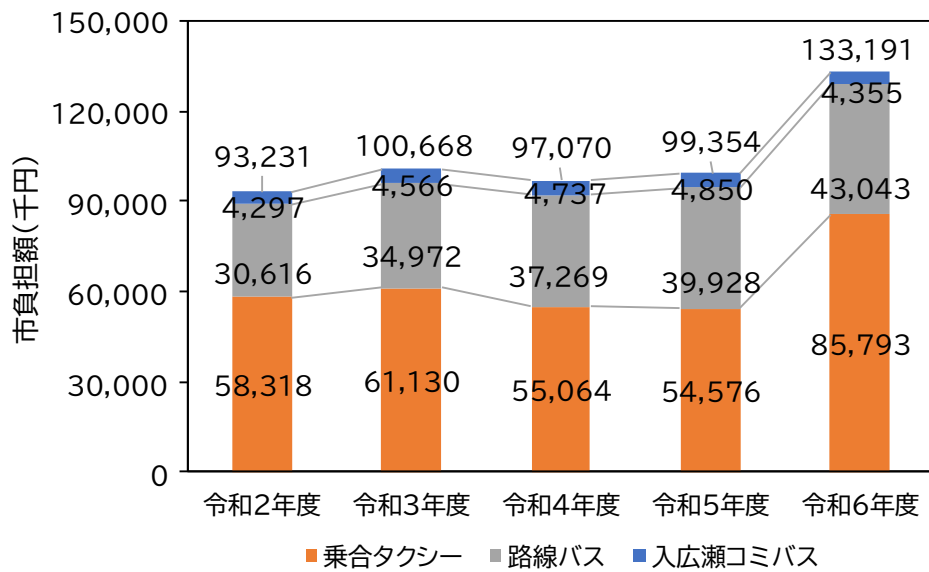


図 公共交通に係る市負担額の推移

[出典] 魚沼市資料

## 2.6.4 利用者一人あたり市負担額（※）

### a) 路線バス・入広瀬コミュニティバス

○一人あたり市負担額が最も多いのは小出＝白栴線であり、1,500円を超えています。その一方で、市負担額が少ないのは小出＝栃尾又温泉線、小出＝六日町線等の国の地域間幹線系統補助を受けている系統となっています。

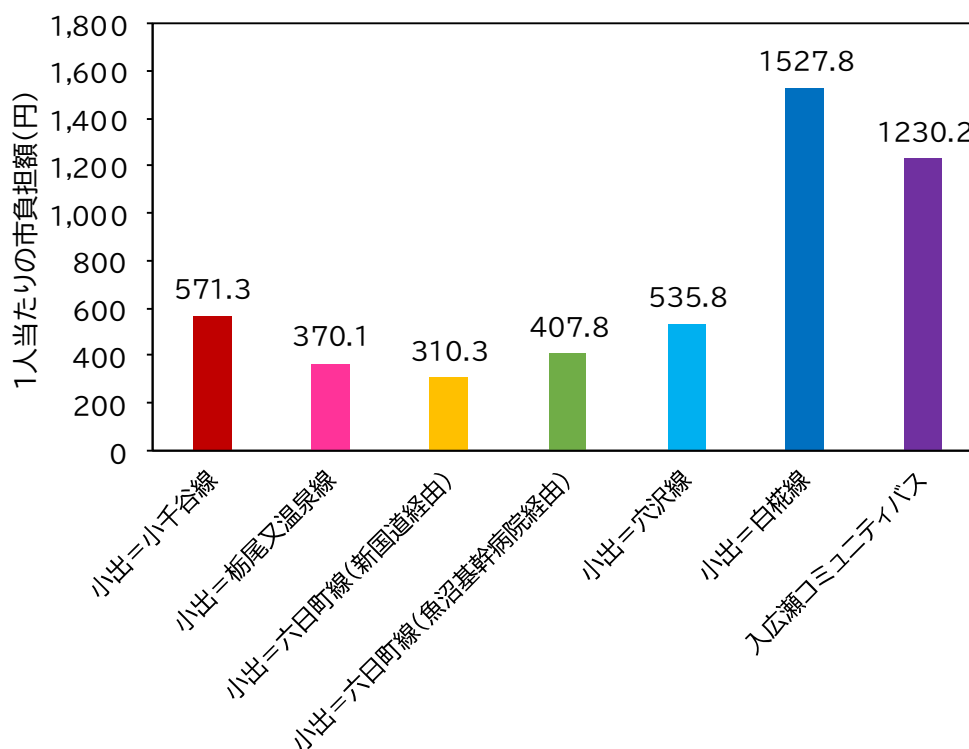


図 路線バス・入広瀬コミュニティバスにおける一人あたり市負担額

[出典] 魚沼市資料

※市負担額とは、運賃収入を除いた市が交通事業者に支払う補助金等の金額を指し、それを各路線の利用者数で割ったものを利用者一人あたり市負担額としている。

b) 乗合タクシー

- 小出まちなか循環線の一人当たり市負担額は 831 円/人と、市内乗合タクシーの中では最も安価となっています。しかし、令和 7 年 2 月より小出まちなか循環線と小出地域乗合タクシーの代替として運行している「のるーと魚沼」の一人当たり運行経費は 3653 円と高くなっており、今後の効率化が必要です。
- 一方で、その他の路線は全て一人当たり市負担額が 2000 円以上となっています。

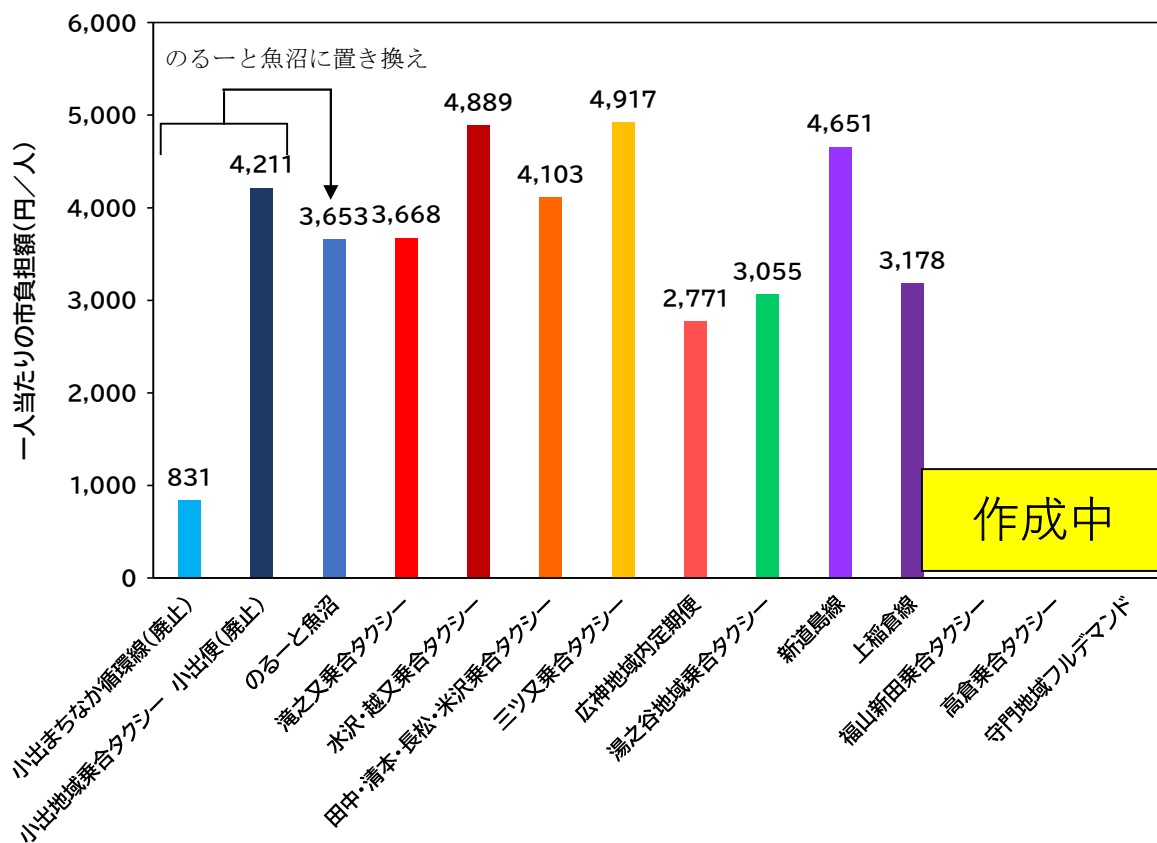


図 乗り合いタクシー路線別一人当たり行政負担額  
 ※のるーと魚沼の値は令和 7 年 2～3 月の平均値

## 2.6.5 市内の公共交通ドライバー数の推移

### (1) バス事業者

○市内の路線バスの全路線を担う南越後観光バス（株）のドライバーは令和5年度まで減少していましたが、令和6年度に増加しています。しかし、ドライバーの高齢化等から再び減少に転じる可能性があります。

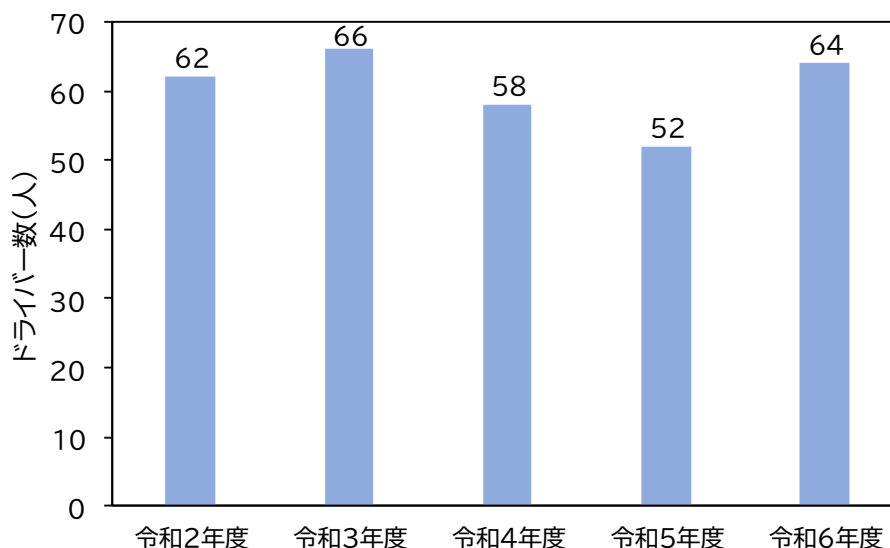


図 南越後観光バス(株)のドライバー数の推移

[出典] 南越後観光バス

### (2) タクシー事業者

○タクシーのドライバーは令和2年から令和6年にかけて、概ね横ばいに推移しています。しかし、バス事業者と同様に、高齢化等により減少する可能性があります。

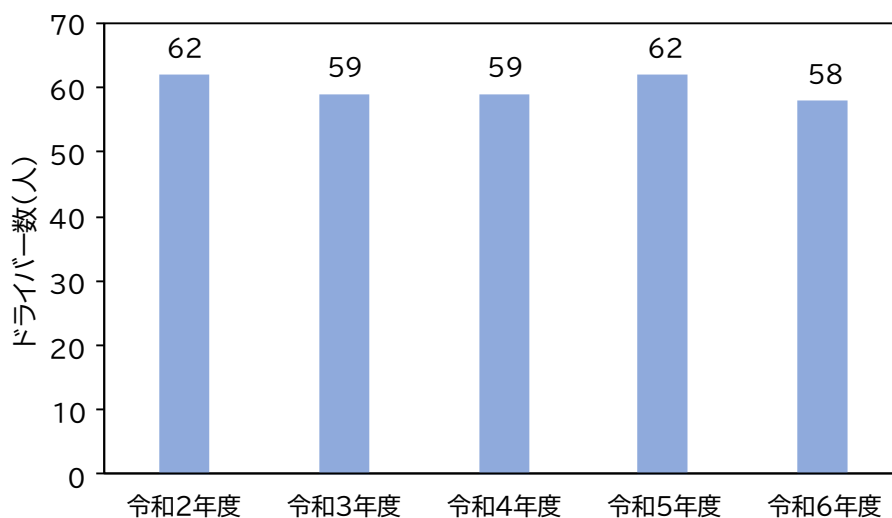


図 タクシーのドライバー数※の推移

[出典] 魚沼市資料

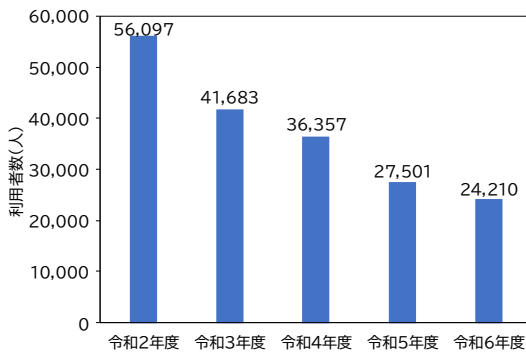
※市内4つのタクシー事業者のドライバー数の合計

## 2.6.6 路線バス

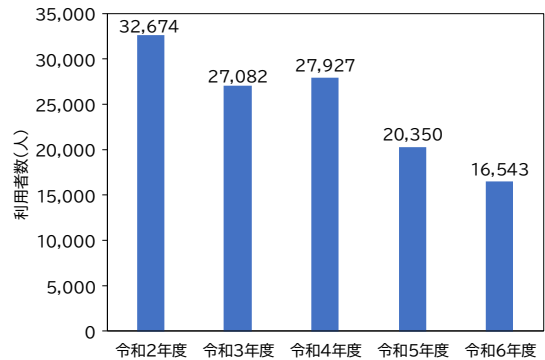
### (1) 路線バス系統別利用者数の推移

- 利用者数の推移は路線によって異なります。小出＝小千谷線、小出＝栃尾又温泉線、小出＝六日町線（新国道経由）は年々減少傾向にあります。
- 一方で、小出＝六日町線（魚沼基幹病院経由）は令和3年10月の運行開始から増加傾向にあります。
- 令和4年度を境に小出＝白柵線は増加から減少に、小出＝小出高校線は減少から増加に転じています。

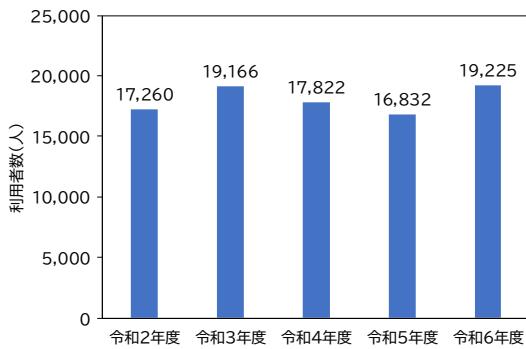
#### ■小出＝小千谷線



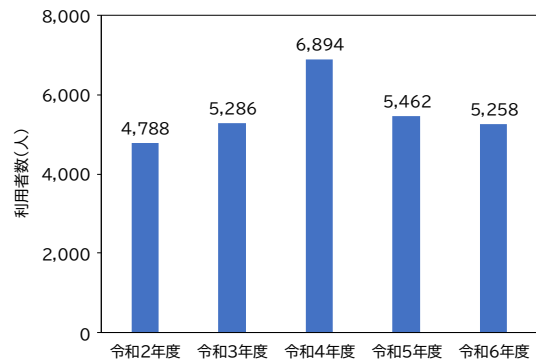
#### ■小出＝栃尾又温泉線



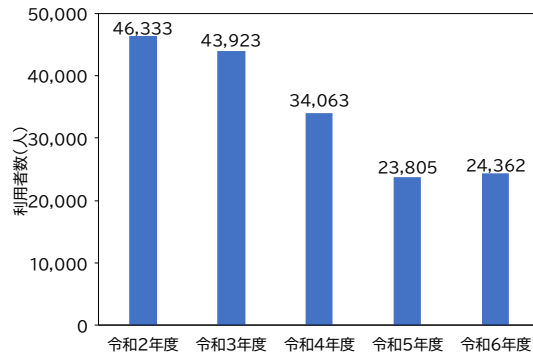
#### ■小出＝穴沢線



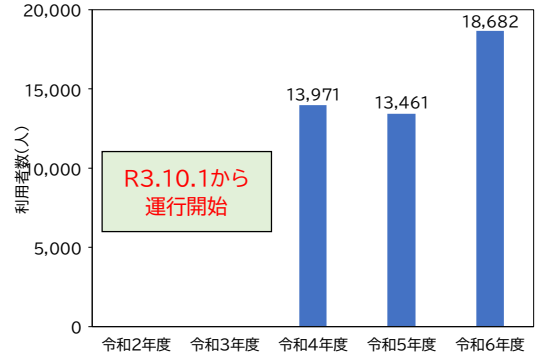
#### ■小出＝白柵線



#### ■小出＝六日町線（新国道経由）



#### ■小出＝六日町線（魚沼基幹病院経



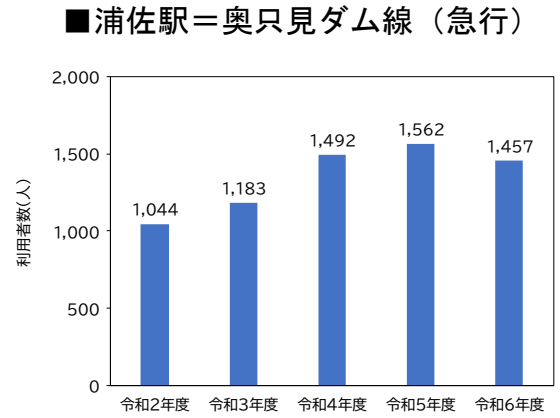
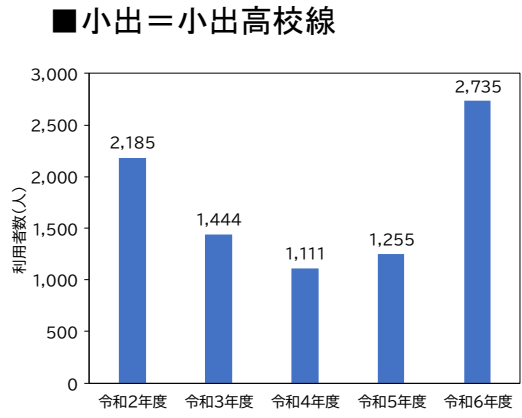


図 路線バスの利用者数推移

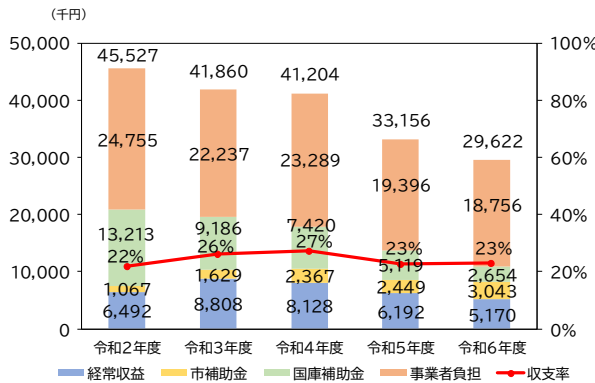
[出典] 南越後観光バス（株）

## (2) 路線バスの系統別収支率等の推移

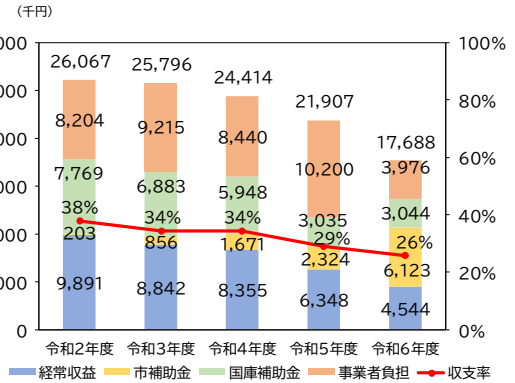
○多くの路線において収支率が100%を下回っており、市や県、国の補助を受けて運行しています。

○小出＝小出高校線は、当初100%以上の収支率を維持していましたが、一時的に100%を下回りました。しかし、令和6年度には163%を達成し、再び黒字に転じています。

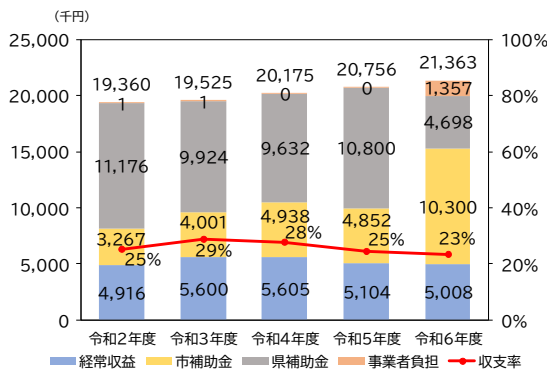
### ■小出＝小千谷線



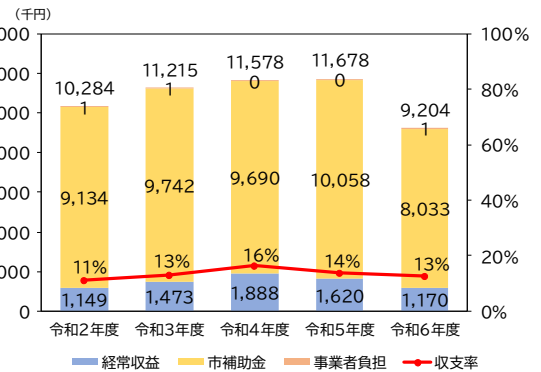
### ■小出＝栃尾又温泉線



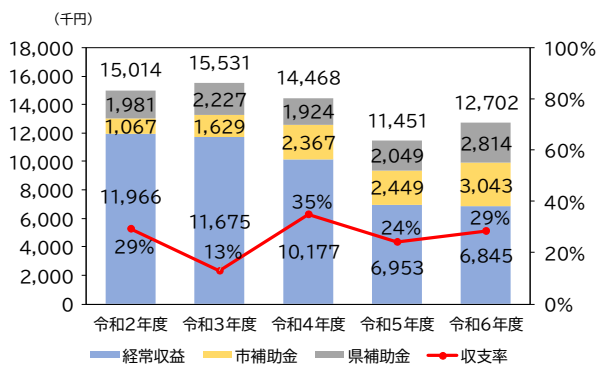
### ■小出＝穴沢線



### ■小出＝白花線



### ■小出＝六日町線（新国道経由）



### ■小出＝六日町線（魚沼基幹病院経由）

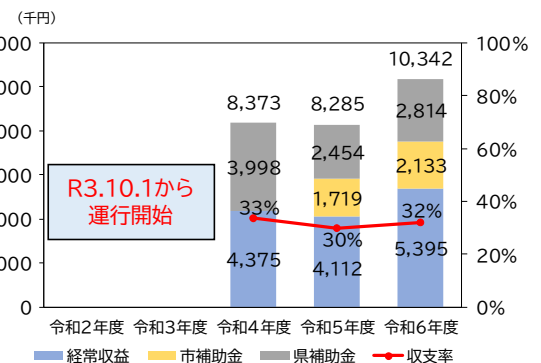
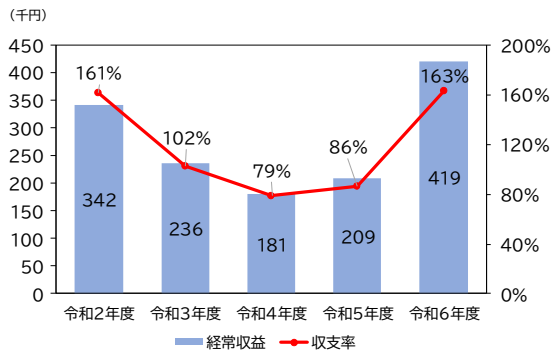


図 路線バスの運行経費内訳・収支率

[出典] 魚沼市資料

■小出＝小出高校線



■浦佐＝奥只見ダム線（急行）

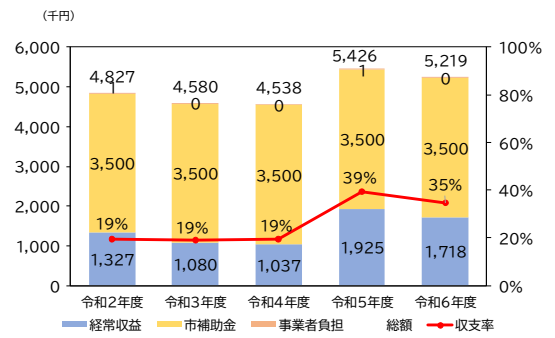


図 路線バスの運行経費内訳・収支率

[出典] 魚沼市資料

2.6.7 路線バスによる市外への利用状況（令和6年度）

a) 小千谷総合病院～川口～小出営業所前線

○通過人数の推移から、上下線ともに魚沼市内の利用は少ないことから、市域を跨ぐ必要性が低く、系統のあり方を検討する必要があります。

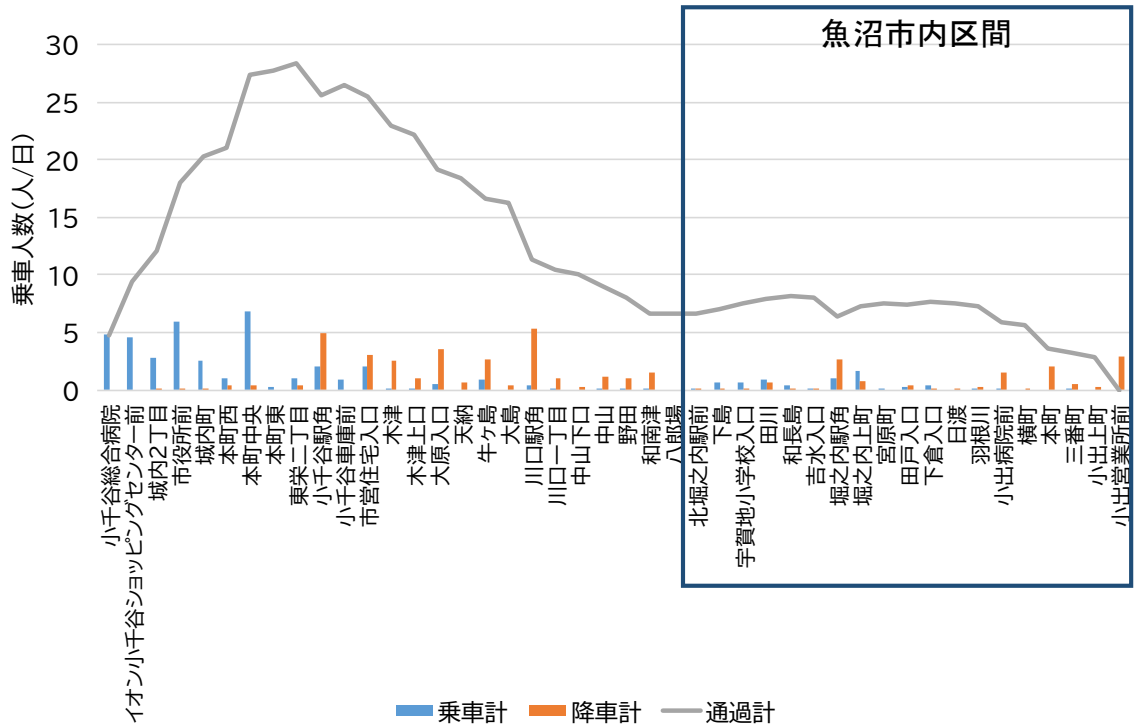


図 小千谷総合病院→小出営業所前（下り）

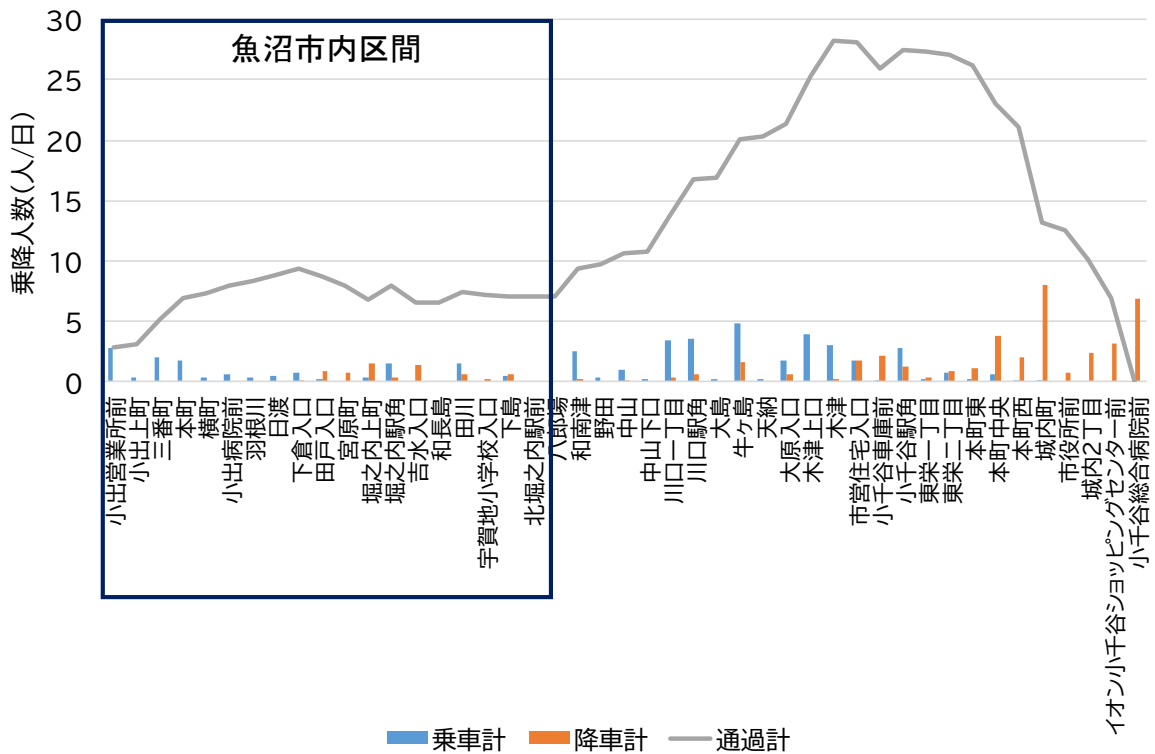


図 小出営業所前→小千谷総合病院（上り）

[出典] 南越後観光バス（株）

b) 六日町駅前～新国道・魚沼基幹病院・小出駅～魚沼市役所前線

○魚沼市内の各停留所でまばらに乗降が確認でき、沿線の市民が各停留所を利用していると想定されます。

○上下線ともに浦佐駅西口や魚沼基幹病院で乗車・降車がそれぞれ多いことが分かり、通過人数が減少することから、魚沼市から六日町（南魚沼市）まで乗り続けている人は少ないことが想定されます。実際の利用状況を知るためにはOD調査（個人ごとの乗降場所調査）が必要です。

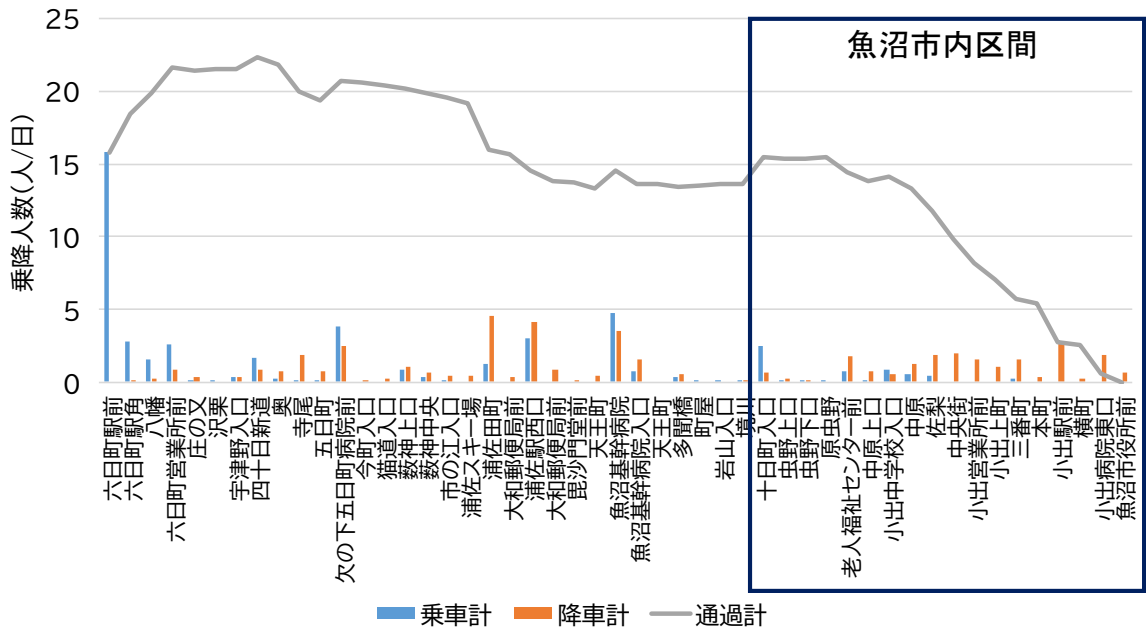


図 六日町駅前→魚沼市役所前（下り）

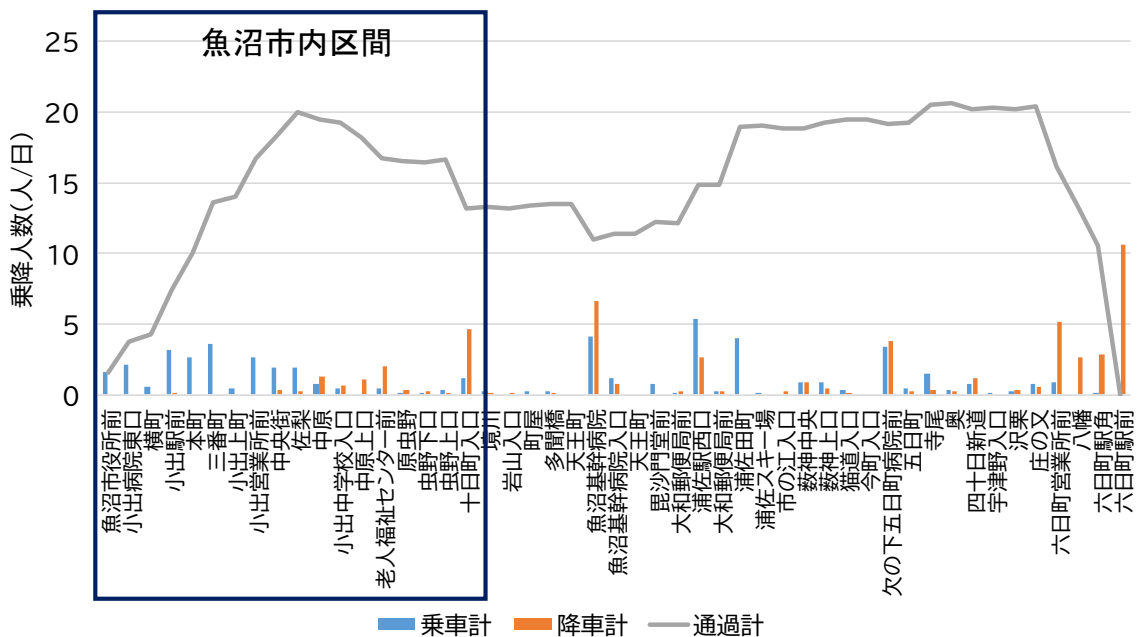


図 魚沼市役所前→六日町駅前（上り）

〔出典〕 南越後観光バス（株）

## 2.6.8 のるーと魚沼

### (1) 魚沼市 AI デマンド交通の利用者数の推移

#### a) 月別利用者数

○運行見直し後の利用者数は、見直し前（小出地域乗合タクシー・小出まちなか循環線）と比較して増加しており、特に令和7年7月までは増加傾向で推移しました。8月には一時的に減少しましたが、9月に再び回復傾向に転じています。

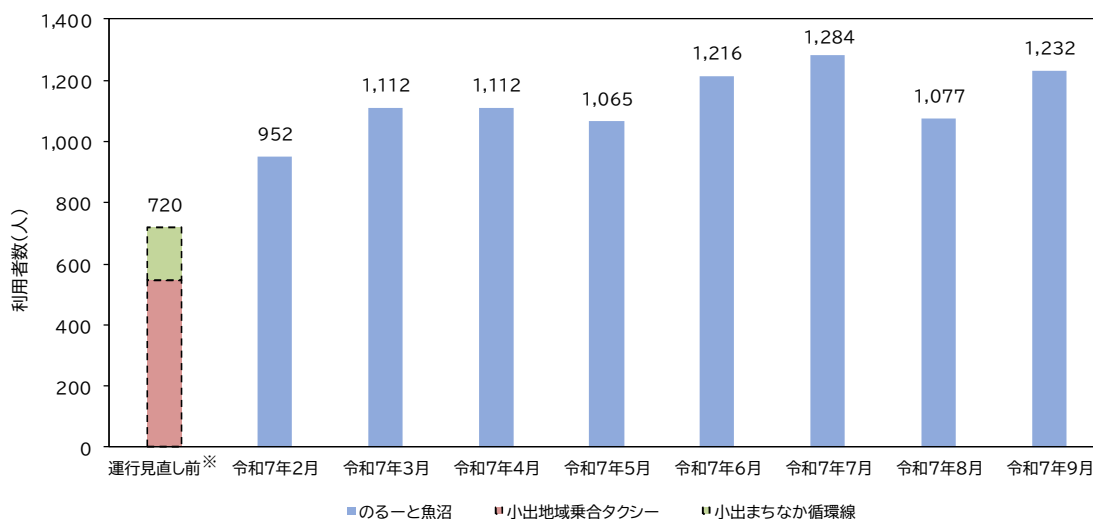


図 のるーと魚沼の月別利用者数

[出典] 魚沼市資料

※R6年度における利用者数の月平均

#### b) 時間帯別利用者数

○全体を通して午前中の利用が多い傾向にあり、特に8:00、9:00、10:30に利用者数が集中しています。また、午後は13:00、14:00、15:30の利用者が多くなっています。

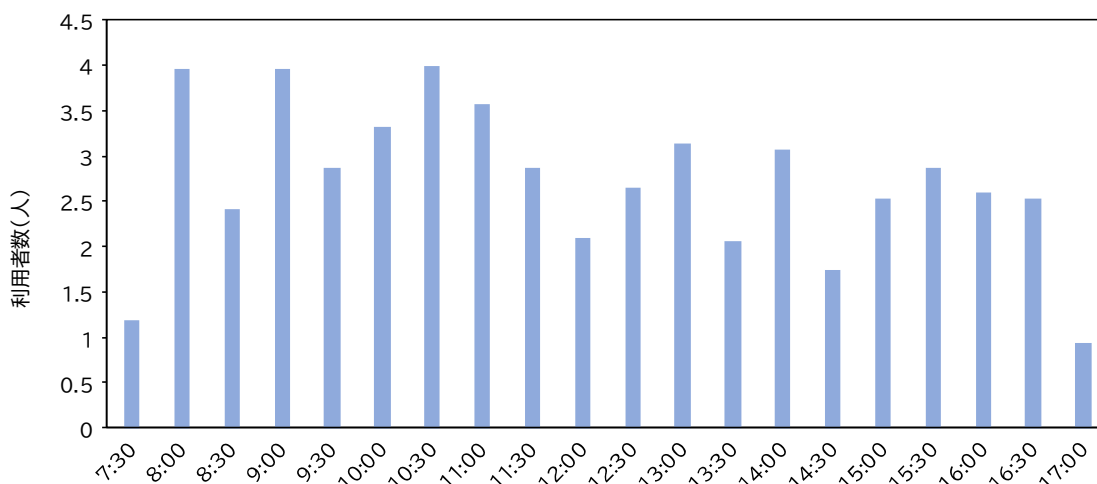


図 のるーと魚沼の時間帯別利用者数

[出典] 魚沼市資料

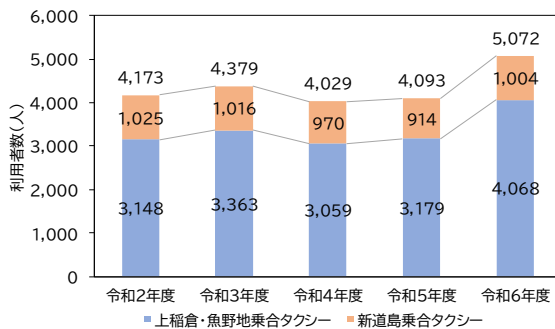
※R7年2月～9月における利用者数の日平均

## 2.6.9 乗合タクシー

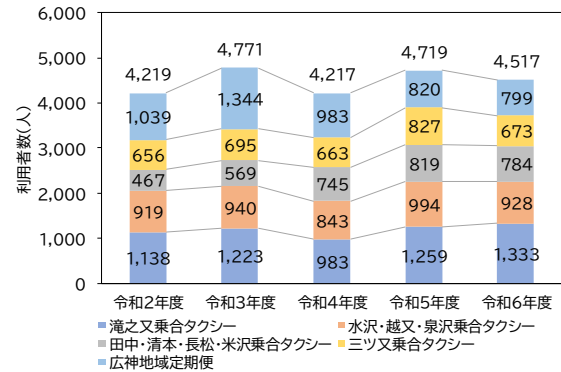
### (1) 乗合タクシー利用者数の推移

- 堀之内地域乗合タクシーの利用者数は、やや増加傾向にあります。
- 広神地域乗合タクシーの利用者数は、増減を繰り返しています。
- 守門地域乗合タクシーにおいては、令和6年度から運行系統が見直され、従来の4系統から2系統に再編され、新たに守門地域内フルデマンド便の運航を開始しました。それにより、直接小出地域まで行けるようになったことと、守門地域内の移動利便性が高まったことにより前年度よりも利用者数が増加しています。
- 湯之谷地域乗合タクシーは、令和6年度に増便と温泉地までの延長を行ったため、観光客を含む利用者数が大幅に増加しています。

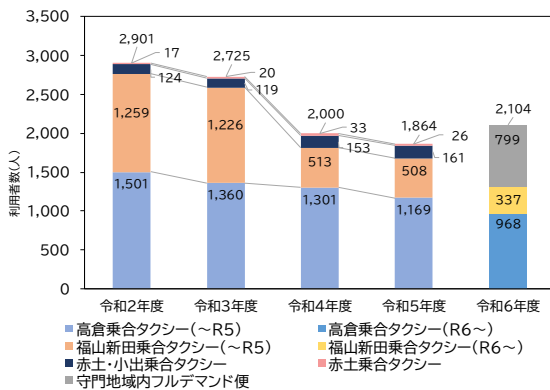
■堀之内地域乗合タクシー



■広神地域乗合タクシー



■守門地域乗合タクシー



■湯之谷地域乗合タクシー

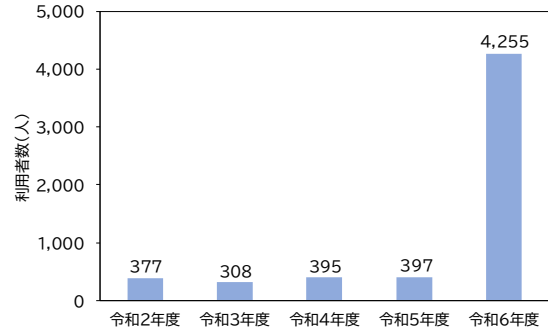


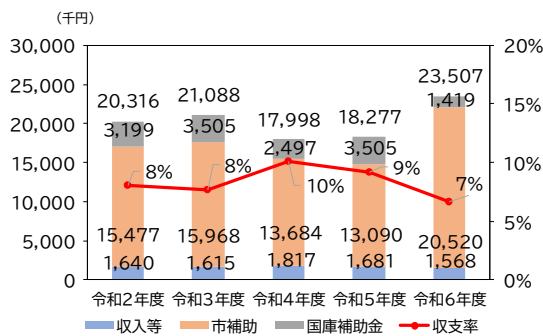
図 乗合タクシーの利用者数の推移

[出典] 魚沼市資料

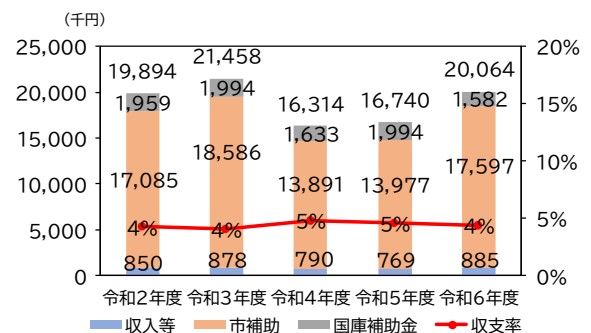
## (2) 乗合タクシーの地域別収支率等の推移

- 全地域において各年度の収支率は10%を下回っています。また、市の補助金は概ね増加傾向で推移しており、中でも小出地域と湯之谷地域においては令和6年度に大幅な増加が見られます。
- 令和6年度に小出地域乗合タクシーの市補助金が大幅に増加した理由は、「のるーと魚沼」の運行を開始したためです。
- 令和6年度に守門地域乗合タクシーの市補助金が大幅に増加した理由は、再編により利便性が高まり、利用者数が増えたためです。
- 令和6年度に湯之谷地域乗合タクシーの市補助金が大幅に増加した理由は、増便と温泉地までの延長を行い、観光利用を含む利用が増え、利用者数が大幅に増加したためです。

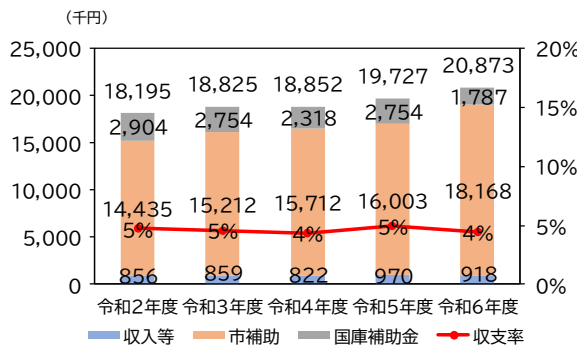
### ■小出地域



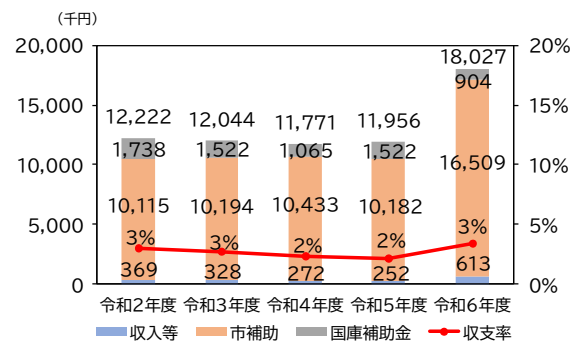
### ■堀之内地域



### ■広神地域



### ■守門地域



### ■湯之谷地域

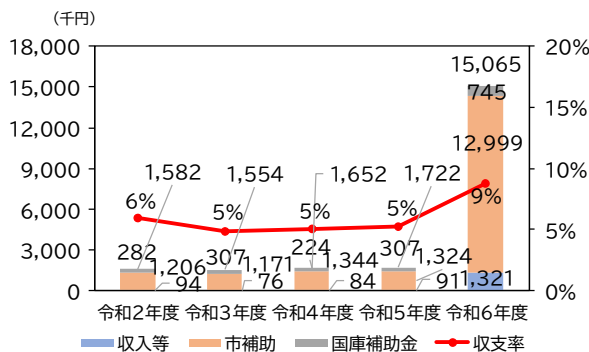


図 地域乗合タクシーの運行経費内訳・収支率

【出典】 魚沼市資料

### (3) 乗合タクシーの認知度（前回計画アンケートと今回の比較）

○小出地域（のるーと魚沼）は他の地域と比較しても 71%と認知度が高い傾向にあります。

○しかし、小出地域以外の全ての地域において公共交通の認知度の低下がみられるため、乗合タクシーの認知度向上を図る必要があります。

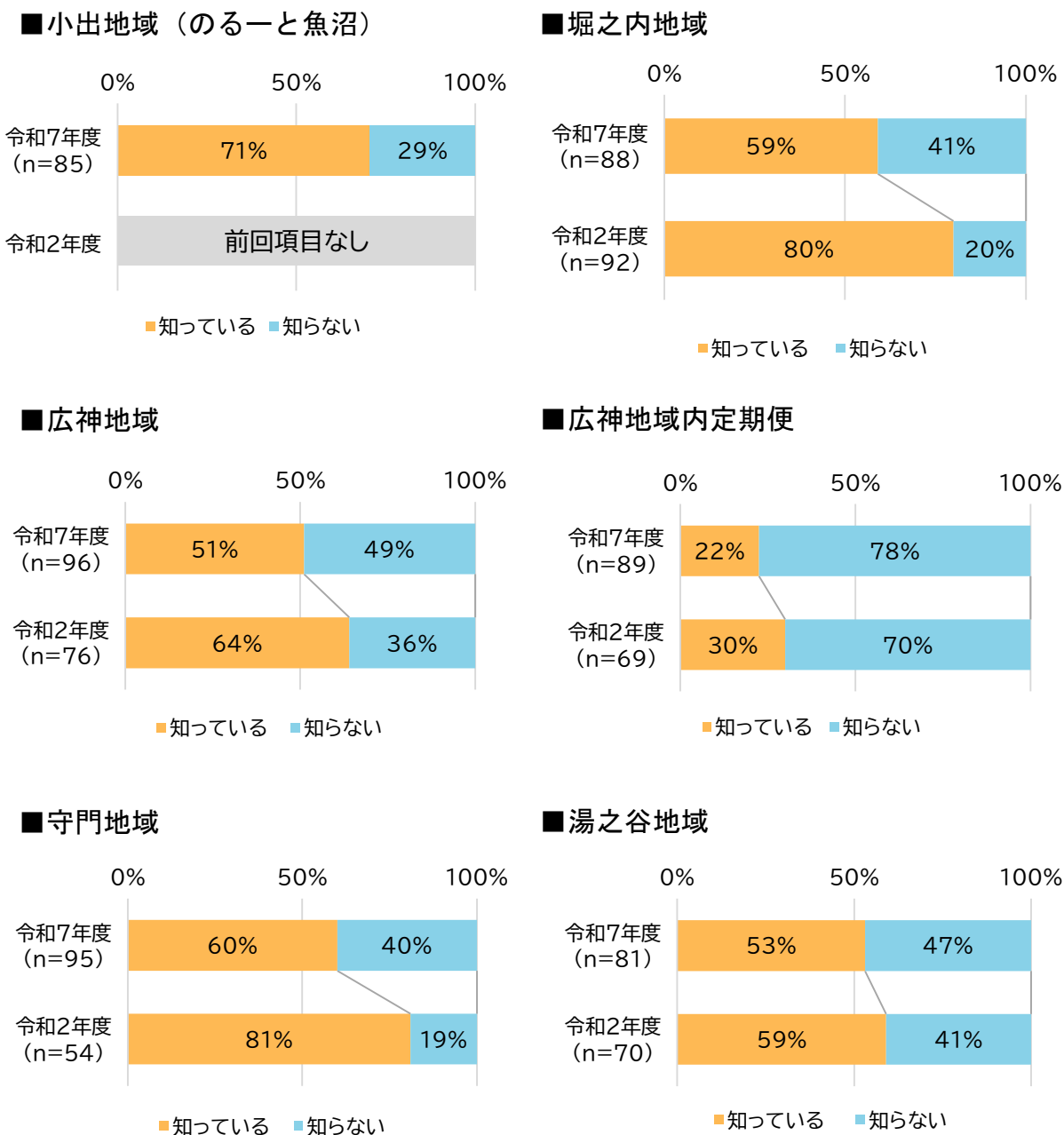


図 乗合タクシーの地域認知度の比較（前回計画アンケートと今回の比較）  
 [出典] 魚沼市住民（65歳以上）アンケート調査

## 2.6.10 入広瀬コミュニティバス

### (1) 上方方面

○令和2年度から令和5年度にかけて利用者数は減少傾向にあります。

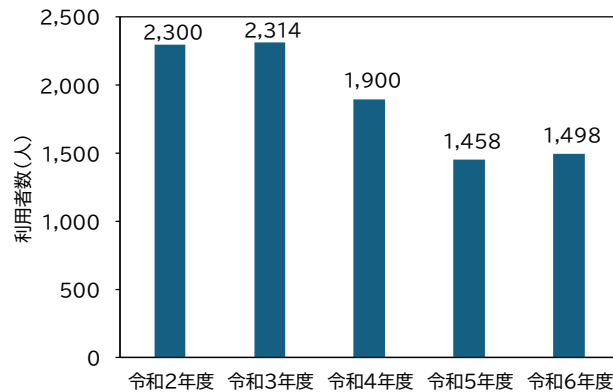


図 上方方面の利用者数の推移

### (2) 大栃山・穴沢方面

○利用者数は令和4年度まで増加傾向にありましたが、同年度から減少傾向に転じています。

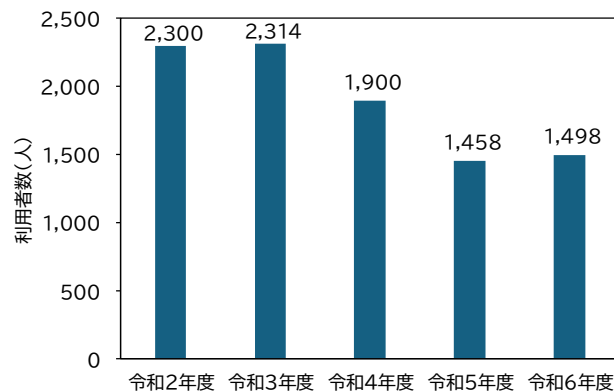


図 大栃山・穴沢方面の利用者数の推移

### (3) 大白川方面

○利用者数は令和2年度から令和5年度まで減少傾向にありましたが、同年度から増加傾向に転じています。

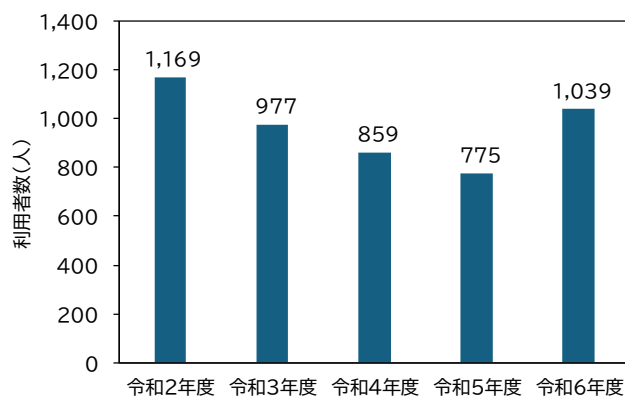


図 大白川方面の利用者数の推移

[出典] 魚沼市資料

## 2.6.11 一般タクシー

○魚沼市内にはタクシー事業者が4社あります。4社のタクシー利用者数は令和3年度には減少しましたが、以降回復し横ばいの推移が続いています。

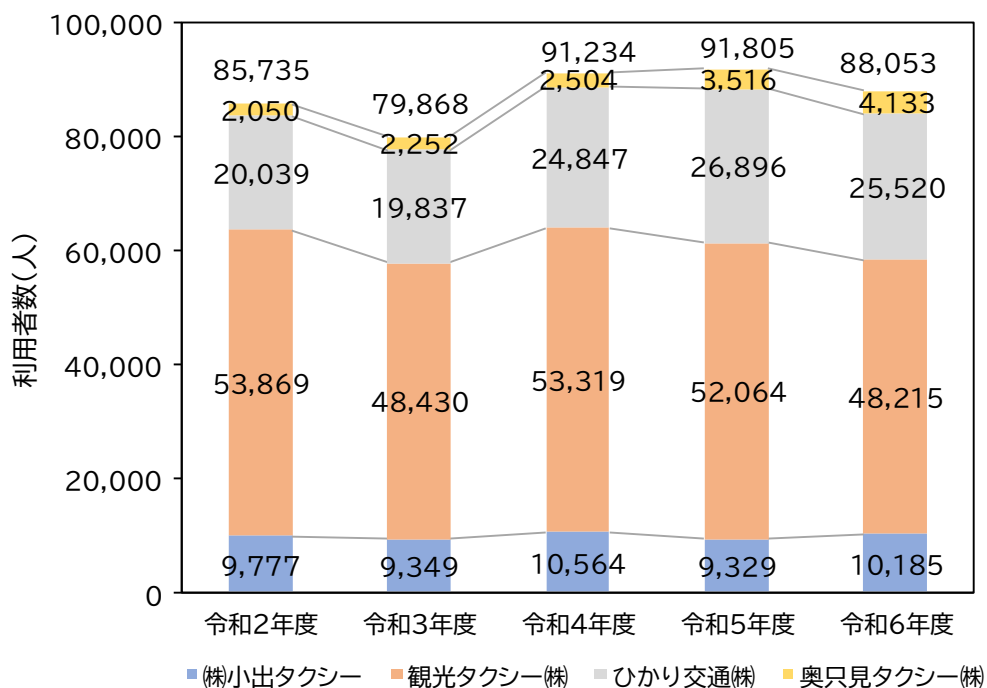


図 一般タクシーの利用者数

[出典] (株)小出タクシー  
 観光タクシー(株)  
 ひかり交通(株)  
 奥只見タクシー

## 2.7 その他市内の交通手段

### 2.7.1 スクールバス

○本市では、小中学校から遠方に居住する児童・生徒のための通学対策として、スクールバスを運行しています。また、スクールバスによる対応と併せて、路線バスを利用して通学する児童・生徒に対して、通学定期券を支給している地域もあります。守門地域では一般タクシーや乗合タクシーを利用した通学も見られます。

○なお、通学対策事業費（通学定期券支給・スクールバス運行等）は、令和6年度実績で約1億700万円となっています。

表 令和7年度スクールバス運行路線（令和7年8月1日現在）

系統	目的地	路線	備考
小出地域	小出小学校	青島上-干溝-小出小学校	
	伊米ヶ崎小学校 小出中学校 伊米ヶ崎保育園	岡新田-板木-伊米ヶ崎小学校 十日町-小出中学校（冬季）	保育園バス
	堀之内地域	堀之内小学校 宇賀地小学校 堀之内中学校	魚野地-笹花-堀之内小・中学校
下倉新田-田戸-堀之内小学校			
上稲倉-堀之内小・中学校			
竜光（冬季）-新道島 -宇賀地小・堀之内中学校			
堀之内中学校	下倉-堀之内中学校	路線バス	
湯之谷地域	湯之谷小学校	清水上-湯之谷小学校	
		大湯温泉-葎沢-大沢-湯之谷小学校	
	湯之谷中学校	大湯温泉-湯之谷中学校	路線バス

系統	目的地	路線	備考
広神 地域	広神西小学校 広神東小学校 広神中学校	栗山-広神西小学校-広神中学校 -長松-広神東小学校	
		中島新田（冬季）-池平 -広神東小学校-広神中学校	
		水沢-広神西小学校-広神中学校 -東中-広神西小学校	
	広神西小学校 広神中学校	滝之又-広神西小学校-広神中学校	路線 バス
	広神中学校	田中-広神中学校	路線 バス
守門 地域	魚沼北中学校 須原小学校	和田橋-魚沼北中学校・須原小学校	
	須原小学校	赤土-須原小学校	
入広瀬 地域	魚沼北中学校 須原小学校	大白川-穴沢寺前-須原小学校・魚沼北中学 校	
	すもんこども園 須原小学校	横根-すもんこども園-須原小学校	

## 2.7.2 診療所患者通院バス

- 診療所患者通院バスは、福山地区から守門診療所までの区間と、横根・大白川地区から入広瀬診療所までの区間を運行する無料のシャトルバスです。福山地区の利用者数は安定していますが、横根・大白川地区については年々大幅に減少していることが分かります。
- なお、運行に必要な経費は、令和6年度実績で福山地区が約71.8万円、横根・大白川地区が約65.3万円となっています。
- 一人あたり市負担額を算出すると、福山地区が4351円、横根・大白川地区が20,406円となっており、非効率な運行となっています。

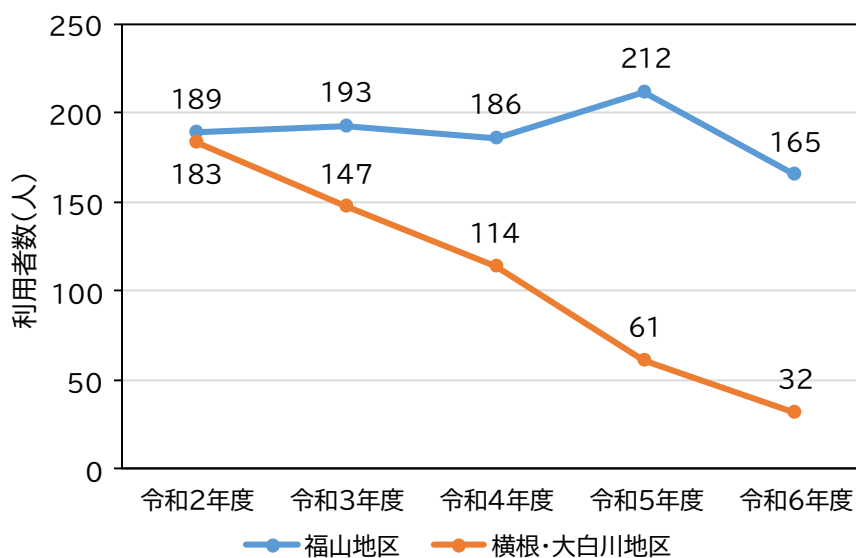


図 診療所患者通院バスの利用者数

[出典] 魚沼市資料

## 2.8 市外への移動手段

### 2.8.1 鉄道

- 小出駅及び越後堀之内駅の利用者数は減少傾向で推移しています。
- 越後堀之内駅のみどりの窓口は令和2年9月30日をもって、小出駅でのみどりの窓口は令和6年2月29日をもって営業を終了しました。そのため、定期券等を購入する際は小千谷駅または浦佐駅まで行かなければなりません。
- また、都市間輸送を担う上越新幹線の最寄り駅は南魚沼市の浦佐駅であり、路線バスや鉄道でアクセスすることが可能です。

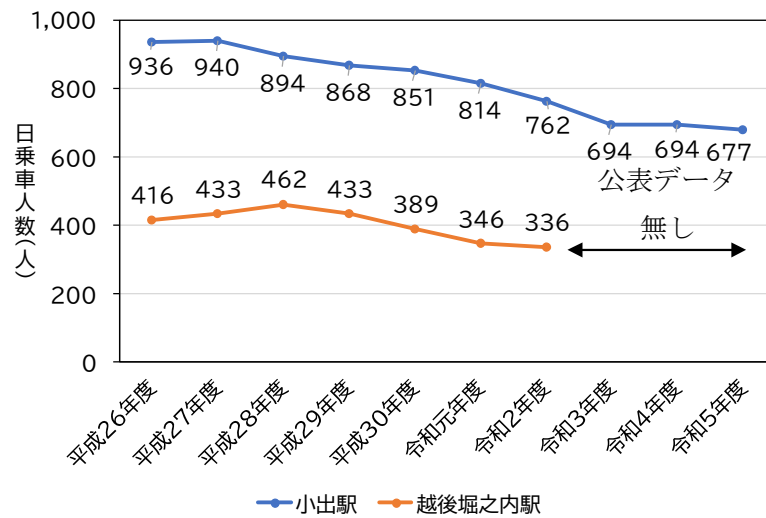


図 鉄道利用者数の推移（日乗車人数）

[出典] JR東日本

### 2.8.2 高速バス

- 本市には、県内高速バスの新潟—十日町線が片道2便、県外高速バスの新潟—東京線が片道8便運行されており、魚沼ICの停留所で乗降できます。停留所には、待合施設やパークアンドライドを整備し、利便性の向上を図りました。
- 引き続き高速バスの運行を維持していくには、利用者数を確保しなければならないため、さらなる利用促進を図ることが必要です。



図 県内高速バス（新潟—十日町線）



図 県外高速バス（新潟—東京線）

## 2.9 アンケート調査結果

### 2.9.1 アンケート調査の概要

○主な公共交通利用者と想定される住民（65歳以上）及び高校生、実際に乗合タクシー等を利用されている方の市内公共交通の満足度や改善要望等を把握するためアンケート調査を実施しました。

○アンケート調査の配布対象や、配布方法、回収率等の概要を以下に示します。

項目	住民(65歳以上)アンケート	乗合タクシー、のりーと利用者アンケート	高校生アンケート
配布対象	65歳以上の市民	乗合タクシー等の利用者	市内の高校生
配布/回収方法	調査票及びWebアンケート用QRコードを郵送配布(1200部)	乗合タクシー及びのりーと魚沼ドライバーからの配布	調査票及びWebアンケート用QRコードを郵送配布(800部)
調査日	令和7年 8/8(金)~17(日)	令和7年 8/1(金)~17(日)	令和7年 8/8(金)~17(日)
回収数	619部(回収率:51.6%)	60部	294部(回収率:36.8%)

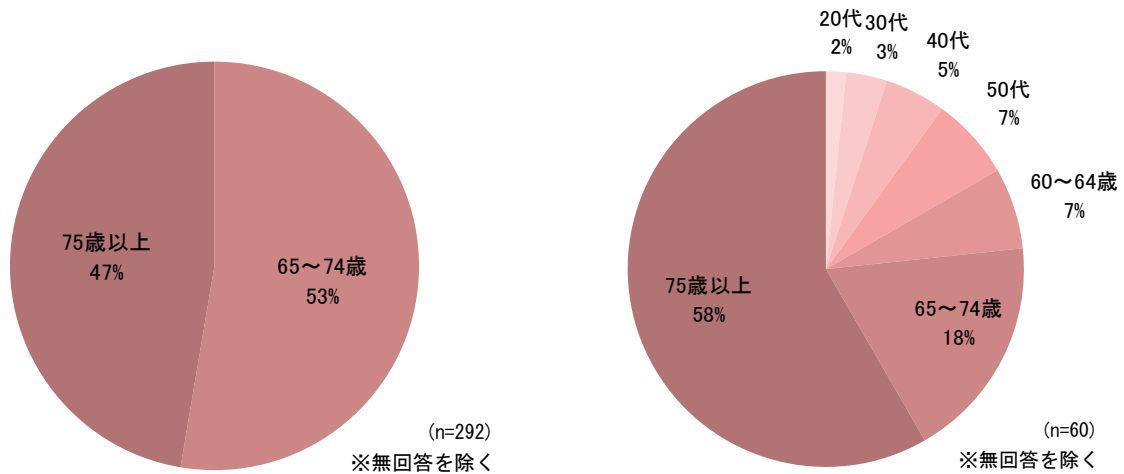


図 【回答者の属性】年齢構成（左：住民 右：利用者）

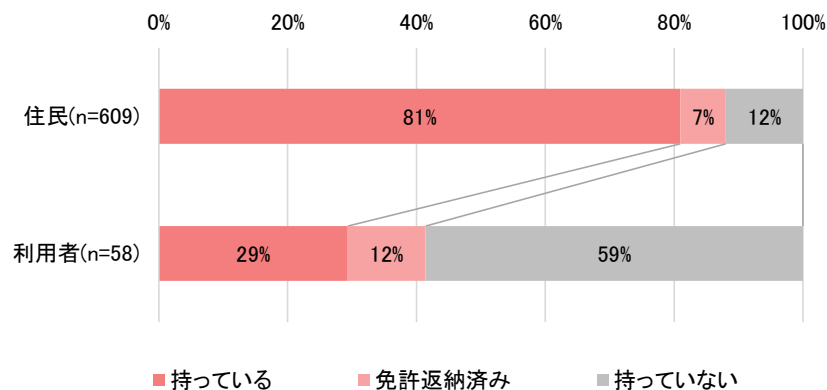
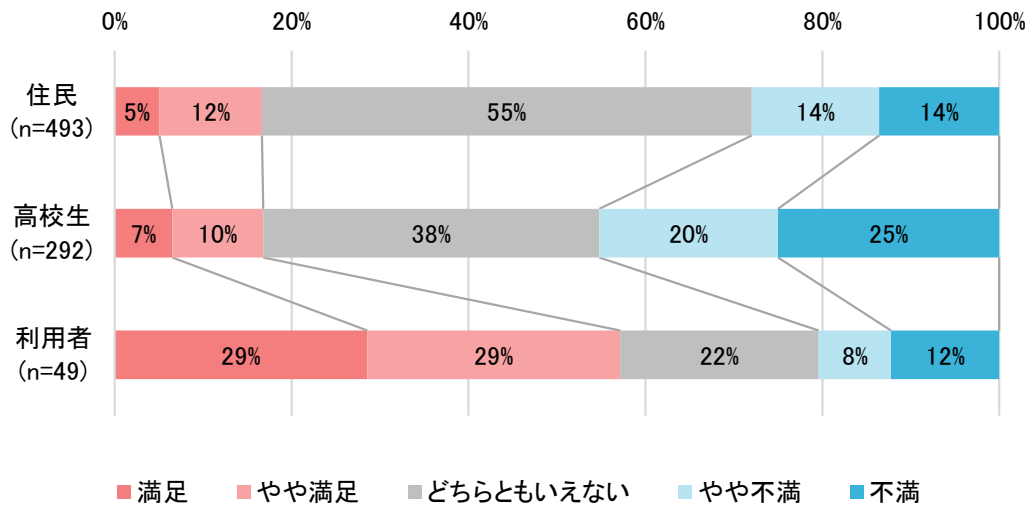


図 【回答者の属性】免許保有者の割合（高校生を除く）

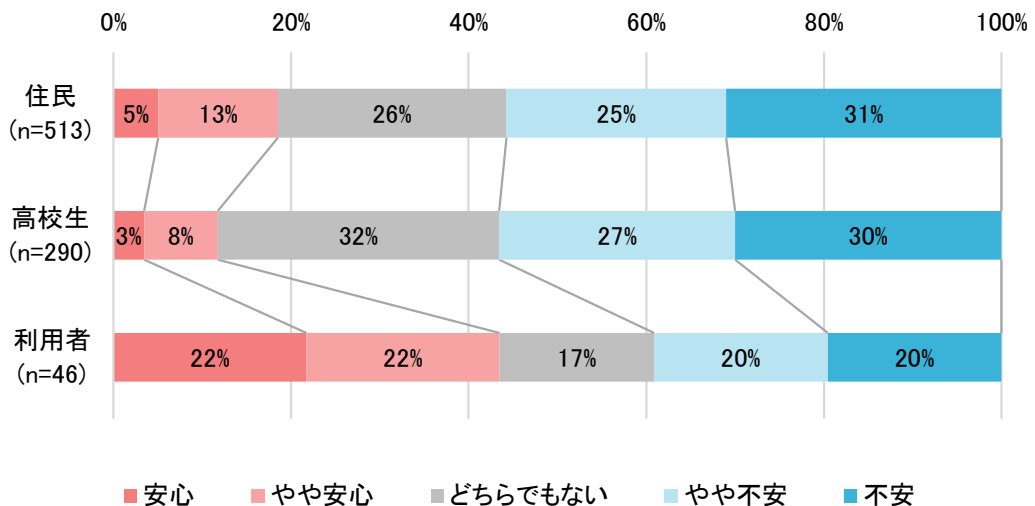
### 2.9.2 魚沼市内の公共交通に対する満足度

- 住民・高校生ともに、「満足」「やや満足」の合計が、「やや不満」「不満」の合計よりも低い結果となりました。また、特に高校生は「やや不満」「不満」と感じている人が45%と多いことが分かります。
- 利用者は住民や、高校生と比べて「満足」「やや満足」と感じている人が多い結果となりました。  
⇒高校生や住民等の満足度を高めるため、改善要望等を踏まえて公共交通の改善を図る必要があります。



### 2.9.3 今後魚沼市に住み続ける場合の将来の公共交通に対する安心度

- 住民および高校生は、「やや不安」「不安」の合計が、どちらも50%以上であり不安を感じている人が多いことが分かります。
- 利用者においては「安心」「やや安心」の割合と、「やや不安」「不安」の割合がほぼ同程度となっています。  
⇒高校生や住民等の将来の移動に対する不安感を低減させられるよう、改善要望等を踏まえて公共交通の改善を図る必要があります。



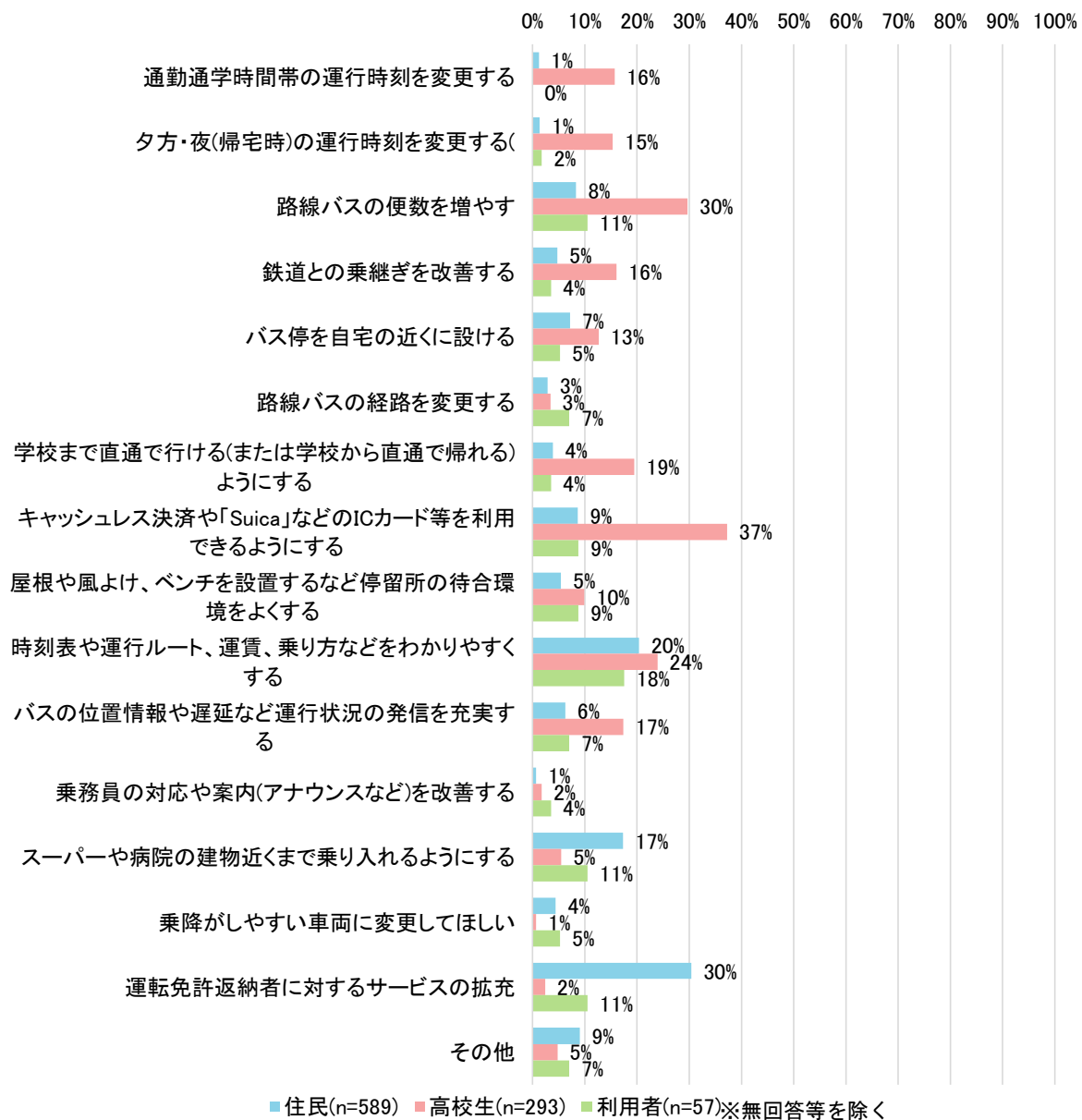
## 2.9.4 路線バス（入広瀬コミバスも含む）に対する改善要望

○住民においては、「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が30%と最も多く、次いで「時刻表やルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が20%となっています。

○高校生においては、「キャッシュレス決済やICカード等を利用できるようにする」が37%と最も多く、次いで「路線バスの便数を増やす」が30%となっています。また、運行時刻の変更や学校までの直通化が求められています。

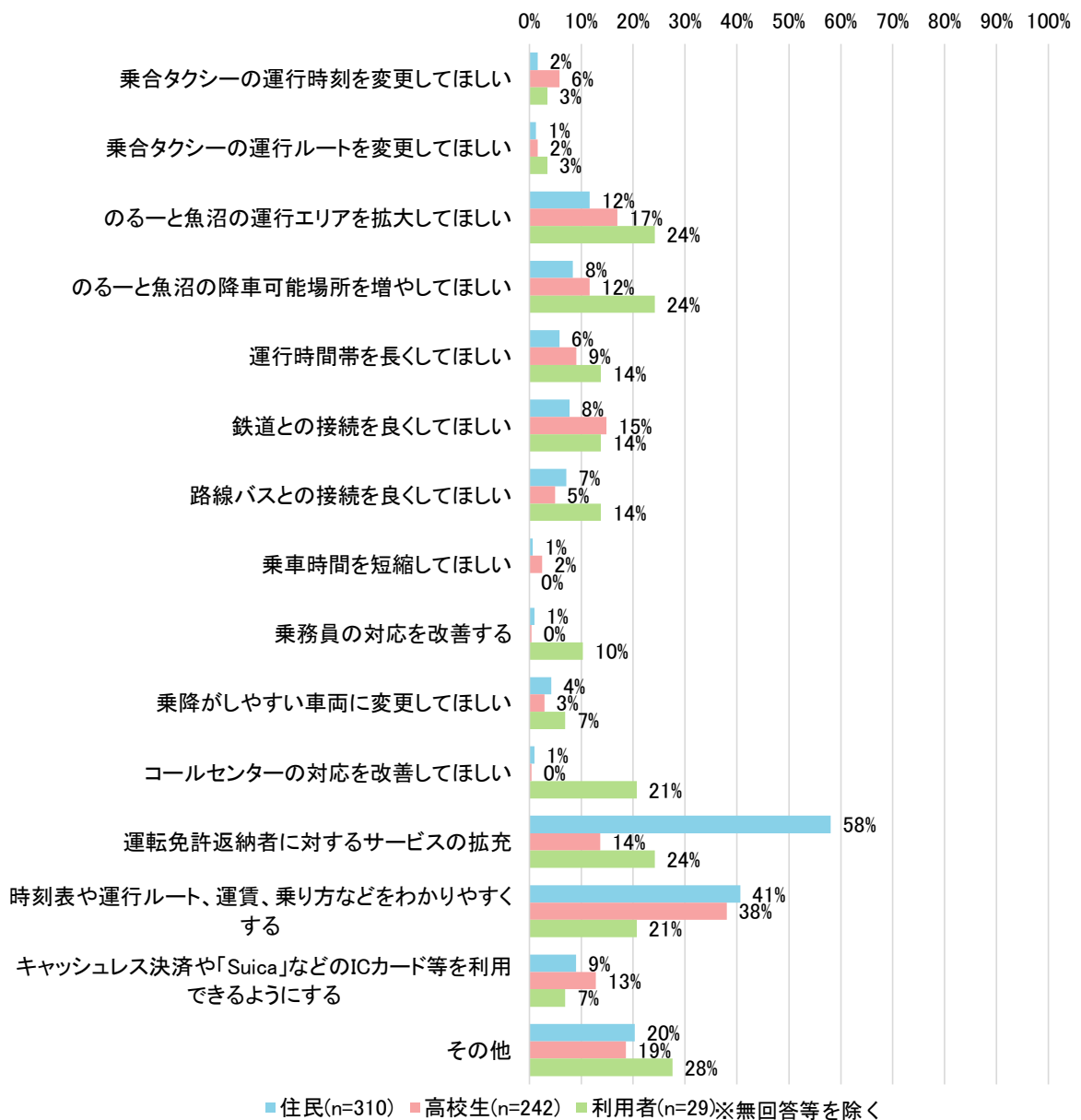
○利用者においては、「時刻表やルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が18%と最も多くなっています。

⇒全ての回答区分から路線バスの情報を分かりやすく提供するための改善が求められています。



## 2.9.5 各地域乗合タクシーおよびのりーと魚沼に対する改善要望

- 住民（65歳以上）においては、「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が58%と最も多く、次いで「時刻表やルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が41%となっています。
- 高校生においては、「時刻表やルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が38%と最も多い結果となっています。
- 利用者においては、「のりーと魚沼の運行エリア、降車可能場所の拡大」「運転免許返納者に対するサービスの拡充」と回答する人が多く見られました。



## 2.10 市内団体へのヒアリング調査

○市内の高齢者や障がい者、児童生徒の支援等を行っている各団体から、普段関わる方々から聞いた公共交通への要望を把握するために、令和6年度にヒアリング調査を実施した。意見を整理した結果を下表に示す。

大分類	要望カテゴリ	老人クラブ 連合会	地域包括 支援セン ター	民生委員児 童委員協議 会	自立支援 協議会	主な意見・具体例
周知 改善	停留所の明確 化・案内表示の 改善				○	原信・ウオロクの乗場が分かり づらい
	乗合タクシーの 使い方・予約方 法の周知徹底	○	○		○	利用方法が分からない、講座だ けでは理解困難、乗車体験希望
利便性 向上	夜間・休日の交 通便の確保	○		○	○	夜の便が少ない（只見線・穴沢 線）、休日の乗合タクシーがな い、飲酒後の帰宅手段がない
	魚沼基幹病院へ のアクセス改善		○	○	○	直通便がない、乗継が不便、診 療所へ変更する例もある
	公共交通の待ち 時間・乗継時間 の短縮		○	○	○	乗合タクシーの待ち時間が長 い、路線バスとの乗継が困難
	公共交通の団体 利用・一括予約	○			○	のるーとの団体予約ができると 便利、特別支援学校の校外学習 でも活用希望
子育て 世代・ 子ども	高齢者・障がい 者向けの乗降環 境整備		○	○	○	バスのステップ設置、屋根付き 乗場、車いす・押し車対応、自 宅玄関からの補助
	子育て世代の送 迎負担軽減			○		子供の送迎でフルタイム勤務が 困難
ドライ バー 確保等	部活動・学校活 動に対応した交 通手段の整備			○	○	部活動移行後の通学手段がな い、17時台のバス希望
	公共交通ドライ バーの待遇・人 材確保			○		ドライバーの待遇改善、高齢者 ドライバーの活用、市内候補者 のリストアップ
のるーと 魚沼	ドライバーへの 障がい者への対 応・教育				○	運転手が障がい者かどうか確認 する場面がある、教育の必要性
	のるーと魚沼の 説明会・体験機 会の提供	○	○		○	のるーとの説明会に行けなかつ た、理解できなかった人がいる ため丁寧に実施して欲しい
	のるーと魚沼の 予約・利用の利 便性向上	○	○		○	9時台に電話がつながらない、 予約方法が複雑、確認方法の簡 素化希望
その他	のるーと魚沼へ のキャッシュレ ス決済の導入				○	キャッシュレス決済や領収書の ネット発行導入希望
	冬期の移動手段 確保		○		○	雪で外出困難、地域の茶の間が 休止、自宅玄関の階段が障害
	駅周辺の駐車 場・駐輪場の整 備			○		小出駅周辺の駐車スペース不 足、防犯上の不安
	タクシー券・回 数券の制度改善		○	○	○	月額制限で活動範囲が狭まる、 障がい者用タクシー券がすぐな くなる、社内販売希望
	地域内の助け合 いによる移動支 援		○			堀之内奥地域で住民同士が乗り 合っている事例
	JR障がい者割引 制度の補完・市 独自の支援制度				○	単独利用では100km以上でない と割引にならないため、市独自 の補助希望

## 第3章 公共交通の課題

以下に、第2章で行った現況整理等の結果を整理し、それらから抽出される課題を示します。

分類	現状・問題	課題
現況整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市北部の乗合タクシーに重複があり、非効率な運行となっている (P26)</li> <li>○市北部や、堀之内地域において路線バスと乗合タクシーの重複がある (P26)</li> <li>○市負担額が年々増加している (P28)</li> <li>○乗合タクシー及びのりーと魚沼の一人あたり市負担額が高く、非効率な運行となっている (P30)</li> <li>○「のりーと魚沼」は利用者が増加傾向だが、市負担額が高い (P40)</li> <li>○また、「湯之谷乗合タクシー」についても利用者増により、市負担額が高くなっている。(P40)</li> </ul>	<p><b>①公共交通の市負担額の軽減と効率化</b> 行政負担の軽減と、乗合タクシー・のりーとの効率的な運行が必要</p>
現況整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来的に、高齢化等によりバスドライバーが減少する可能性がある (P31)</li> <li>○小千谷総合病院～川口～小出営業所前線は、魚沼市外での利用が多く魚沼市内の利用は少ないことから、系統のあり方を検討する必要がある (P36)</li> <li>○六日町駅前～新国道・魚沼基幹病院・小出駅～魚沼市役所前線は魚沼市から六日町（南魚沼市）まで乗り続けている人は少ないことが想定され、実際の利用状況を知るためにはOD調査が必要 (P37)</li> </ul>	<p><b>②地域間交通の維持・見直し</b> 効率化と地域間幹線系統の維持の両立が必要</p>
現況整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路線バスと乗合タクシーの重複や、市北部の乗合タクシーに重複があり、ドライバー数を削減する余地がある (P26)</li> <li>○将来的に、高齢化等によりバスドライバーが減少する可能性がある (P31、再掲)</li> <li>○同様に、タクシードライバーについても、高齢化等により将来的な減少が予想される (P31)</li> </ul>	<p><b>③ドライバーの確保と持続可能な運行体制の構築</b> 将来に向けた人材確保と運行体制維持が必要</p>

分類	現状・問題	課題
現況整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故の高齢者の事故率が微増傾向にあり、事故率低下のため公共交通の利用促進が求められる(P15)</li> <li>○免許返納者数が一定数に留まっていることから、更なる公共交通への転換のため利便性向上が必要(P16)</li> <li>○コロナ禍以降、路線バスの利用者数が減少し、減便の影響でさらに減少している(P27)</li> <li>○乗合タクシーの認知度が令和2年度と比較して低下しており、利用方法を含めた周知の強化が必要(P41)</li> </ul>	<p><b>④利用者の利便性向上と利用促進</b></p> <p>利用者数の維持・増加と、施設へのアクセス改善が必要</p>
アンケート・ヒアリング調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民(65歳以上)と高校生は公共交通に対する満足度が低く、将来の移動に対しても不安を抱えている(P49)</li> <li>○高校生はキャッシュレス決済の導入や路線バス増便やダイヤ変更が求めている(p50)</li> <li>○住民(65歳以上)は、運転免許返納者に対するサービスの拡充が求めている(P50, 51)</li> <li>○全ての区分から、公共交通の分かりやすい情報提供が求められている(P50, 51)</li> <li>○小出病院や市役所へのバス停が遠く、悪天候時などに不便(P52)</li> <li>○魚沼基幹病院へのアクセス改善が求められている(P52)</li> </ul>	

## 第4章 基本的な方針、計画の目標

## 4.1 計画の基本方針

---

### 支え合い、乗り合い、未来へつなぐ、持続可能な公共交通

基本方針には、地域の皆で公共交通を支え、次世代へとつなげていくという思いを込めています。ドライバー不足や運行コストの増加などにより、公共交通の持続的な運行は困難な状況にあります。こうした中で、市民が安心して移動できる環境を守り続けるためには、交通事業者・行政・地域住民がそれぞれの立場で役割を果たし、連携・協働して地域交通を支えていくことが不可欠です。

公共交通の持続可能な運行体制を築き、利便性の高い交通体系の構築と利用促進を図ることで、持続可能で魅力ある交通体系の実現を目指します。

## 4.2 計画の目標

---

### ① 持続可能な地域公共交通運営体制の構築

- 市北部の乗合タクシー等の重複を整理し、只見線や路線バスとダイヤが重ならないよう調整し、トータルでの運行頻度を維持します。
- 市域を跨ぐ幹線系統は、沿線自治体や交通事業者と協議し、利用実態に合った再編を検討します。
- 市負担が増加している乗合タクシー運賃を、適正価格へ見直します。
- 温泉施設など地域資源との連携・活用方法を検討します。

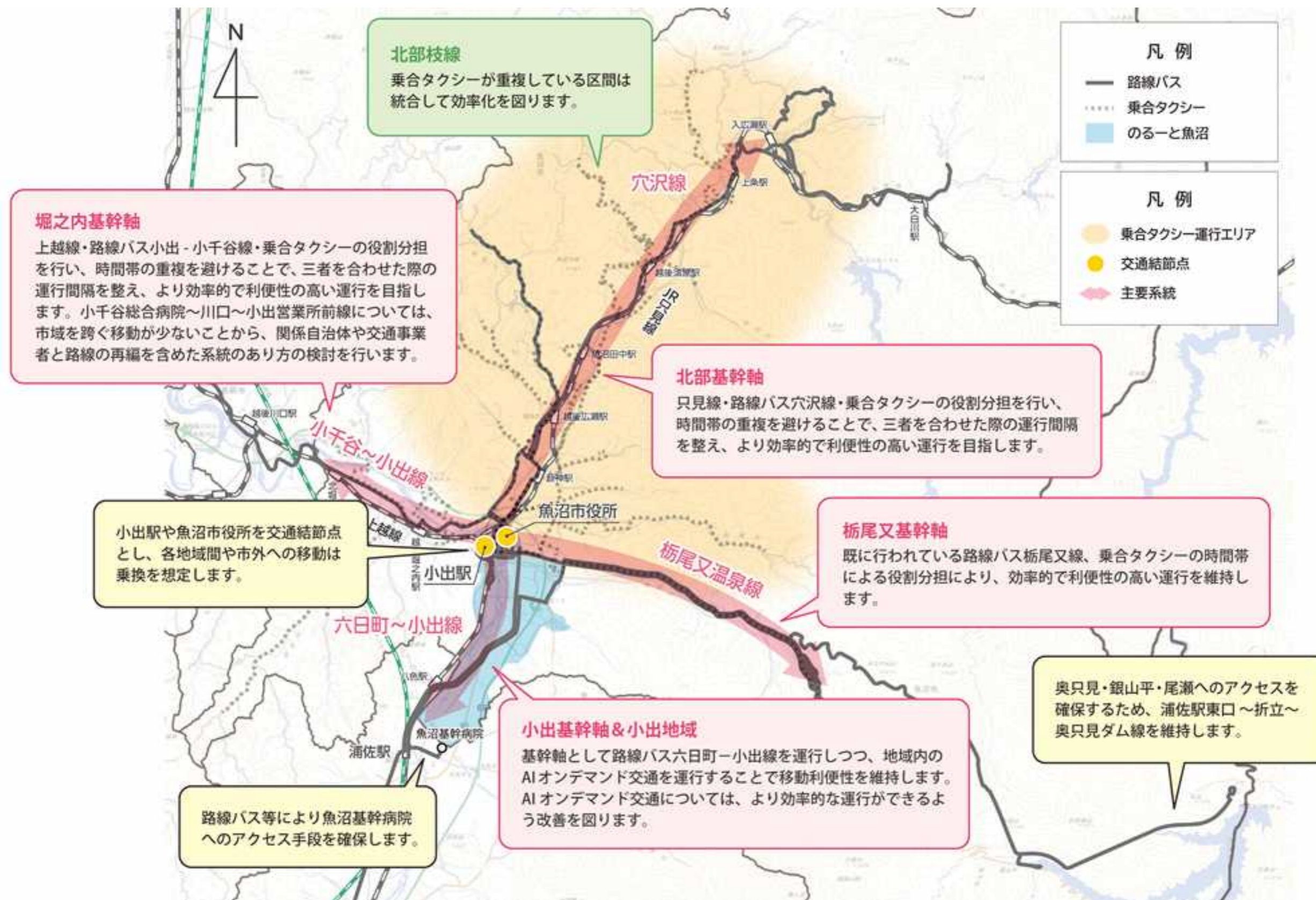
### ② 利便性の向上と利用促進による公共交通の維持

- 魚沼基幹病院へのアクセスが小出地域以外からもしやすくなるように検討を行います。
- 公共交通の利用方法を分かりやすく伝えるため、公共交通マップの作成や、乗り方説明会等を実施します。
- 現在免許返納を迷っている方や、公共交通を利用していない方にも利用をしてもらえるような利用促進を行います。
- 尾瀬エリアへの観光客の利便性を高めるため、新たな観光交通チケットの造成やキャッシュレス決済の導入を検討します。

### ③ 地域公共交通を支える人材の確保と育成

- こどもにバスに興味をもってもらい利用をしてもらうことで、将来運転手になってもらえるように、こどもへのバス利用意識の醸成を行います。
- 交通事業者へのドライバー確保に対する補助制度を導入するとともに、大型バスの運転に興味をもってもらえるような体験会を企画します。

#### 4.3 目指す地域公共交通網



基幹軸：鉄道、路線バス、乗合タクシー等の経路が重複している区間

#### 4.4 目指す地域公共交通網に関わる各交通手段の役割

○公共交通の機能、役割及び目的を分類し、以下の通り整理します。

交通手段	役割及び目的
鉄道（上越線）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市域をまたいで広域的に他市町村と魚沼市を結ぶ基幹的な路線。</li> <li>○定時定路線を基本とし、通勤・通学・通院・買物などの目的に対応。</li> </ul>
鉄道（只見線）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光資源としての役割も担い、地域間交流を促進する路線。</li> <li>○定時定路線を基本とし、通学・通院・観光などの目的に対応。</li> </ul>
路線バス（市外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市域をまたいで広域的に他市（長岡市・南魚沼市など）と魚沼市を結ぶ路線。</li> <li>○定時定路線を基本とし、通勤・通学・通院・買物などの目的に対応。</li> </ul>
路線バス（市内）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の中心拠点（小出駅周辺）と地域拠点を結ぶ路線。</li> <li>○市役所、病院、商業施設など主要施設を循環する路線。</li> <li>○地域の特性に合わせて通院・買物・観光などの目的に対応。</li> </ul>
乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多人数の輸送需要が少ない地域を対象とした区域運行型の乗合交通。</li> <li>○地域の特性や需要に応じて通院・買物などの目的に対応。</li> <li>○交通空白地域の移動利便性を補完。</li> </ul>
のりーと魚沼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小出地域内の区域運行型の乗合交通。</li> <li>○小出地域内の移動利便性を高めつつ、システムによる輸送効率の向上を目指す。</li> <li>○小出地域内の通院・買物等の目的に対応。</li> </ul>
一般タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間帯やエリアに制限なく自由に移動できる交通手段。</li> <li>○他の交通手段を補完し、緊急時や柔軟な移動ニーズに対応。</li> </ul>
入広瀬 コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の生活移動を支えるコミュニティ路線。</li> <li>○入広瀬地域内の拠点（病院、商業施設、行政施設など）へのアクセスを確保。</li> <li>○高齢者や交通弱者の移動手段としての役割を担う。</li> </ul>

#### 4.5 地域公共交通確保維持事業等の必要性和実施主体

○路線バスや乗合タクシーについては、国の補助制度を活用し、地域間幹線系統や地域内フィーダー系統の運行を維持していくことから、以下の表に補助対象路線を明示します。また、一部の系統については、新潟県生活交通確保対策補助金を活用して維持をしていきます。

系統名	必要性・有用性	運行事業者	事業許可区分	補助
小千谷～小出線	魚沼市と小千谷市を結び、地域間移動や通勤・通学・通院・買物などを支える交通手段	南越後観光バス(株)	4条乗合(路線定期)	※1
小出～栃尾又温泉線	魚沼市内と温泉地を結び、地域間移動や観光・通勤・通学・通院・買物を支える交通手段	南越後観光バス(株)	4条乗合(路線定期)	※1
六日町～小出線(新国道経由)	魚沼市と南魚沼市を結び、地域間移動や通勤・通学・通院・買物などを支える交通手段	南越後観光バス(株)	4条乗合(路線定期)	※1
六日町～小出線(魚沼基幹病院経由)	魚沼市と南魚沼市を結び、地域間移動や通勤・通学・通院(特に魚沼基幹病院)・買物などを支える交通手段	南越後観光バス(株)	4条乗合(路線定期)	※1
のるーと魚沼	小出地域内の停留所間を自由に移動でき、好きな時間に予約ができる柔軟で利便性の高い交通手段。生活交通(通院・買物等)を支えている。	(株)小出タクシー 奥只見タクシー(株) 観光タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
湯之谷地域乗合タクシー	湯之谷地域内と小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)および観光の足としても利用される交通手段	(株)小出タクシー	4条乗合(区域運行)	※2
田中・清本・長松・米沢	清本・長松地域と小出地域を結び、生活交通(通院・買物	(株)小出タクシー	4条乗合(区域運	※2

系統名	必要性・有用性	運行事業者	事業許可区分	補助
乗合タクシー	等)を支える交通手段		行)	
三ツ又乗合タクシー	三ツ又地域と小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	(株)小出タクシー	4条乗合(区域運行)	※2
上稲倉・魚野地乗合タクシー	上稲倉・魚野地地域と小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	ひかり交通(株)	4条乗合(区域運行)	※2
新道島乗合タクシー	新道島地域と小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	ひかり交通(株)	4条乗合(区域運行)	※2
滝之又乗合タクシー	滝之又地域と小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	奥只見タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
水沢・越又・泉沢乗合タクシー	水沢・越又・泉沢地域と小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	奥只見タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
福山新田乗合タクシー	福山新田地域から小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	観光タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
高倉乗合タクシー	高倉地域から小出地域を結び、生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	観光タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
小出・守門乗合タクシー	小出地域から守門地域(福山新田・高倉)への帰宅の移動を担う交通手段	観光タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
守門地域内フルデマンド便	守門地域内の生活交通(通院・買物等)を支える柔軟な交通手段	観光タクシー(株)	4条乗合(区域運行)	※2
小出＝上条＝穴沢線	魚沼市内の生活交通(通院・買物等)を支える交通手段	南越後観光バス(株)	4条乗合(路線定期)	※3

※1 国の地域公共交通確保維持事業における「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」を活用

※2 国の地域公共交通確保維持事業における「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用

※3 新潟県生活交通確保対策補助金を活用

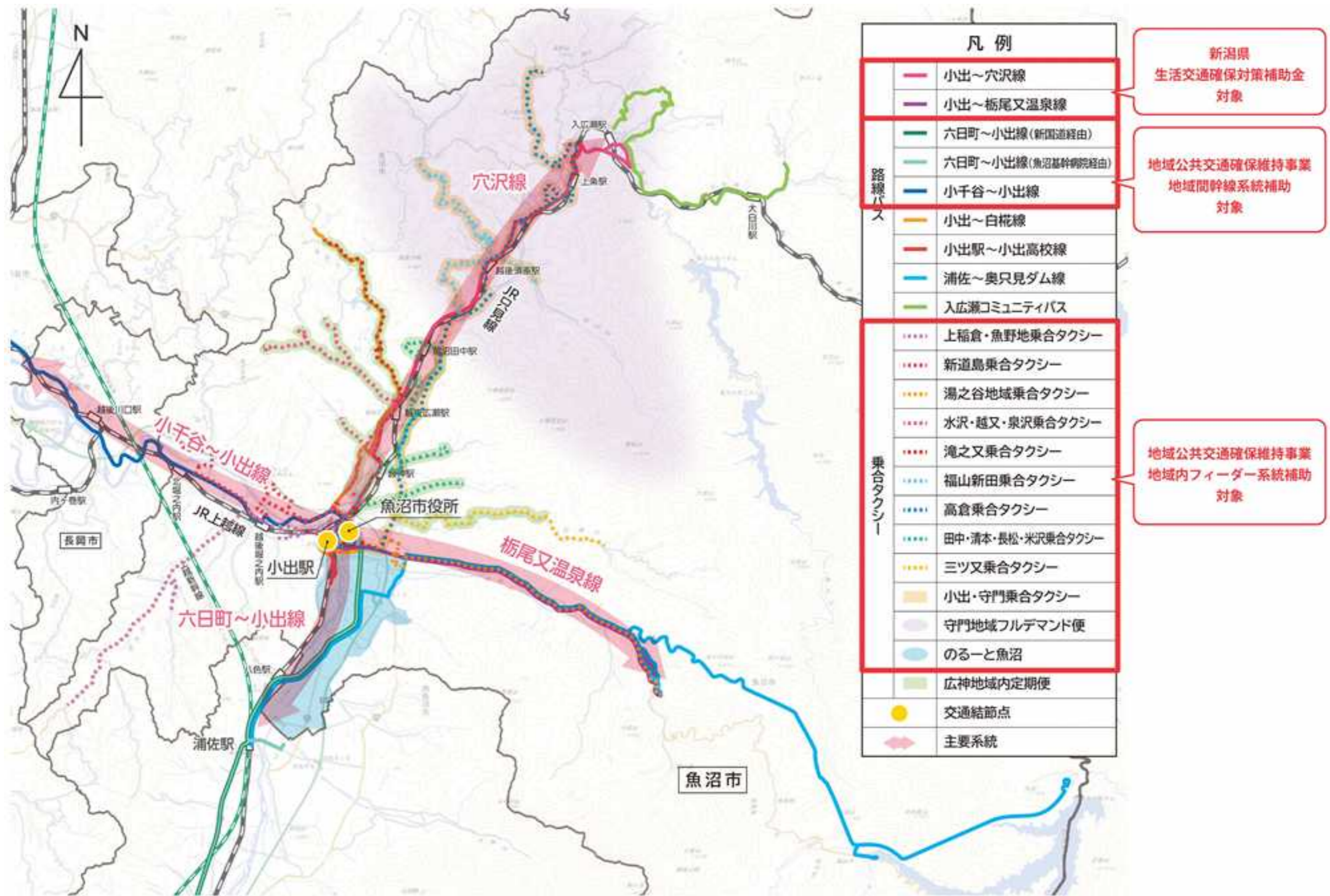


図 魚沼市内の運行系統と地域公共交通確保維持事業等の活用系統

## 第5章 目標達成のための施策・事業



### 施策 1-2 のるーと魚沼の運行効率化

- 更なる利用促進により利用者数を増やすことや、1台の車両に乗り合う人数を増加させ、一人あたり市負担額の低減を目指します。
- のるーと魚沼の乗り方講座を実施（施策 2-5）することや、乗車体験（施策 2-6）等を通して、利用者数の増加を図ります。

### 施策 1-3 市内公共交通と地域の輸送資源の連携

- 観光客や利用者に公共交通を利用してもらえるように、温泉施設等に公共交通でのアクセス方法を HP 等に示すように依頼をします。
- 温泉施設の送迎バスを公共交通で代替するなどの連携方法を検討します。

### 施策 1-4 地域間幹線系統の再編・維持の検討

- 魚沼市内の地域間幹線系統の機能を整理した上で、沿線自治体や交通事業者と今後の地域間幹線系統の実際の利用状況を確認しながら、今後のあり方について協議を継続的に行い、現状に合った適切な運行形態となるようにします。
- 小千谷総合病院～川口～小出営業所前線については、上下線ともに魚沼市内の利用は少ないことから、市域を跨ぐ必要性が低い状況にあるため、関係自治体や交通事業者と路線の再編を含めた系統のあり方の検討を行います。
- また、六日町駅前～新国道・魚沼基幹病院・小出駅～魚沼市役所前線については、浦佐駅や魚沼基幹病院で乗降が多いがそれ以外の区間の利用実態が不明であるため、OD 調査を実施します。

### 施策 1-5 乗合タクシーの運賃改善

- 乗合タクシーやのるーと魚沼は運賃が安価であることから、行政負担が大きくなっています。物価高騰の影響やこれまでのタクシー料金の値上げ、並行する路線バスとの運賃差を鑑みて運賃値上げの検討を行います。

## 目標② 利便性の向上と利用促進による公共交通の維持

### 施策 2-1 郊外部からの魚沼基幹病院アクセス改善の検討

- 小出地域以外からは、直接魚沼基幹病院方面にアクセスする手段が無いことから、行き帰りとも乗り換えがしやすくなるよう、ダイヤの改善を検討します。

### 施策 2-2 乗換拠点における待合環境整備

- 路線バス⇄のりーと魚沼等や乗合タクシー⇄路線バスの乗継時に快適に過ごせるように、待合場所として市役所や小出病院への乗り入れの可能性について、車両の小型化等も含めて検討します。

### 施策 2-3 中高生へのバス利用促進

- 小出高校～（ここいら）～小出駅間を運行する便限定で使用可能な特別乗車券を生涯学習課で作成・配布し、バス利用及びここいらの利用を促します。  
（継続）
- 路線バスの一部区間を中学生のスクールバスとして活用することにより、利用の習慣をつけ、高校進学後も路線バスを利用してもらうことを目指します。  
（継続）

## 施策 2-4 誰もが分かりやすい公共交通マップの作成

○誰もが分かりやすい時刻表や路線図の作成を行い、全戸配布を行います。また、時刻表を持ち運ぶ際に、利用者自身がよく使う路線と時刻を書き込めるMy時刻表を作成して時刻表に含めます。

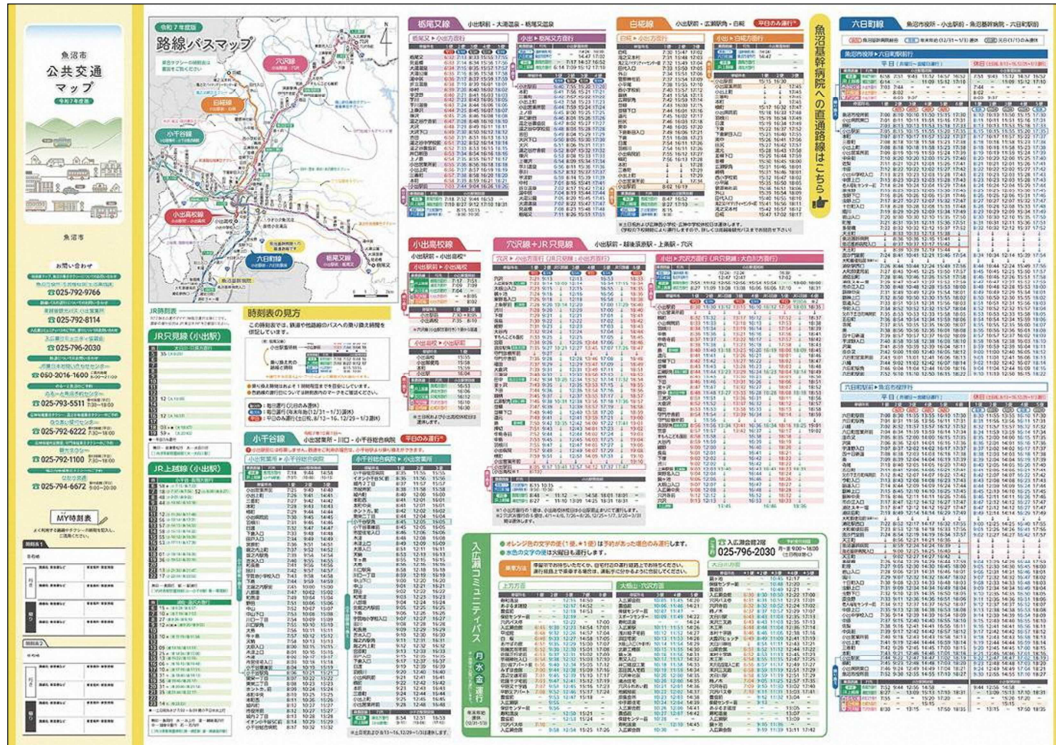


図 魚沼市公共交通マップ

マイ MY時刻表

よく利用する路線やタクシーの時刻を記入し、  
ご活用ください。

時刻表 1	
目的地	
行き	路線名・乗車便など
	乗車場所・乗車時刻
帰	路線名・乗車便など
	乗車場所・乗車時刻

図 My時刻表（魚沼市公共交通マップ内に掲載）

## 施策 2-5 乗合タクシーの乗り方説明会の開催

○2 講座（便利でお得「乗合タクシー」と運転免許証自主返納、～公共交通の新しいカタチ～呼ぶと・来ると・のるーと魚沼）をこれまでに実施しており、今後も継続していきます。



図 乗り方説明会の様子

## 施策 2-6 公共交通利用機会の創出

- 乗合タクシー無料月間（例年7月）を設定し、普段公共交通を利用していない方に対しての公共交通利用機会の創出を行います。また、のるーと魚沼での実施も検討します。
- 上記と併せて、無料月間参加者に後日の公共交通利用時のインセンティブを与えるなど、無料期間以降の利用が続くような取組みを行います。

### 魚沼市乗合タクシー 無料!

# 利用促進月間

令和6年  
7月1日(月)～  
7月31日(水)

- ◆ 運行日時など詳しいことは、「魚沼市乗合タクシー時刻表」をご覧ください。
- ◆ ご利用の際は、運行するタクシー会社へ事前に電話予約してください。（小出まちなか循環線を除く。）
- ◆ 予約制のため、乗車定員を超えた場合は乗車できません。

運行区域	予約先 電話番号
小出地域乗合タクシー	
湯之谷地域乗合タクシー	☎ 792-6222
広神地域乗合タクシー	
堀之内地域乗合タクシー	☎ 794-6672
守門地域乗合タクシー	
広神地域内定期便	☎ 792-1100
小出まちなか循環線	予約不要

**【予約方法（例）】**

**（お客様）**  
○月○日に、小出地域乗合タクシー南行き、○時○分の○便で、「横町バス停」から「市役所」までお願いします。

**（運行者）**  
○時○分発の○便で「横町バス停」に向かいますので、お待ちください。

乗合タクシーで小出市街地へ移動できます。

★JR 小出站、市役所本庁舎、小出病院、原信小出東店、ウオロク魚沼店など、市内各地から小出市街地への移動が可能です。

南魚沼市

路車はルート上で自由

※小出まちなか循環線

<問い合わせ先>

魚沼市役所  
市民福祉部  
生活環境課  
交通対策係

☎792-9766

図 魚沼市乗合タクシー利用促進月間

### 施策 2-7 運転免許返納者への公共交通利用券の交付

○運転免許返納者に対する乗合タクシー等共通回数券（※）の交付を継続して行い、運転免許返納を促すとともに、返納後の公共交通の利用機会を作ることを行ってまいります。（現在は 22,000 円分の回数券を配布。）

※路線バス、タクシー、乗合タクシーで使用可能

○乗合タクシー等共通回数券の交付後も継続して公共交通を使用してもらえるように、回数券（2000 円で 2200 円分）の販売を行っており、今後も継続します。

○また、運転免許返納を迷われている方に対しても、前述の「公共交通利用機会の創出」の取組等に参加してもらうことで、公共交通の体験をしてもらい運転免許返納を促します。

### 施策 2-8 高齢者福祉タクシー利用券・障がい者福祉タクシー利用券の交付

○介護予防・生きがい活動支援事業への参加、医療機関等への送迎や買い物等、広い用途で利用できるよう、利用条件を満たす 65 歳以上の方への高齢者福祉タクシー利用券の交付を継続して実施します。

○また、障がい者の方の移動支援としての障がい者福祉タクシー利用券の交付についても継続して実施します。

### 施策 2-9 尾瀬エリアへのアクセス路線の利用促進

- 公共交通によるアクセス方法を分かりやすくパンフレット等に整理し、観光協会ホームページ等で公開することにより利用促進を図ります（継続）。
- 浦佐～大湯～栃尾又温泉～銀山平～奥只見ダム線については、観光利用が多い路線であるが、利用者数は少なく、また、運賃が低廉のため、協議運賃による運賃見直しも検討します。
- 奥只見遊覧船と会津バス（予約乗合バス）のセット券である「尾瀬パス」に当該路線もセットにする等、利用者にとって利便性が向上するような検討を関係機関に働きかけて行きます。



図 尾瀬パス

出典：魚沼市観光オフィシャルサイト

### 施策 2-10 キャッシュレス決済等の導入

- 観光客が多い浦佐～大湯～栃尾又温泉～銀山平～奥只見ダム線については、観光客の利便性を高めるため、キャッシュレス決済の導入を検討します。
- また、アンケート結果から特に高校生からキャッシュレス決済等の導入を求める声が多かったことから、市内の路線バス等についてもキャッシュレス決済の導入を検討します。

## 目標③ 地域公共交通を支える人材の確保

### 施策 3-1 こどもへのバス利用意識の醸成

- 魚沼農業協同組合と魚沼市が主催するイベント「JA 魚沼北魚沼地区大農業祭 ×食まちうおぬま」(例年10月開催)でのバス乗車体験等により、こどもへの路線バス利用促進と将来運転士になってもらえるような施策を今後も継続的に実施します。(継続)
- 当日の乗車体験を踏まえて、後日実際に路線バスに乗車してもらえるように、次回のバス乗車券の配布や抽選等の実施を検討します。

**土木フェア会場**  
～ 乗って残そう公共交通 ～  
**バス無料乗車体験**  
路線バスに乗ったコトがない子どもたち集まれ〜! (親子で参加可です)

**バス展示**  
車内を見て触れてOK!  
運転席で撮影OK!

**乗車体験**  
路線バスに乗って! 体感できる!  
中学生以下 (保護者同伴)

◆来場者プレゼントあり! (数量限定)  
◆バスのペーパークラフトもあるよ!

＜乗車体験コース＞  
1 便 10:00発→魚沼市役所経由  
2 便 11:00発→南越後観光バス小出営業所  
経由 (洗車機くぐり体験)  
3 便 13:00発→魚沼市役所経由

・小出郷文化会館(土木フェア会場)発前で、小出市街地周辺を30分程度運行  
・各回乗車体験の30分前から乗車券を配付 (各回先着30人限定)  
・発車前に「路線バス子ども乗り方教室」を開催します!

企画協力: 南越後観光バス株式会社

主催: 魚沼市  
お問い合わせ: 市民福祉部 生活環境課 環境対策係  
025-792-9766

魚沼市エコマーク

図 バス無料乗車体験チラシ



図 無料体験乗車の様子  
出典: 南越後観光バス(株)

### 施策 3-2 交通事業者のドライバー確保に向けた補助制度の導入

○新規採用者の就業支度金を補助対象とする、ドライバー確保に対する補助金を導入しており、今後は移住施策等との連携を図り、実際に交通事業者のドライバー確保につながるように制度活用の促進を行います。

### 施策 3-3 大型バスの運転体験機会を通じたドライバー希望者の創出

○普段運転する機会が無い大型バスの運転体験を通して、バスドライバーの志望者を増やすため、バスの運転体験を市職員駐車場等で実施することを検討します。



図 越後交通(株)主催バス運転体験会（後援：長岡市）

出典：長岡市

## ■施策のスケジュールと実施主体

目標	施策番号	施策タイトル	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	実施主体
目標① 持続可能な地域 公共交通運営 体制の構築	1-1	市北部地域の路線バス及び乗合タクシーの再編	利便増進事業 として検討	利便増進計画を作成した上で、再編を実施				魚沼市 バス事業者 タクシー事業者
	1-2	市内公共交通と地域の輸送資源の連携						魚沼市 温泉施設等
	1-3	地域間幹線系統の再編・維持の検討	沿線自治体やバス事業者と 協議・検討					魚沼市 沿線自治体 バス事業者
	1-4	乗合タクシーの運賃改善						魚沼市 タクシー事業者
目標② 利便性の向上 と利用促進に よる公共交通 の維持	2-1	郊外部からの魚沼基幹病院アクセス改善の検討						魚沼市 バス事業者 タクシー事業者
	2-2	乗換拠点における待合環境整備	ハード整備、ソフト整備 の両面から検討					魚沼市
	2-3	中高生へのバス利用促進	R8まで継続実施 継続や改善を検討					魚沼市
	2-4	誰もが分かりやすい公共交通マップの作成	継続実施（利用状況を見て適宜改善）					魚沼市
	2-5	乗合タクシーの乗り方説明会の開催	継続実施（利用状況を見て適宜改善）					魚沼市
	2-6	公共交通利用機会の創出	乗合タクシーの施策は継続実施 バス施策を検討					魚沼市 バス事業者 タクシー事業者
	2-7	運転免許返納者への公共交通利用券の交付	継続実施（利用状況を見て適宜改善）					魚沼市
	2-8	高齢者福祉タクシー利用券・障がい者福祉タクシー利用券の交付	継続実施（利用状況を見て適宜改善）					魚沼市
	2-9	尾瀬エリアへのアクセス路線の利用促進						魚沼市 バス事業者
	2-10	キャッシュレス決済等の導入	奥只見ダム線 から実証	利用状況を見て、順次市内の路線に展開				魚沼市 バス事業者
目標③ 地域公共交通 を支える人材 の確保と育成	3-1	子どもへのバス利用意識の醸成	継続実施（実施状況を見て適宜改善）					魚沼市 バス事業者
	3-2	交通事業者のドライバー確保に向けた補助制度の導入	継続実施（利用状況を見て適宜改善）					魚沼市
	3-3	大型バスの運転体験機会を通じたドライバー希望者の創出						魚沼市 バス事業者

## 第6章 計画の達成状況の評価



令和7年度

魚沼市公共交通計画策定のための  
アンケート調査

報告書

令和7年11月

魚沼市

## 1. アンケート調査の実施方法と回収数

○主な公共交通利用者と想定される住民（65歳以上）及び高校生、乗合タクシー・のりーと魚沼の利用者の市内公共交通の満足度や改善要望等を把握するためアンケート調査を実施した。

○アンケート調査の配布対象や、配布方法、回収率等の概要を以下に示す。

項目	住民(65歳以上)アンケート	利用者アンケート (乗合タクシー、のりーと)	高校生アンケート
配布対象	65歳以上の市民	乗合タクシー等の利用者	市内の高校生
配布/ 回収方法	調査票及び Web アンケート用 QR コードを郵送配布 (1200部)	乗合タクシー及び のりーと魚沼ドライバー からの配布	調査票及び Web アンケート用 QR コードを郵送配布 (800部)
調査日	令和7年 8/8(金)~17(日)	令和7年 8/1(金)~17(日)	令和7年 8/8(金)~17(日)
回収数	619部(回収率:51.6%)	60部	294部(回収率:36.8%)

## 2. 配布物

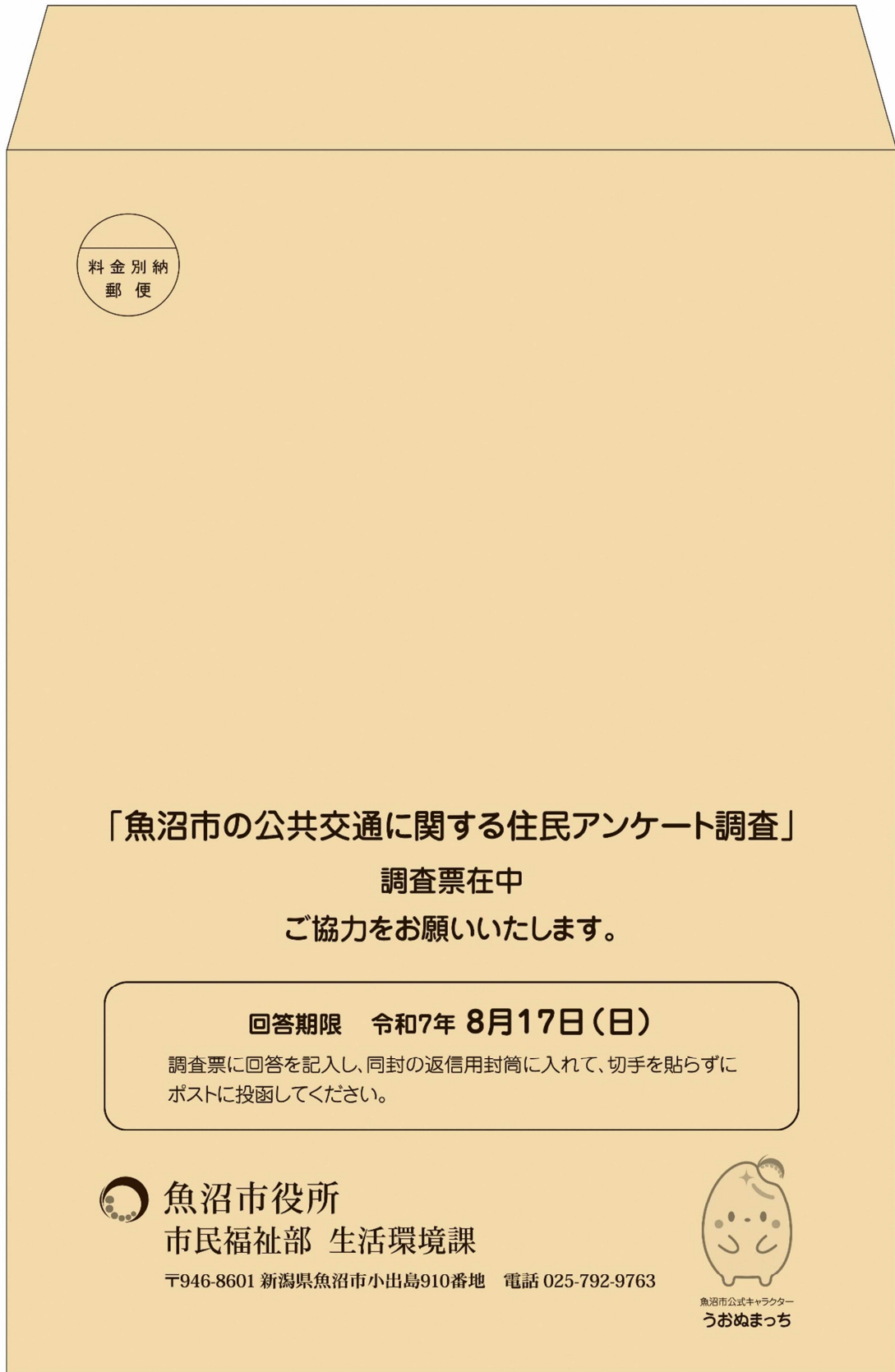
---

○本アンケートでの配布物を次頁より示す。

(1) 配布用封筒

○角2サイズ 3種類（住民、高校生、利用者）

■住民（郵送配布）



■高校生（郵送配布）



「魚沼市の公共交通に関する高校生アンケート調査」

調査票在中

ご協力をお願いいたします。

**回答期限 令和7年 8月17日（日）**

調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに  
ポストに投函してください。



**魚沼市役所**  
市民福祉部 生活環境課

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島910番地 電話 025-792-9763





魚沼市公式キャラクター  
うおぬまっち

■利用者（手渡し配布）

「魚沼市の公共交通に関する利用者アンケート調査」  
調査票在中  
ご協力をお願いいたします。

**回答期限 令和7年 8月17日（日）**  
調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに  
ポストに投函してください。

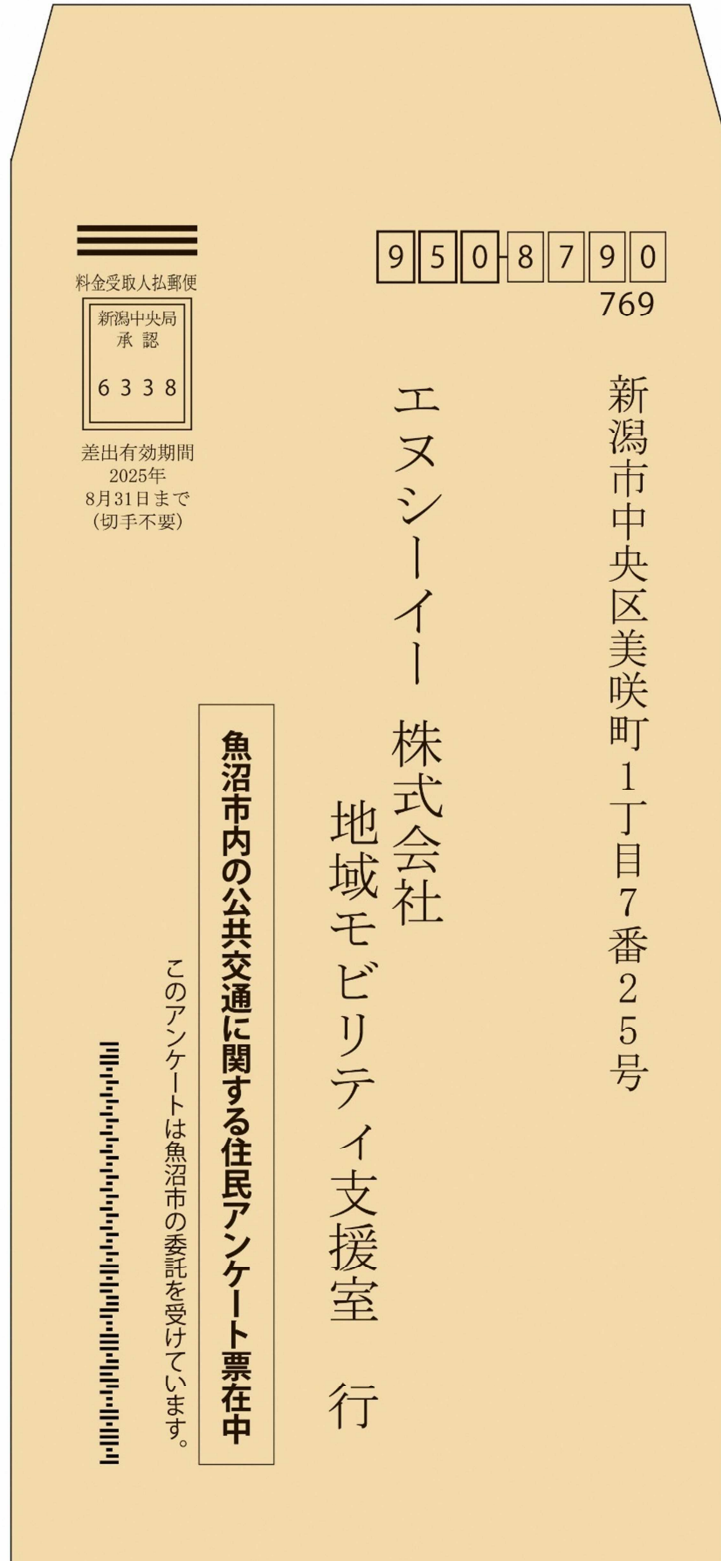
 **魚沼市役所**  
市民福祉部 生活環境課  
〒946-8601 新潟県魚沼市小出島910番地 電話 025-792-9763

  
魚沼市公式キャラクター  
うおぬまっち

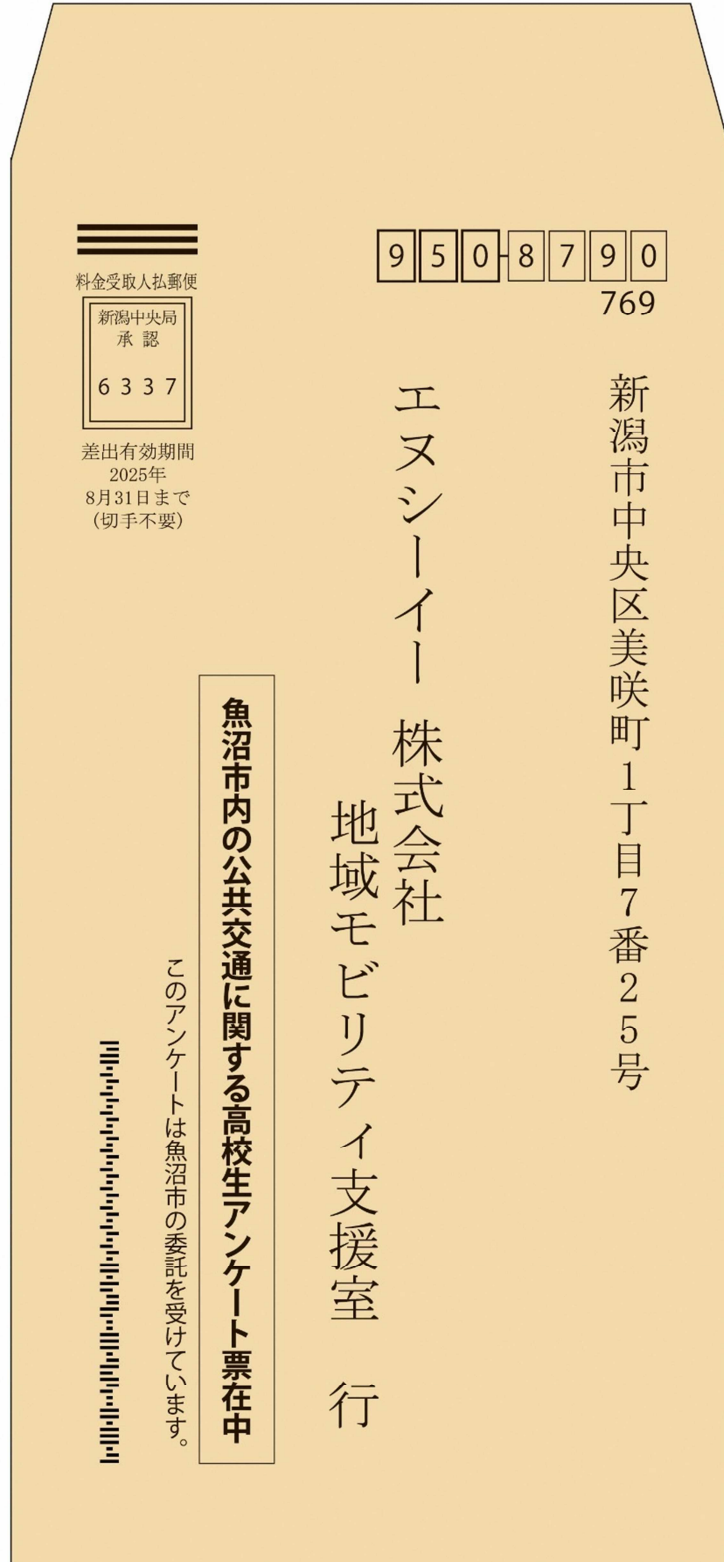
(2) 返信用封筒

○長3サイズ 3種類 (住民、高校生、利用者)

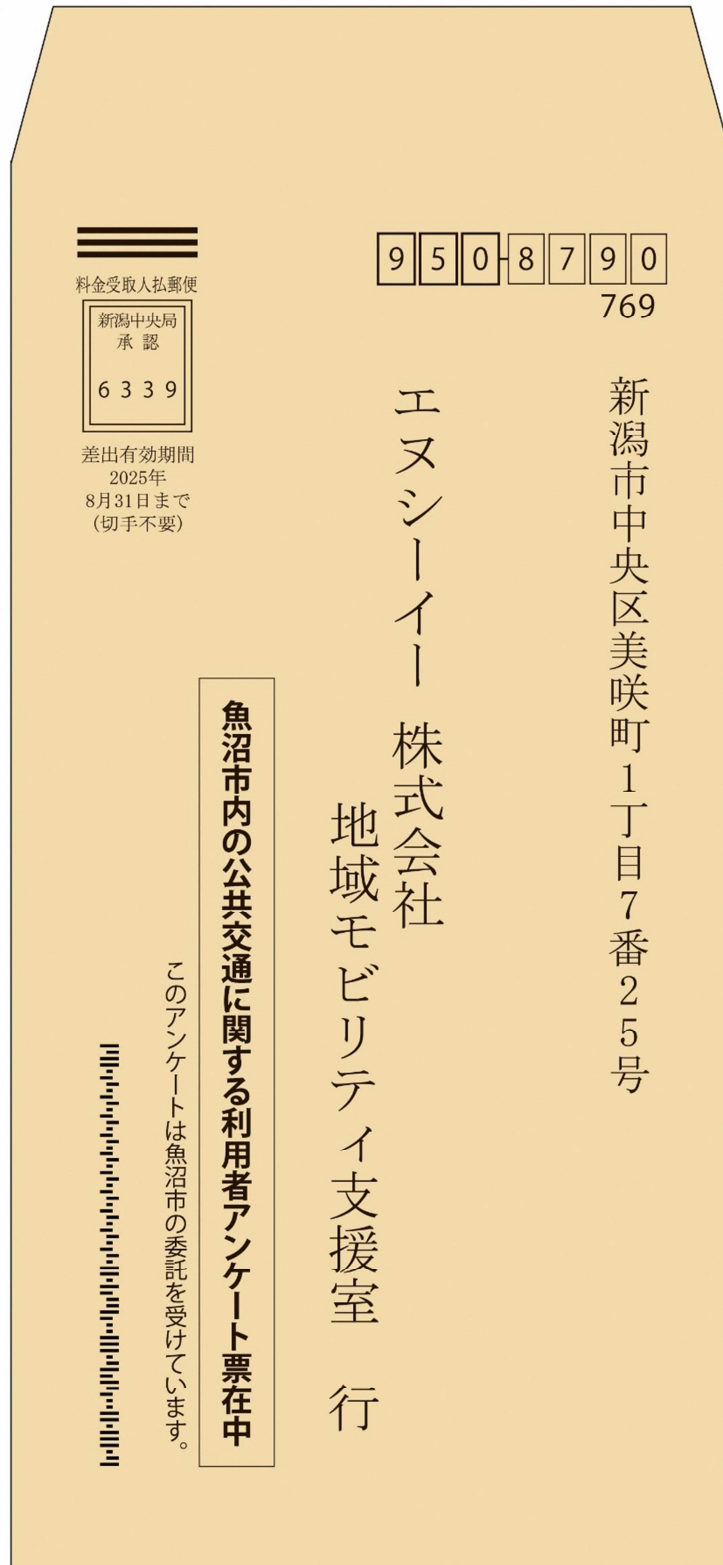
■住民



■高校生



■利用者



### (3) 依頼文

○A4 片面

#### ■住民

## 魚沼市の公共交通に関する「住民」アンケート

日ごろより、市の行政運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、魚沼市内の移動に関する実態調査及び、今後の公共交通改善に向けた検討を目的として、市民の皆さまの移動に対する満足度や改善へのご意見を把握するために行うものです。ご多忙中お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年8月 魚沼市地域公共交通協議会

#### ■お願い（アンケートへのご協力について）

- ① アンケートは**8/17（日）**までにご回答（紙の調査票は投函）いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- ② アンケートは「WEB アンケート」または、同封の「紙の調査票」でご回答ください。  
※ 可能な限り **WEB アンケート** でのご回答 にご協力ください

#### ■回答方法について

##### （1）WEB アンケートで回答する場合

- 右のQRコードから8/17（日）までにご回答ください。  
※ 最後に必ず「送信」ボタンを押してください。

WEB アンケート用



<https://questant.jp/q/9DBWW455>

##### （2）紙の調査票で回答をする場合

- 解答欄に **具体的な内容を記入** するか、当てはまる **記号に○** をつけてください。

郵便番号	〒946-0043
年齢	① 10代    ② 20代    ③ 30代…

- 「ご回答いただいた紙の調査票」は **8/17（日）** までに同封の返信用封筒を **使い返送（※）** をお願いいたします。 ※返送期限です。必着ではありません。

#### 【お問い合わせ】

魚沼市地域公共交通協議会事務局 担当：櫻井 電話：025-792-9766  
(魚沼市役所 市民福祉部 生活環境課 交通対策係内)

## 魚沼市の公共交通に関する「高校生」アンケート

日ごろより、市の行政運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、魚沼市内の移動に関する実態調査及び、今後の公共交通改善に向けた検討を目的として、市民の皆さまの移動に対する満足度や改善へのご意見を把握するために行うものです。ご多忙中お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年8月 魚沼市地域公共交通協議会

### ■お願い（アンケートへのご協力について）

- ① アンケートは**8/17（日）**までにご回答（紙の調査票は投函）いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- ② アンケートは「WEB アンケート」または、同封の「紙の調査票」でご回答ください。  
※ 可能な限り **WEB アンケート** でのご回答 にご協力ください

### ■回答方法について

#### （1）WEB アンケートで回答する場合

- 右のQRコードから8/17（日）までにご回答ください。  
※ 最後に必ず「送信」ボタンを押してください。

WEBアンケート用



<https://questant.jp/q/ORQQOM1B>

#### （2）紙の調査票で回答をする場合

- 解答欄に **具体的な内容を記入** するか、当てはまる **記号に○** をつけてください。

郵便番号	〒9416-0043
年齢	① 10代   ② 20代   ③ 30代…

- 「ご回答いただいた紙の調査票」は **8/17（日）** までに同封の返信用封筒を **使い返送（※）** をお願いいたします。 ※返送期限です。必着ではありません。

### 【お問い合わせ】

魚沼市地域公共交通協議会事務局 担当：櫻井 電話：025-792-9766  
(魚沼市役所 市民福祉部 生活環境課 交通対策係内)

■利用者

## 魚沼市の公共交通に関する「利用者」アンケート

日ごろより、市の行政運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、魚沼市内の移動に関する実態調査及び、今後の公共交通改善に向けた検討を目的として、市民の皆さまの移動に対する満足度や改善へのご意見を把握するために行うものです。ご多忙中お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年8月 魚沼市地域公共交通協議会

.....

### ■お願い（アンケートへのご協力について）

- ① アンケートは**8/17（日）**までにご回答（紙の調査票は投函）いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- ② アンケートは「WEB アンケート」または、同封の「紙の調査票」でご回答ください。  
※ 可能な限り **WEB アンケート** でのご回答 にご協力ください

### ■回答方法について

#### （1）WEB アンケートで回答する場合

- ・右のQRコードから8/17（日）までにご回答ください。  
※ 最後に必ず「送信」ボタンを押してください。

WEB アンケート用



<https://questant.jp/q/UL3017BC>

#### （2）紙の調査票で回答をする場合

- ・解答欄に **具体的な内容を記入** するか、当てはまる **記号に○** をつけてください。

郵便番号	〒946-0043
年齢	① 10代    ② 20代    ③ 30代...

- ・「ご回答いただいた紙の調査票」は **8/17（日）**までに同封の返信用封筒を**使い返送（※）**をお願いいたします。 ※返送期限です。必着ではありません。

### 【お問い合わせ】

魚沼市地域公共交通協議会事務局 担当：櫻井 電話：025-792-9766  
(魚沼市役所 市民福祉部 生活環境課 交通対策係内)

(4) 調査票 (3種共通)

○A3 両面

■外面 (A3)

問 6. **各地域乗合タクシーおよびのりーと魚沼**に対して改善が必要だと思う項目を教えてください(4 つまで"○")。選択肢のかつこ内の項目は可能な範囲で記入してください。

1. 乗合タクシーの運行時刻を変更してほしい(路線名: \_\_\_\_\_ を \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ 頃にする)
2. 乗合タクシーの運行ルートを変更してほしい(路線名: \_\_\_\_\_ どこに: \_\_\_\_\_)
3. のりーと魚沼の運行エリアを拡大してほしい( \_\_\_\_\_ 地域(旧市町村名)に拡大する)
4. のりーと魚沼の降車可能場所を増やしてほしい(どこに: \_\_\_\_\_)
5. 運行時間帯を長くしてほしい  
(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○"を \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ にする)
6. 鉄道との接続を良くしてほしい(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○")
7. 路線バスとの接続を良くしてほしい(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○")
8. 乗車時間を短縮してほしい(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○")
9. 乗務員の対応を改善する(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○"をどのように: \_\_\_\_\_)
10. 乗降がしやすい車両に変更してほしい(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○")
11. コールセンターの対応を改善してほしい(乗合タクシー/のりーと魚沼※どちらかに"○"をどのように: ( \_\_\_\_\_ ))
12. 運転免許返納者に対するサービスの拡充
13. 時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする
14. キャッシュレス決済や「Suica」などのICカード等を利用できるようにする
15. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 7. あなたご自身について、お聞きします。(各々1つに○)

郵便番号	〒94□—□□□□			
年齢	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60~64歳	3. 30代 7. 65~74歳	4. 40代 8. 75歳以上
自動車免許の保有	1. 持っている 2. 免許返納済み 3. 持っていない			
自動車の保有	1. 持っている 2. 持っていない			
自宅から最寄りのバス停留所(又は駅)までの移動時間	1. 徒歩5分未満 2. 徒歩5分以上10分未満 3. 徒歩10分以上 4. わからない			

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に回答票を入れて返送してください。

## 住民アンケート調査票

問 1. あなたの外出状況についてお聞きします。

あなたが外出する場合の状況について、以下の目的別に最近1年間で最も多かった目的地1箇所について、移動手段、外出頻度、時間をお答えください。(月に1日以上の上外出をお答えください)

目的	目的地 (1つ)	移動手段 (いくつでも)	頻度 (1つ)	自宅の出發・帰宅時間
通勤/通学	1. 魚沼市内 (学校名・職場: _____)	1. 徒歩・自転車 2. タクシー 3. 地域乗合タクシー 4. バス 5. 家族の送迎 6. 鉄道 7. 自家用車・バイク 8. のりーと魚沼 9. 入広瀬コミバス 10. その他( )	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 程度 3. 週に1日程度 4. 月に1日程度	出發時間 ( _____ : _____ ) 頃  帰宅時間 ( _____ : _____ ) 頃  ※24時間表記で記入
	2. 魚沼市外 (学校名・職場: _____)			
	3. 月に1日以上の上外出は無い			
通院	1. 魚沼市内 (病院名: _____)	1. 徒歩・自転車 2. タクシー 3. 地域乗合タクシー 4. バス 5. 家族の送迎 6. 鉄道 7. 自家用車・バイク 8. のりーと魚沼 9. 入広瀬コミバス 10. その他( )	1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日 程度 3. 週に1日程度 4. 月に1日程度	出發時間 ( _____ : _____ ) 頃  帰宅時間 ( _____ : _____ ) 頃  ※24時間表記で記入
	2. 魚沼市外 (病院名: _____)			
	3. 月に1日以上の上外出は無い			

中面にも質問がございます

目的	目的地 (1つ)	移動手段 (いくつでも)	頻度 (1つ)	自宅の出発・帰宅時間
日常的な買い物	1. 魚沼市内 (施設名※～店まで: _____)	1. 徒歩・自転車 2. タクシー 3. 地域乗合タクシー	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日程度	出発時間 (____:____) 頃 帰宅時間 (____:____) 頃
	2. 魚沼市外 (施設名※～店まで: _____)	4. バス 5. 家族の送迎 6. 鉄道 7. 自家用車・バイク	3. 週に1日程度 4. 月に1日程度	※24時間表記で記入
	3. 該当なし	8. のろーと魚沼 9. 入広瀬コミバス 10. その他( )		
その他 ※1	1. 魚沼市内 (施設名等: _____)	1. 徒歩・自転車 2. タクシー 3. 地域乗合タクシー	1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日程度	
	2. 魚沼市外 (施設名等: _____)	4. バス 5. 家族の送迎 6. 鉄道 7. 自家用車・バイク	3. 週に1日程度 4. 月に1日程度	※24時間表記で記入
	3. 該当なし	8. のろーと魚沼 9. 入広瀬コミバス 10. その他( )		

※1「その他」は、通勤/通学、通院、日常的な買い物以外に定期的に外出している場合があれば、ご記入ください。

問2. 「問1」のいずれかで、「5. 家族の送迎」を選んだ方にお聞きします。送迎による移動をする理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 車通勤の家族の通勤・退勤のついでに送迎が可能だから
2. 自宅から最寄りバス停(または駅)まで遠い
3. 乗り継ぎに時間がかかる
4. 路線バス等の経路が長い(時間がかかる)
5. バスや電車の時間が利用したい時間に合わない
6. 交通費/通学費を削減
7. 自分自身で公共交通を利用しての移動が難しい
8. その他 ( )

問3. あなたは以下に示す公共交通が運行されていることを知っていますか。

のろーと魚沼	1. 知っている	2. 知らなかった
堀之内地域乗合タクシー (新道島、上稲倉・魚野地)	1. 知っている	2. 知らなかった
湯之谷地域乗合タクシー	1. 知っている	2. 知らなかった
広神地域乗合タクシー (滝之又、水沢・越又・泉沢、田中・清本・長松・米沢、三ツ又)	1. 知っている	2. 知らなかった
広神地域内定期便	1. 知っている	2. 知らなかった
守門地域乗合タクシー(高倉、福山新田、赤土・小出、守門地域内)	1. 知っている	2. 知らなかった
入広瀬コミュニティバス	1. 知っている	2. 知らなかった

問4. 市内の公共交通に対する満足度と将来の移動に対する安心感を教えてください。

満足度	1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満
将来の移動に対する安心感	1. 安心 2. やや安心 3. どちらでもない 4. やや不安 5. 不安

問5. 路線バス(入広瀬コミバスも含む)について改善が必要だと思う項目を教えてください。(4つまで"○")選択肢の()内の項目は可能な範囲で記入してください。

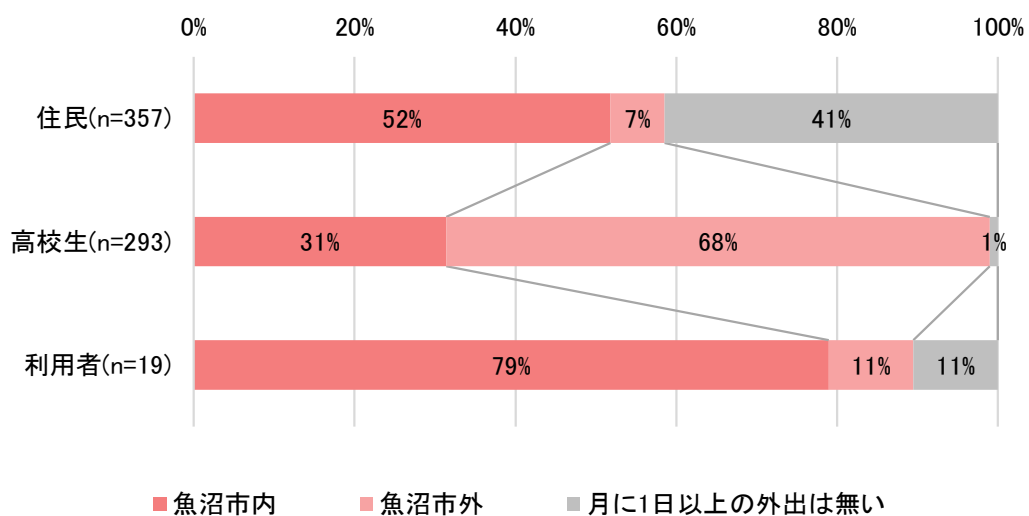
1. 通勤通学時間帯の運行時刻を変更する(路線名: \_\_\_\_\_を\_\_\_\_:\_\_\_\_頃にする)
2. 夕方・夜(帰宅時)の運行時刻を変更する(路線名: \_\_\_\_\_を\_\_\_\_:\_\_\_\_頃にする)
3. 路線バスの便数を増やす(路線名: \_\_\_\_\_の\_\_\_\_:\_\_\_\_頃を増便する)
4. 鉄道との乗継ぎを改善する(鉄道: \_\_\_\_\_線と路線名: \_\_\_\_\_との乗継ぎを改善)
5. バス停を自宅の近くに設ける
6. 路線バスの経路を変更する(立ち寄ってほしい場所: \_\_\_\_\_)
7. 学校まで直通で行ける(または学校から直通で帰れる)ようにする
8. キャッシュレス決済や「Suica」などのICカード等を利用できるようにする
9. 屋根や風よけ、ベンチを設置するなど停留所の待合環境をよくする(停留所名: \_\_\_\_\_)
10. 時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする
11. バスの位置情報や遅延など運行状況の発信を充実する
12. 乗務員の対応や案内(アナウンスなど)を改善する
13. スーパーや病院の建物近くまで乗り入れるようにする(施設名: \_\_\_\_\_)
14. 乗降がしやすい車両に変更してほしい
15. 運転免許返納者に対するサービスの拡充
16. その他 ( )

## 2.2 アンケート調査結果

### (1) 問 1-1 通勤/通学の外出状況に関する質問

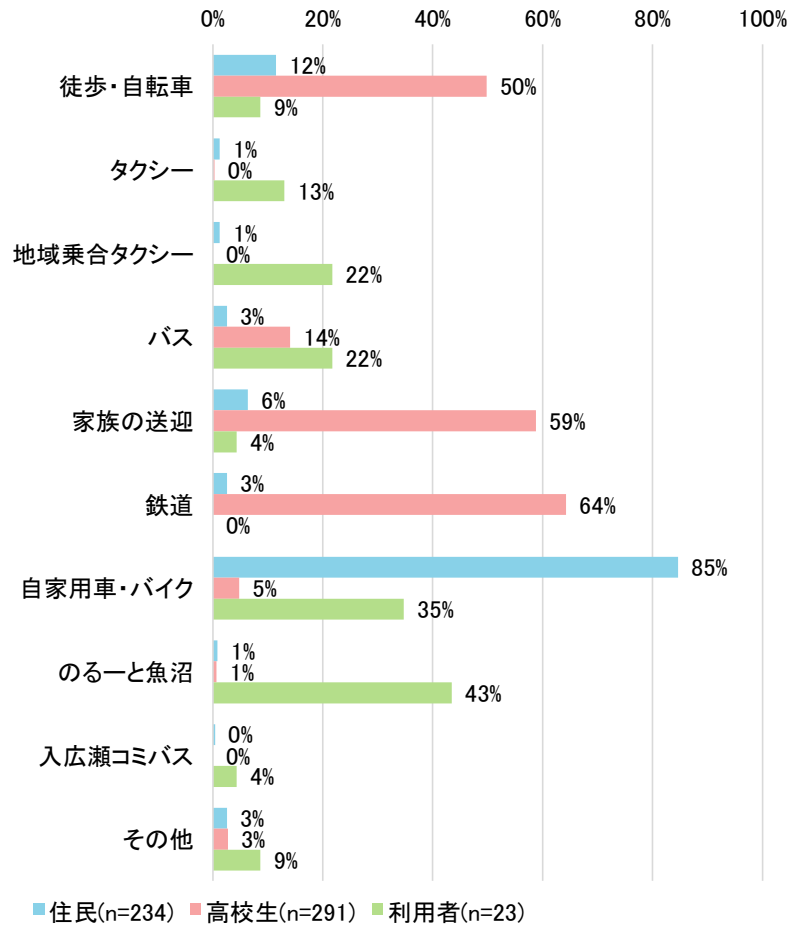
#### ■目的地について

- 住民においては、「魚沼市内」が52%とほぼ半数を占めている。
- 高校生においては、「魚沼市外」が68%と最も多く、住民および利用者と比較して市外への外出が多いことがわかる
- 利用者においては、「魚沼市内」の回答が79%と最も多かった。



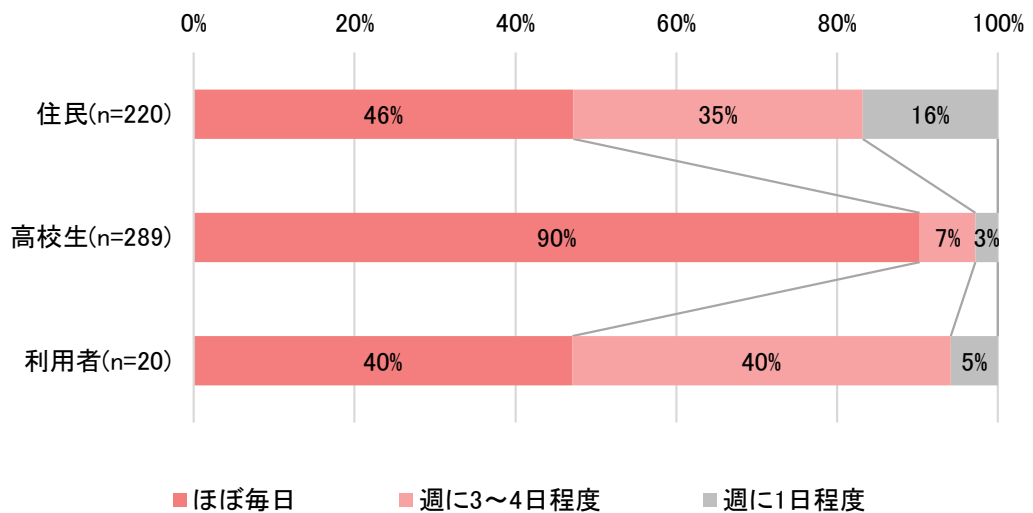
## ■ 移動手段について

- 住民においては「自家用車・バイク」が85%と最も回答が多かった。
- 高校生「鉄道」が64%と最も回答が多く、次いで「家族の送迎」が59%、「徒歩・自転車」が50%であった。
- 利用者においては「のりーと魚沼」が43%と最も回答が多く、次いで「自家用車・バイク」が35%であった。



## ■外出頻度について

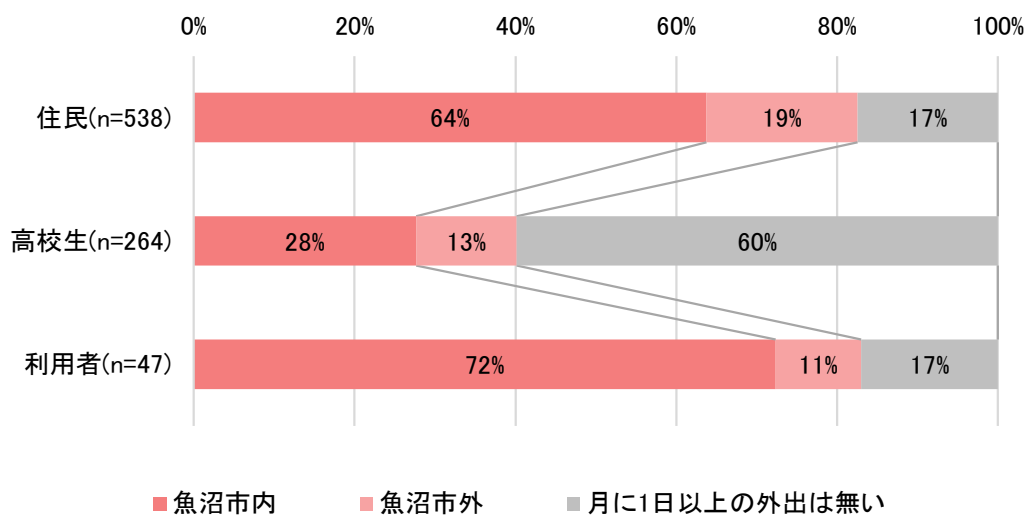
- 住民と利用者においては、回答がほぼ同様の傾向であった。
- 高校生は「ほぼ毎日」が90%と住民および利用者と比較して外出頻度が多いことがわかる。



## 問 1-2 通院の外出状況に関する質問

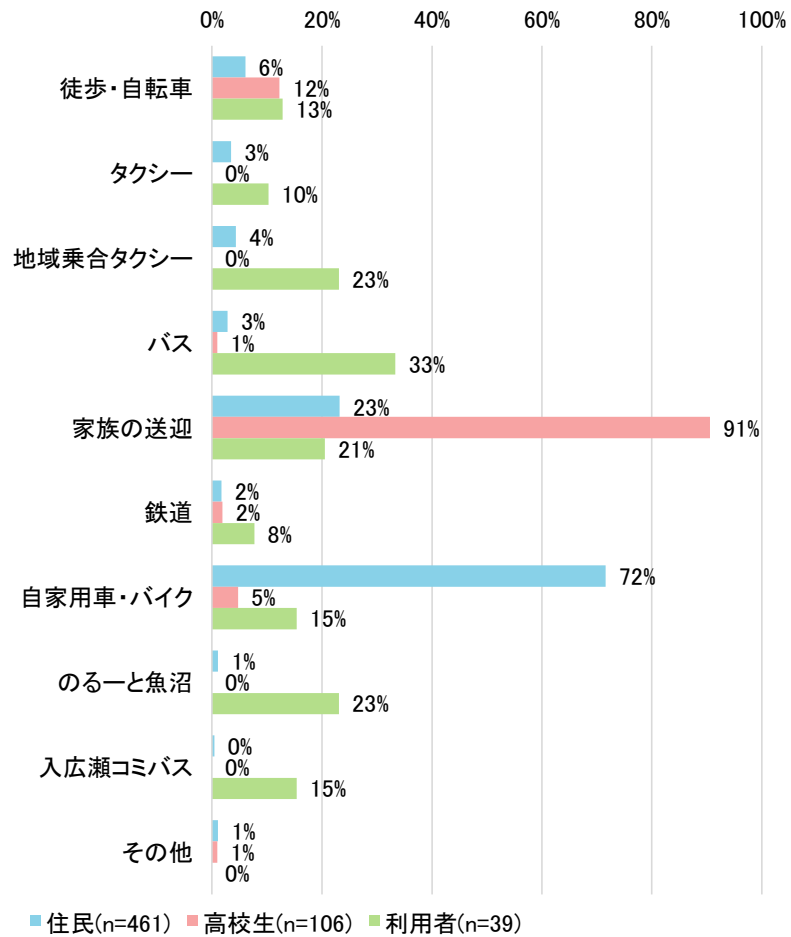
### ■目的地について

- 住民と利用者の回答傾向が似ており、ともに「魚沼市内」が最も多く「魚沼市内」の病院を利用していることがわかる。
- 高校生においては「月に1日以上外出は無い」が60%を占めており住民、利用者よりも通院頻度が少ない事がわかる。



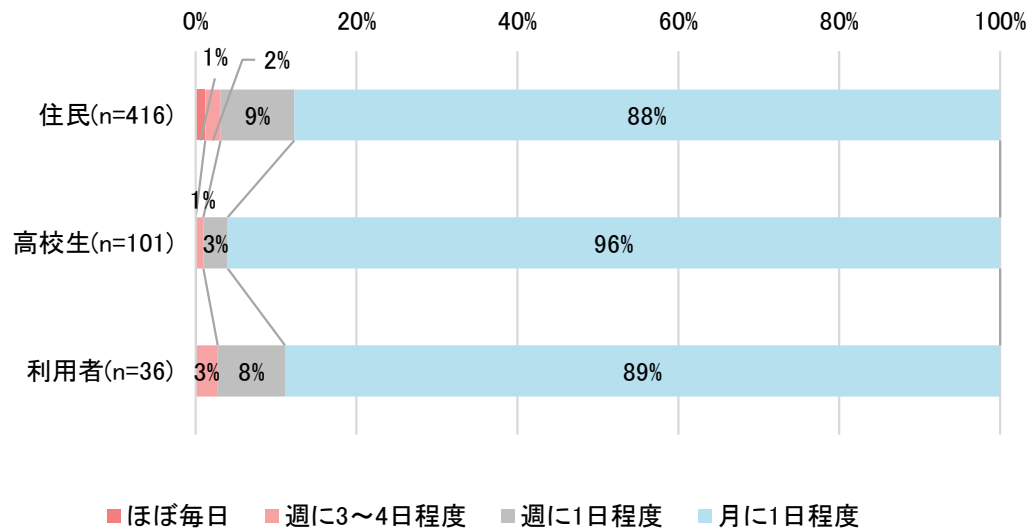
## ■ 移動手段について

- 住民においては「自家用車・バイク」が72%と最も回答が多かった。
- 高校生においては「家族の送迎」が91%と最も回答が多かった。
- 利用者においては突出した回答はみられず、「バス」が33%と最も回答が多かった。



## ■外出頻度について

○住民、高校生、利用者で一貫して「月に1日程度」が約9割の回答を占めており、病院への通院頻度は少ないことがわかる

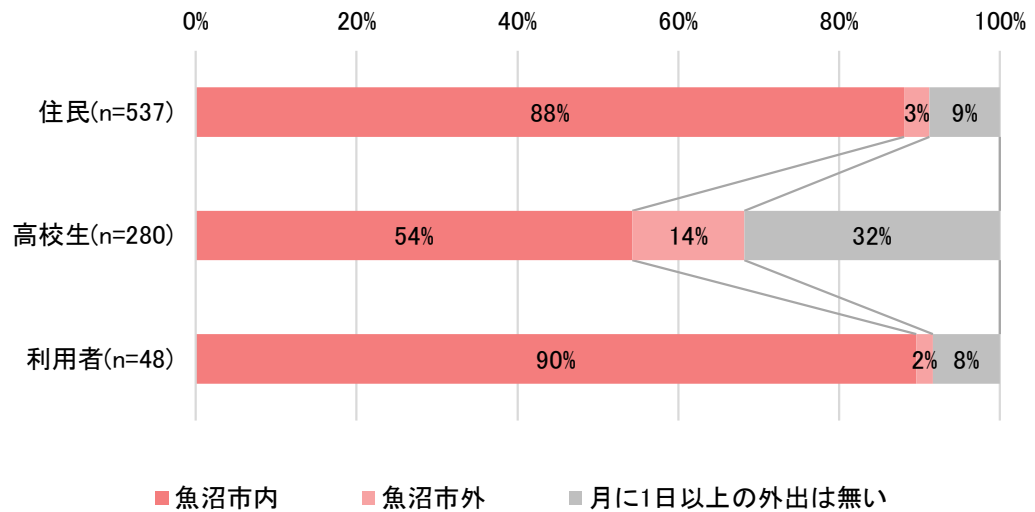


(2) 問 1-3 日常的な買い物の外出状況に関する質問

■目的地について

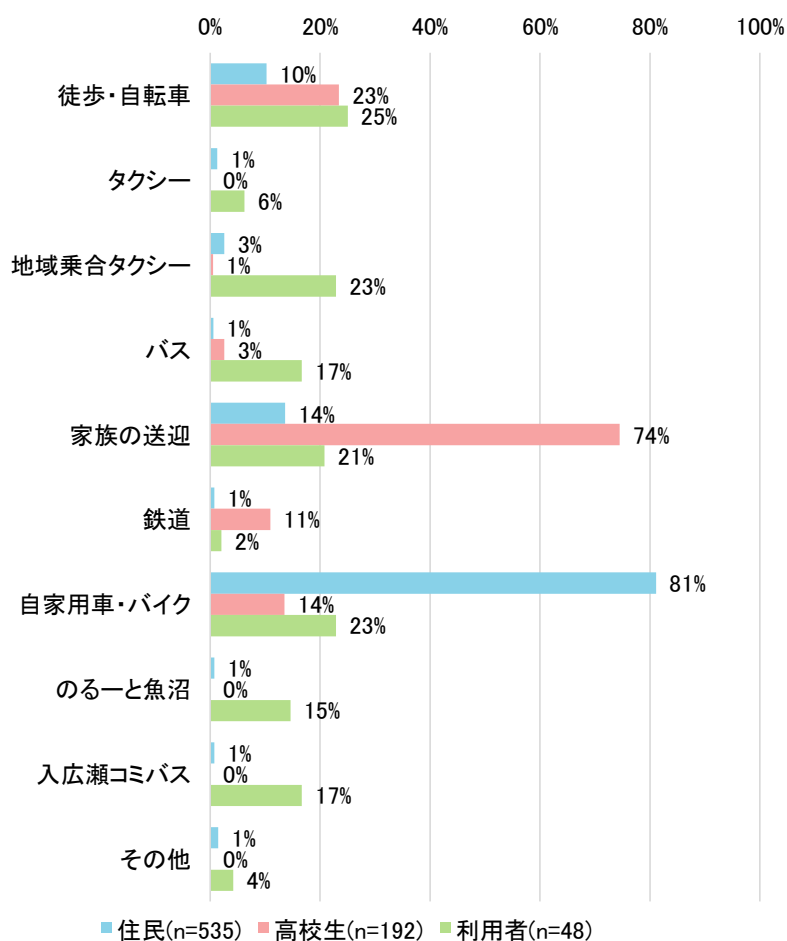
○住民と利用者の回答傾向が似ており、ともに「魚沼市内」が最も多く買い物では魚沼市内に買い物をしていることが分かる。

○高校生においても「魚沼市内」が54%と最も多かった。



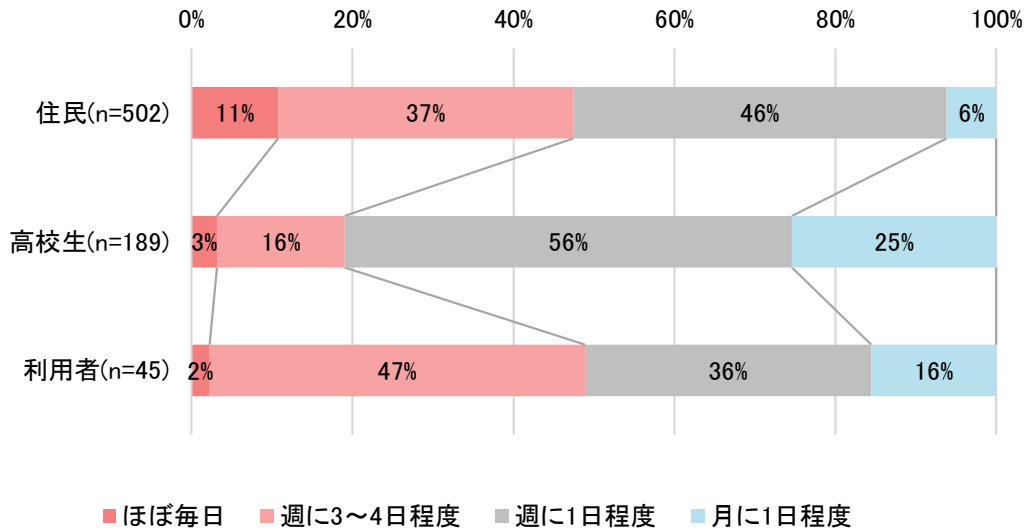
## ■ 移動手段について

- 住民においては「自家用車・バイク」が81%と最も回答が多かった。
- 高校生においては「家族の送迎」が74%と最も回答が多かった。
- 利用者においては突出した回答はみられず、「徒歩・自転車」が25%と最も回答が多かった。



## ■外出頻度について

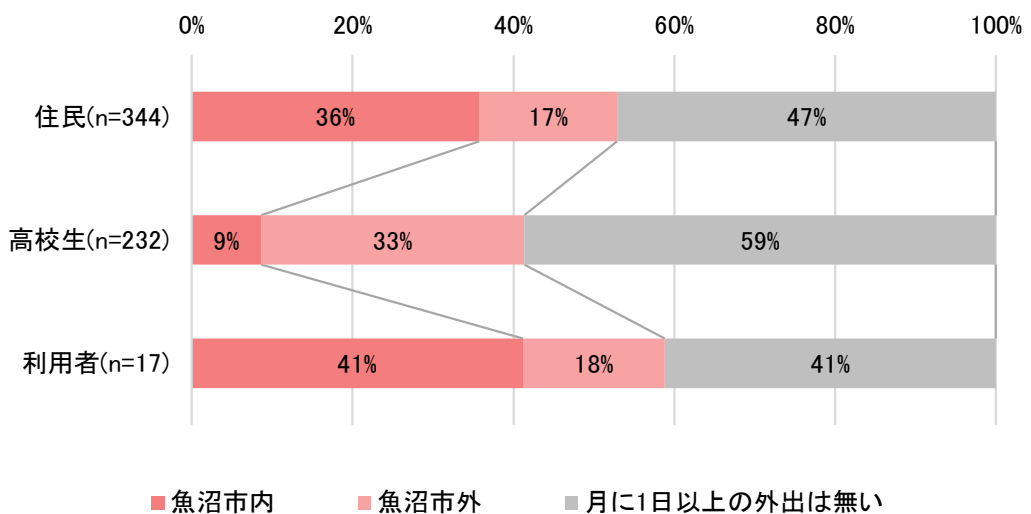
- 住民、利用者はほぼ同様の回答傾向であった。  
 ○高校生は「週に1日程度」が56%と最も多く、「週に3~4日程度」は16%と住民、利用者と比較して回答が少なかった。



## (3) 問1-4 その他の外出状況に関する質問

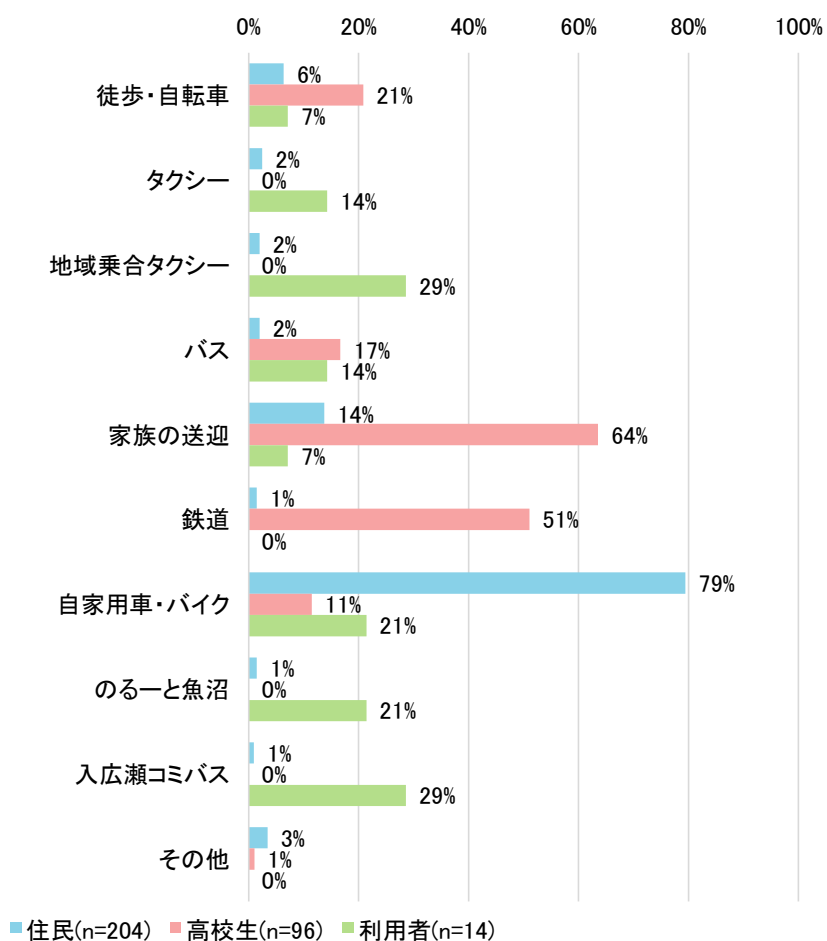
### ■目的地について

- 住民、利用者はほぼ同様の回答傾向であった。  
 ○高校生は他の外出状況は住民、利用者とは異なり「魚沼市外」が33%と最も多く、異なる回答傾向であった。



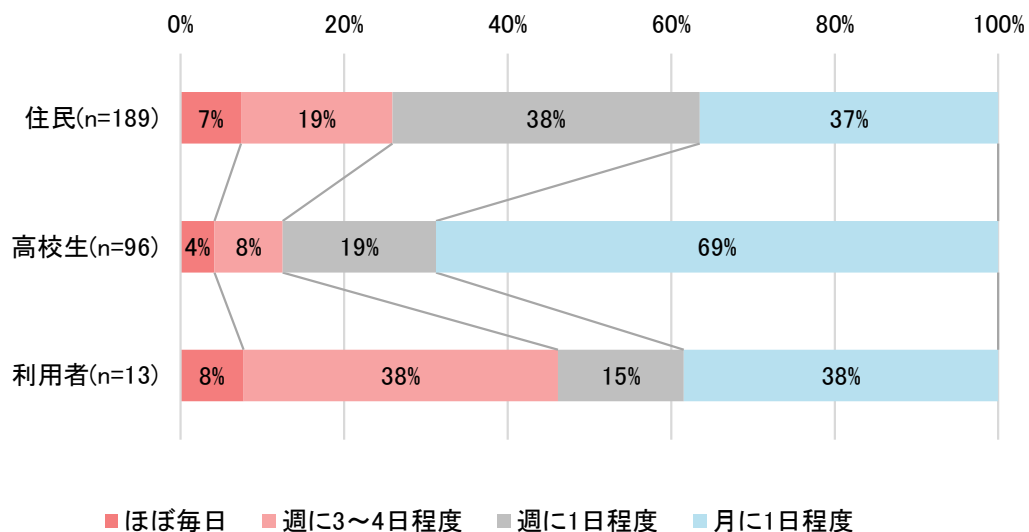
## ■ 移動手段について

- 住民においては「自家用車・バイク」が79%と最も回答が多かった。
- 高校生においては「家族の送迎」が64%と最も回答が多かった。
- 利用者においては突出した回答はみられず、「地域乗合タクシー」「入広瀬  
コミバス」が29%と最も回答が多かった。



## ■外出頻度について

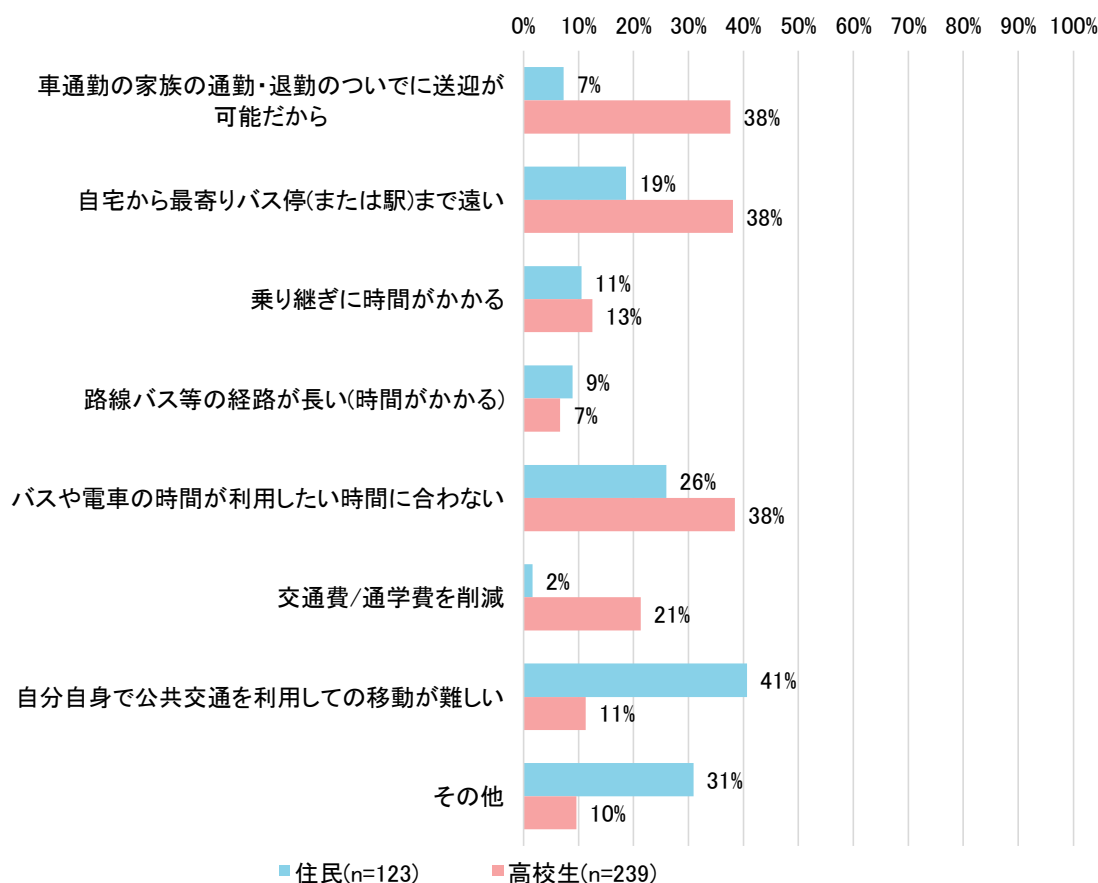
- 住民においては「週に1日程度」が38%、「月に1日程度」が37%とほぼ同様の回答傾向であった。
- 高校生においては「月に1日程度」が69%と住民、利用者と比較して回答が多かった。
- 利用者においては「週に3~4日程度」が38%と住民、高校生と比較して回答が多かった。



#### (4) 問2 送迎による移動をする理由

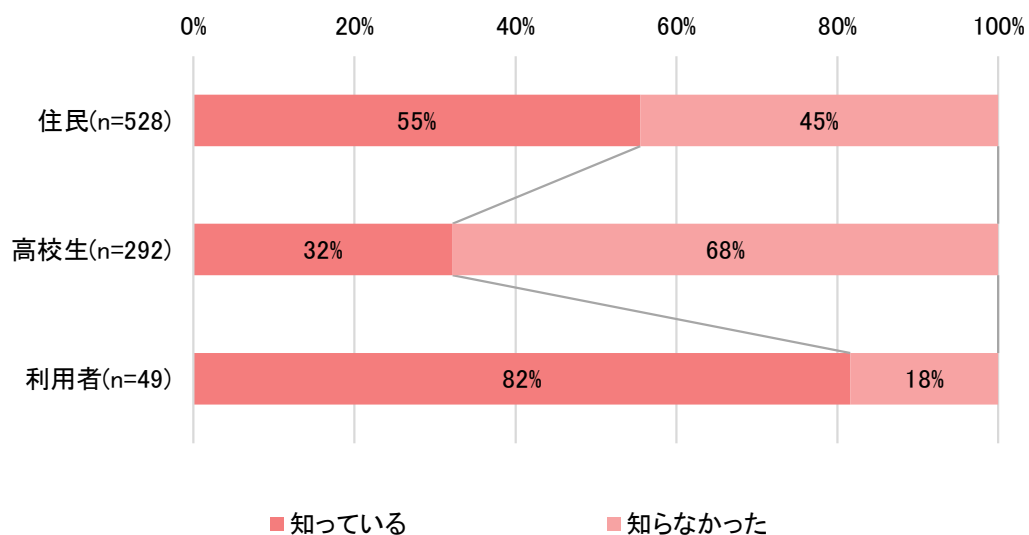
※問1の「移動手段」において、「5. 家族の送迎」を選んだ方のみ

- 住民においては「自分自身で公共交通を利用しての移動が難しい」が41%と最も回答が多かった。
- 高校生においては「車通勤の家族の通勤・退勤のついでに送迎が可能だから」が%、「自宅から最寄りバス停(または駅)まで遠い」が88%、「バスや電車の時間が利用したい時間に合わない」が88%と回答が多かった。



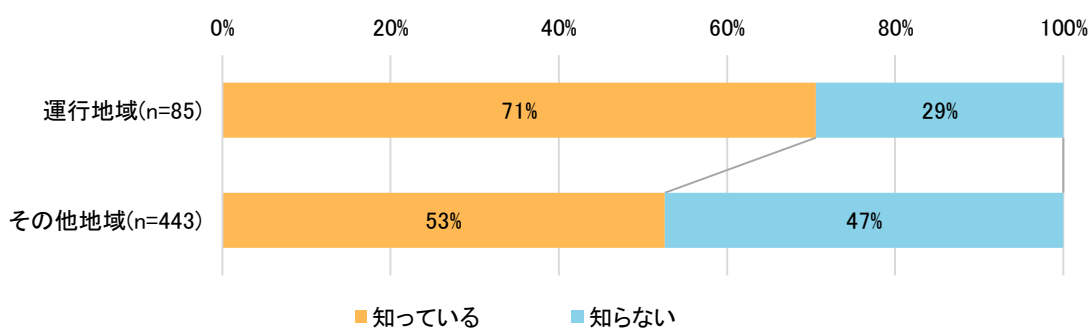
### (5) 問 3-1 のるーと魚沼を知っているか

- 住民においては「知っている」が55%と「知らない」をわずかに上回った。
- 高校生においては「知っている」が32%と住民、利用者と比較してのるーと魚沼を知らない方が多いことがわかる。
- 利用者においては「知っている」が82%と回答が多かった。



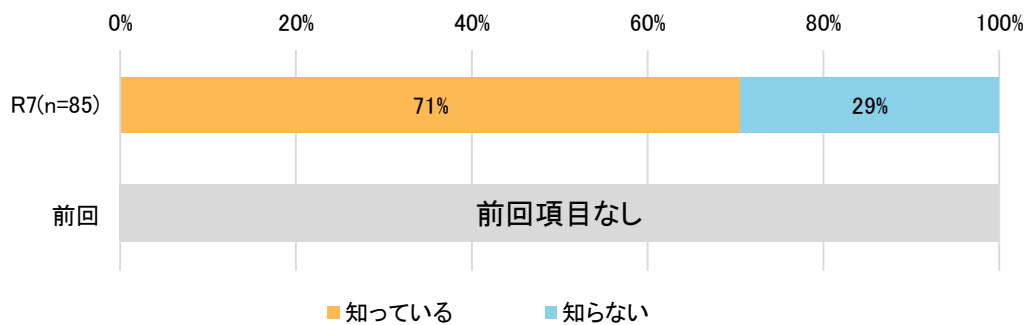
### ■ のるーと魚沼の運行地域内・外の認知度比較

- 運行地域（小出地域）では「知っている」が71%、「知らない」が29%の結果となり、認知度は高い傾向であった。
- 運行地域外では「知っている」の回答が53%となり、「知らない」の47%をわずかに上回った。



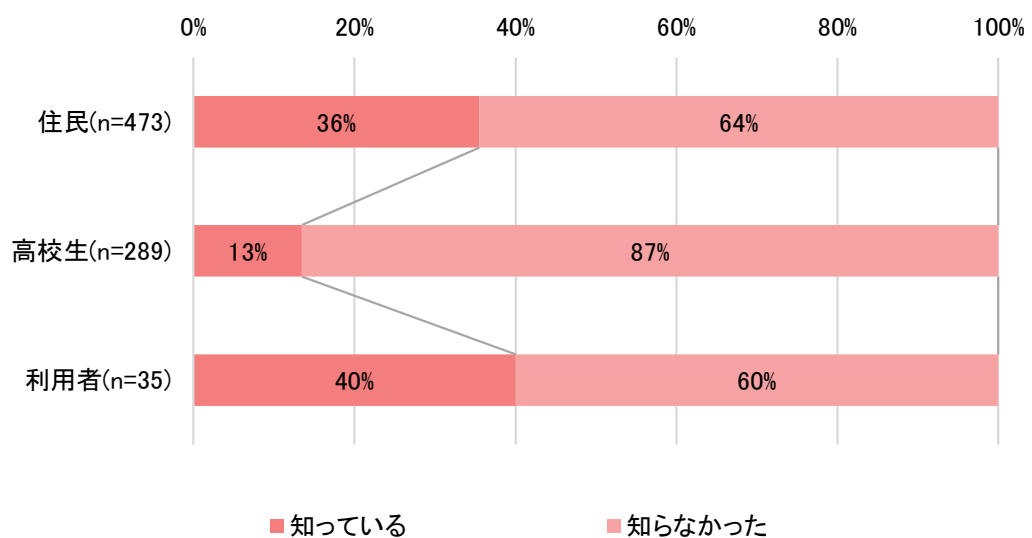
■のるーと魚沼運行地域内の前回調査との認知度比較

○前回調査時にはのるーと魚沼の項目が無かったため、比較は行わない。



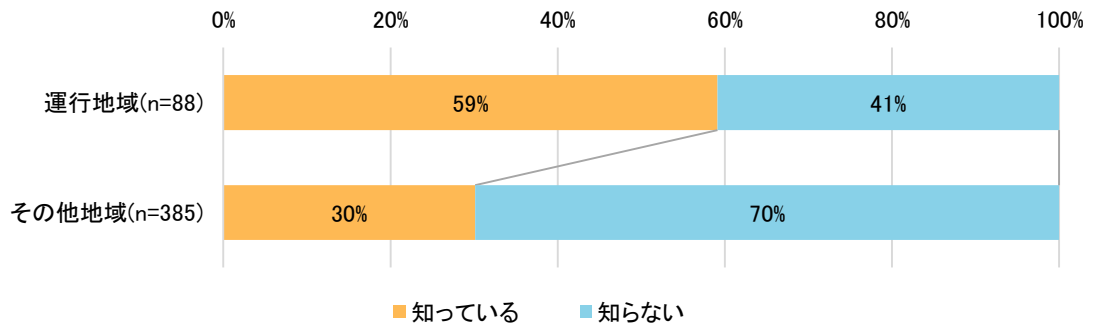
(6) 問 3-2 堀之内地域乗合タクシーを知っているか

○住民、利用者はほぼ同様の回答傾向で「知らなかった」の回答が多かった。  
○高校生においては「知らなかった」が87%と住民、利用者と比較して堀之内地域乗合タクシーを知らない方が多いことがわかる。



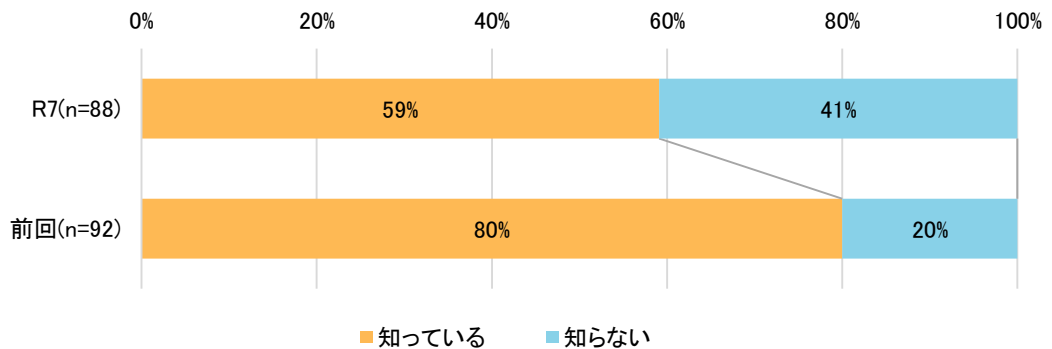
### ■ 堀之内地域乗合タクシーの運行地域内・外の認知度比較

- 運行地域（堀之内地域）では「知っている」が59%、「知らない」が41%と、認知度がやや高い傾向であった。
- 運行地域外では「知っている」の回答が30%に留まり、運行地域外での認知度は低い傾向にあった。



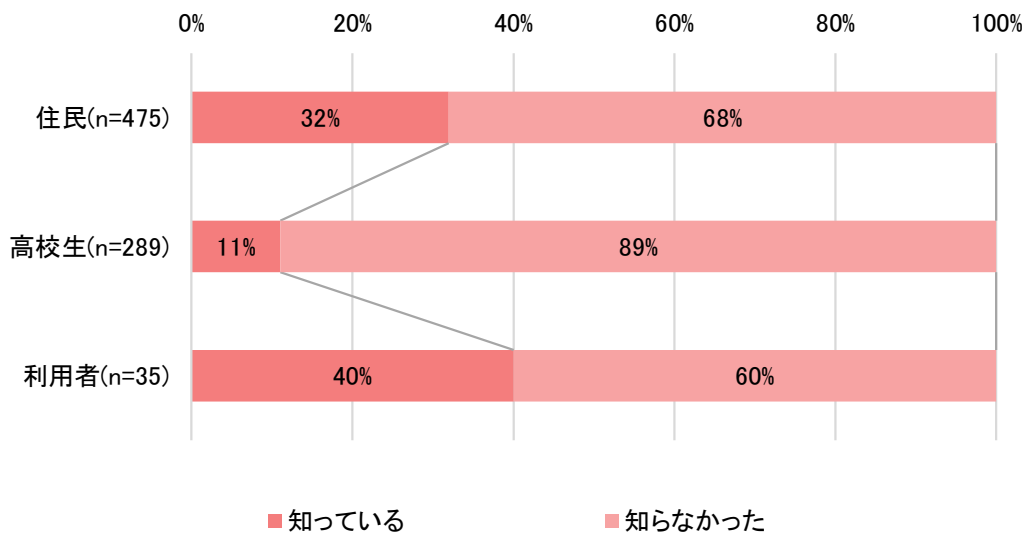
### ■ 堀之内地域乗合タクシーの前回調査との認知度比較

- 前回調査との比較では、「知っている」が前は80%であるのに対し、今回調査では59%と、認知度の低下が見られた。



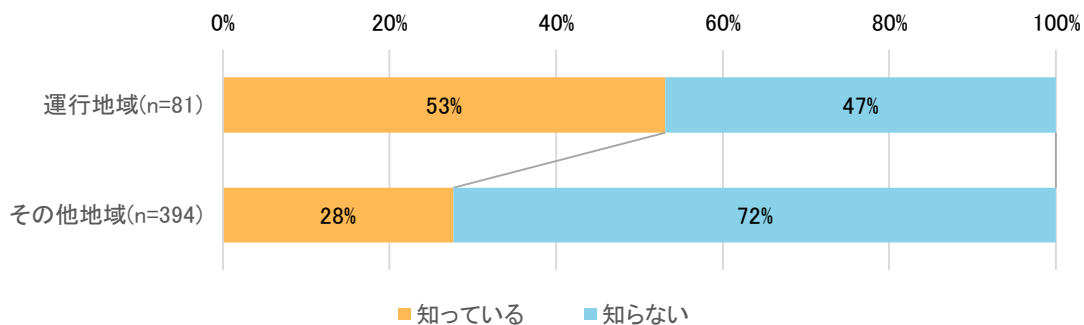
(7) 問 3-3 湯之谷地域乗合タクシーを知っているか

○住民、利用者はほぼ同様の回答傾向で「知らなかった」の回答が多かった。  
 ○高校生においては「知らなかった」が89%と住民、利用者と比較して回答が多い傾向であった。



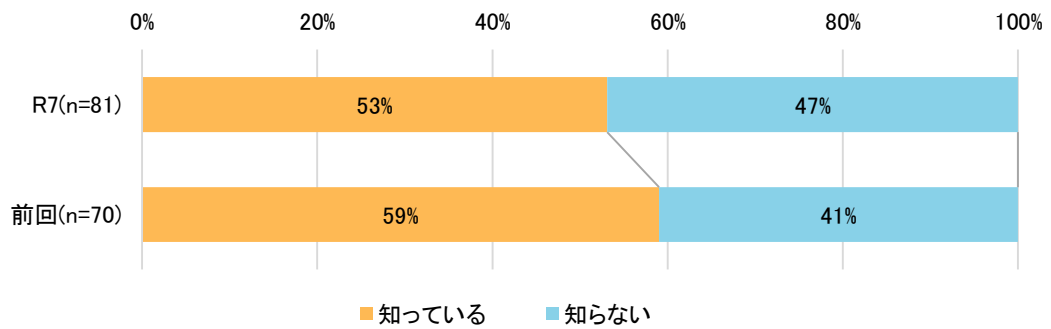
■湯ノ谷地域乗合タクシーの運行地域内・外の認知度比較

○運行地域（湯之谷地域）では「知っている」が53%となり、「知らない」の47%をわずかに上回った。  
 ○運行地域外では「知っている」の回答が28%に留まり、運行地域外での認知度は低い傾向であった。



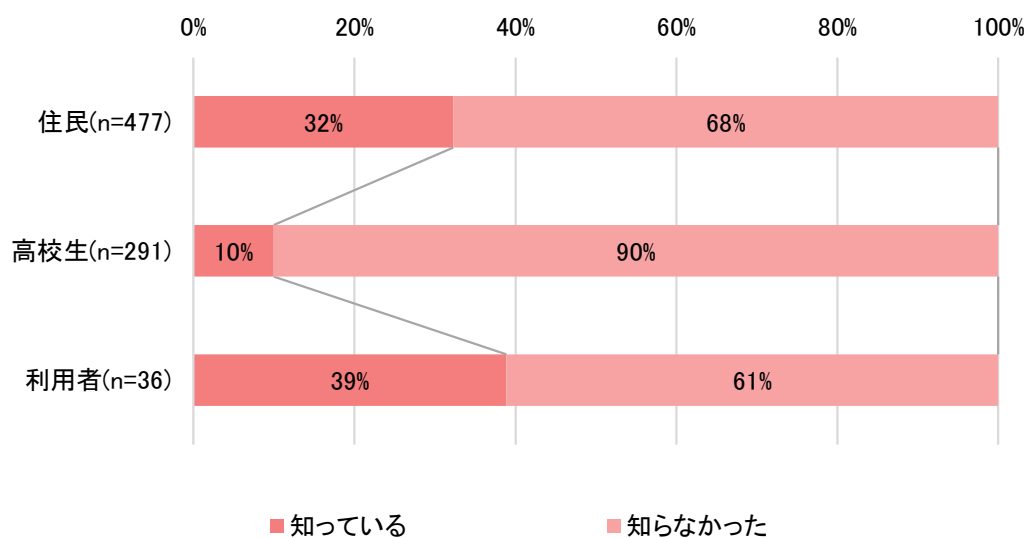
■湯ノ谷地域乗合タクシーの前回調査との認知度比較

○前回調査との比較では、「知っている」が前は59%であるのに対し、今回調査では53%と、若干の認知度の低下が見られた。



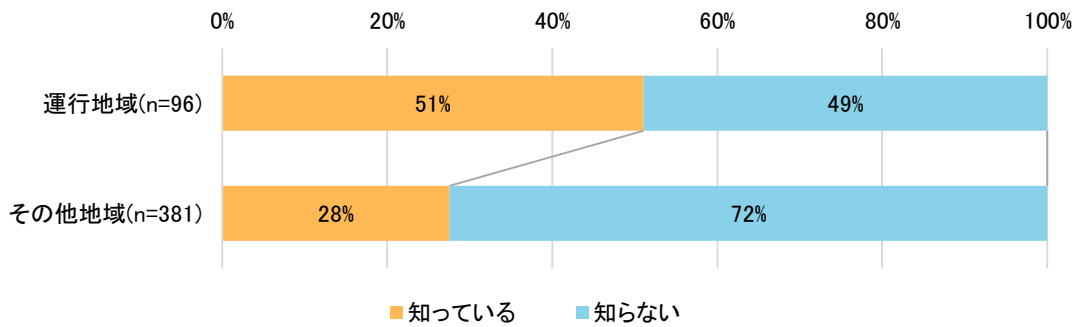
(8) 問 3-4 広神地域乗合タクシーを知っているか

○住民、利用者はほぼ同様の回答傾向で「知らなかった」の回答が多かった。  
○高校生においては「知らなかった」が90%と住民、利用者と比較して回答が多い傾向であった。



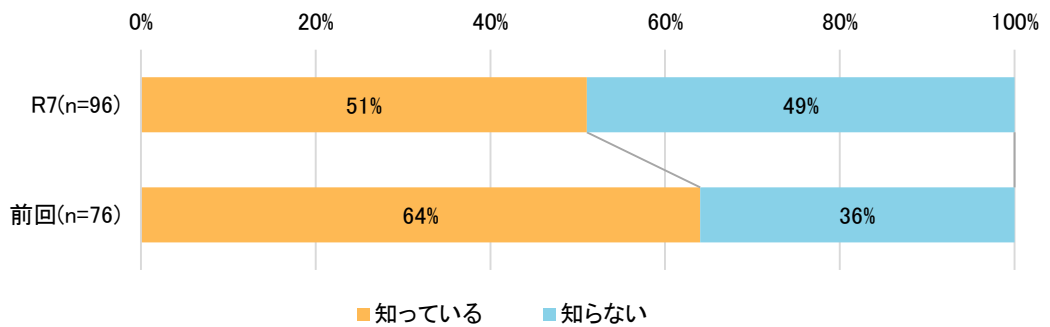
### ■ 広神地域乗合タクシーの運行地域内・外の認知度比較

- 運行地域（広神地域）では「知っている」が51%となり、「知らない」の49%をわずかに上回った。
- 運行地域外では「知っている」の回答が28%と、運行地域外での認知度はやや低い傾向であった。



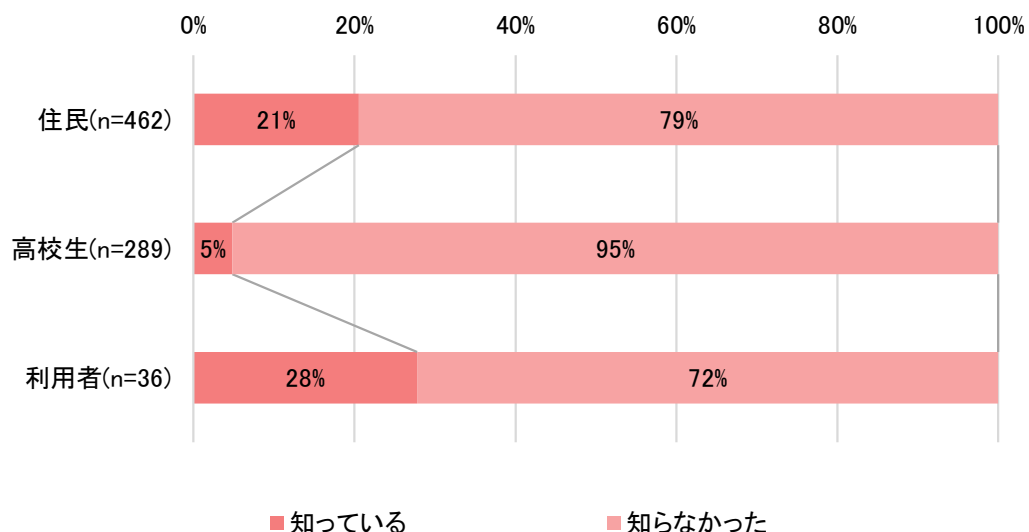
### ■ 広神地域乗合タクシーの前回調査との認知度比較

- 前回調査との比較では、「知っている」が前回は64%であるのに対し、今回調査では51%と、認知度の低下が見られた。



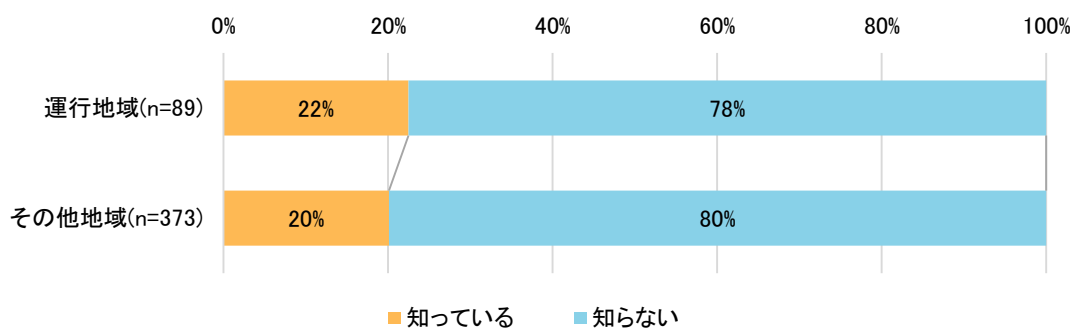
(9) 問 3-5 広神地域内定期便を知っているか

○住民、利用者はほぼ同様の回答傾向で「知らなかった」の回答が多かった。  
 ○高校生においては「知らなかった」が95%と住民、利用者と比較して回答が多い傾向であった。



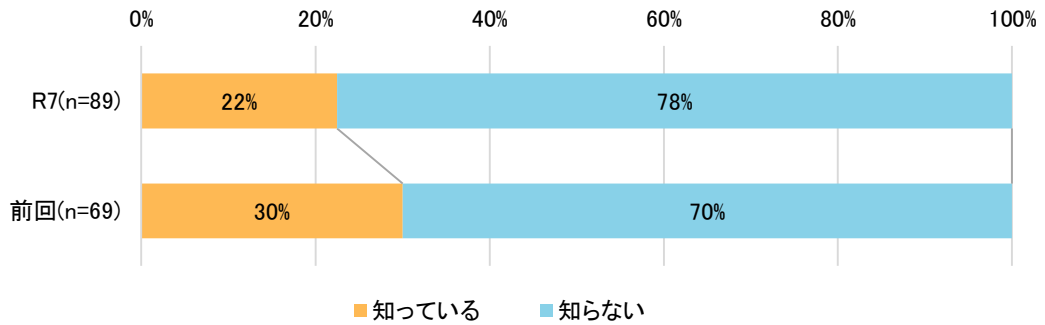
■ 広神地域内定期便の運行地域内・外の認知度比較

○運行地域（広神地域）では「知っている」が22%、「知らない」が78%と、認知度が低い傾向であった。  
 ○運行地域外では「知っている」の回答が20%と、運行地域外での認知度も低い傾向であった。



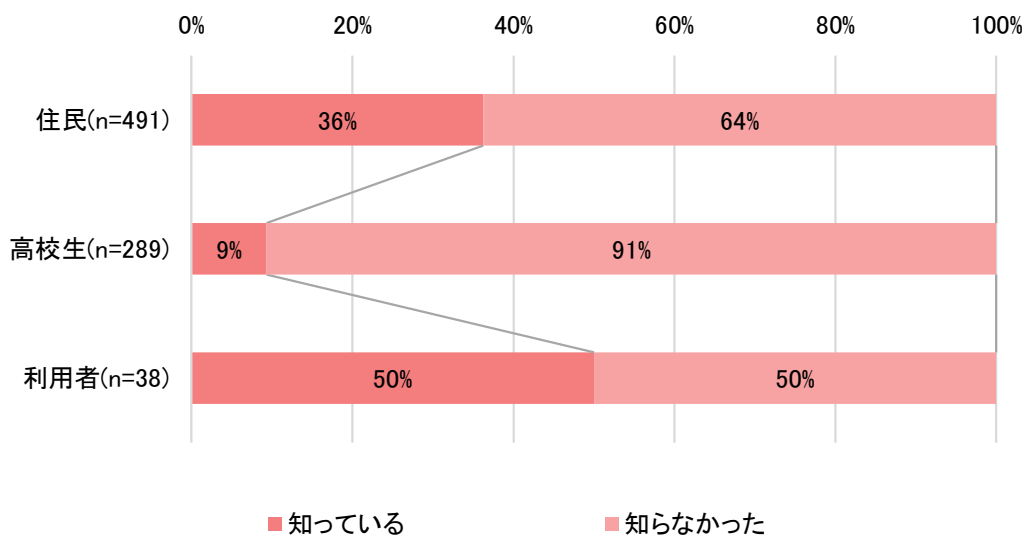
■ 広神地域内定期便の前回調査との認知度比較

○ 前回調査との比較では、「知っている」が前は30%であるのに対し、今回調査では22%と、若干の認知度の低下が見られた。



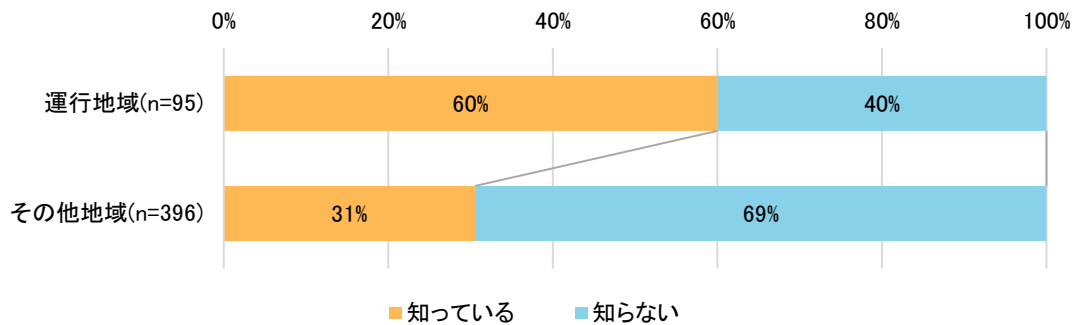
(10) 問 3-6 守門地域乗合タクシーを知っているか

○ 住民においては「知らなかった」が64%と回答が多かった  
 ○ 高校生においては「知らなかった」が91%と住民、利用者と比較して回答が多い傾向であった。  
 ○ 利用者においては「知っている」「知らない」がともに50%と回答が半数に割れている。



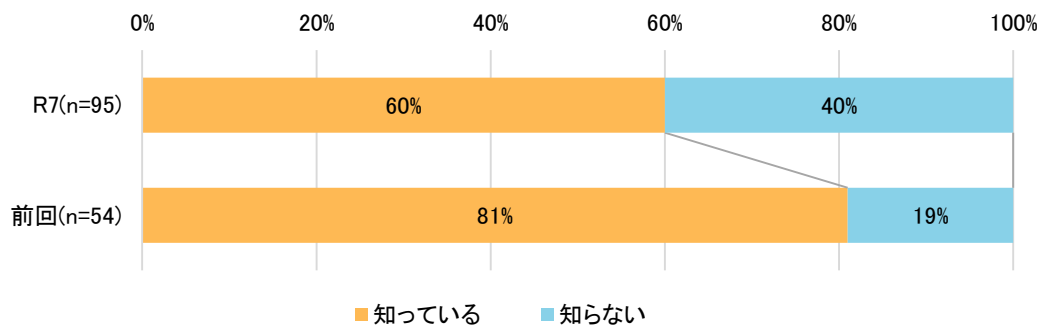
### ■守門地域乗合タクシーの運行地域内・外の認知度比較

- 運行地域（広神地域）では「知っている」が60%、「知らない」が40%と、認知度が高い傾向であった。
- 運行地域外では「知っている」の回答が31%と、運行地域外での認知度は低い傾向であった。



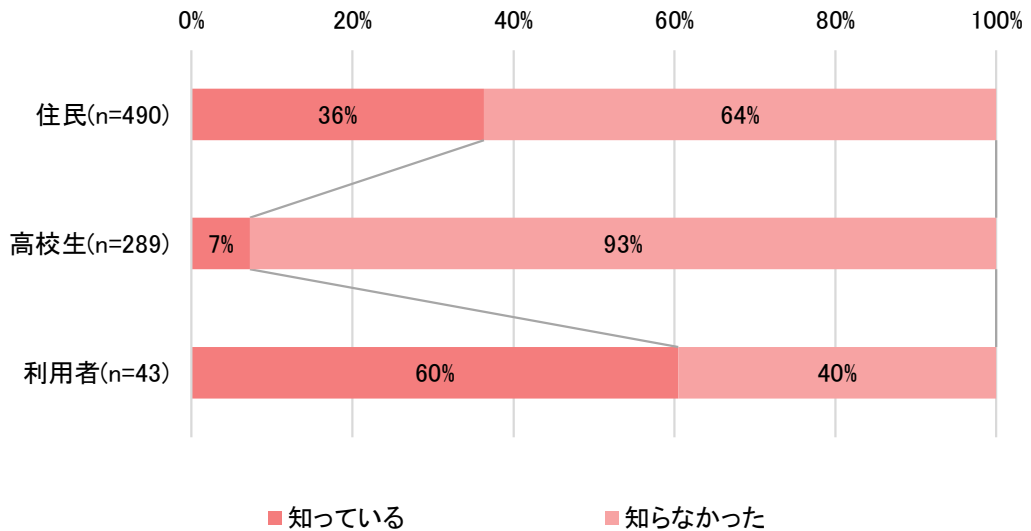
### ■守門地域乗合タクシーの前回調査との認知度比較

- 前回調査との比較では、「知っている」が前は81%であるのに対し、今回調査では60%と、認知度の低下が見られた。



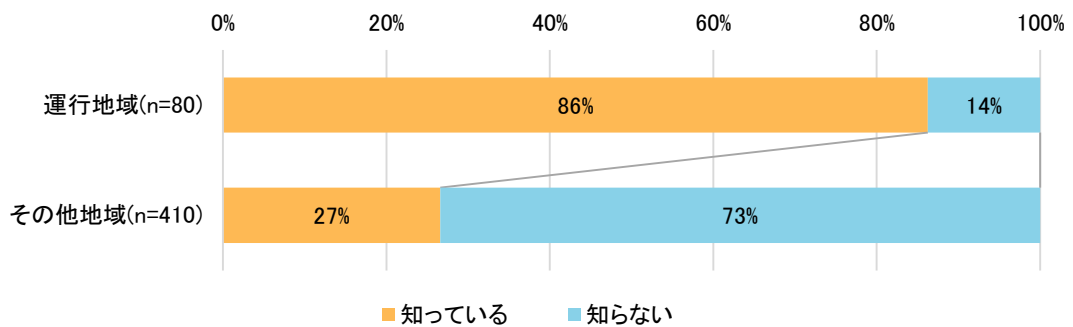
(11) 問 3-7 入広瀬コミュニティバスを知っているか

○高校生においては「知らなかった」が91%と住民、利用者と比較して回答が多い傾向であった。  
 ○利用者においては「知っている」「知らない」がともに50%と回答が半数に割れている。



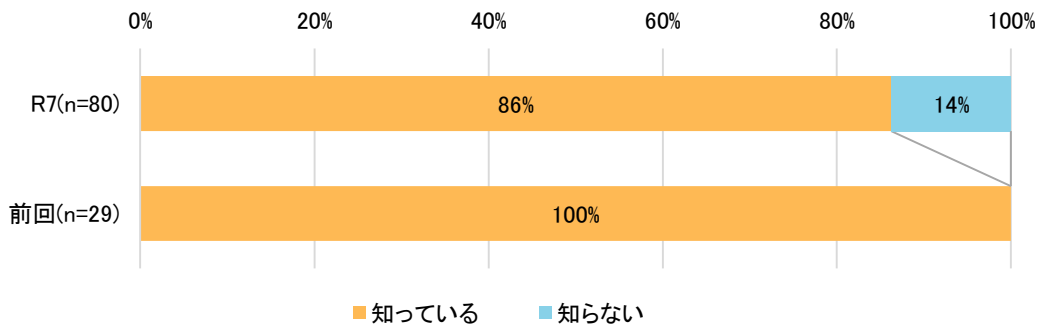
■入広瀬コミュニティバスの運行地域内・外の認知度比較

○運行地域（入広瀬地域）では「知っている」が86%、「知らない」が14%と、認知度が高い傾向であった。  
 ○運行地域外では「知っている」の回答が27%と、運行地域外での認知度は低い傾向であった。



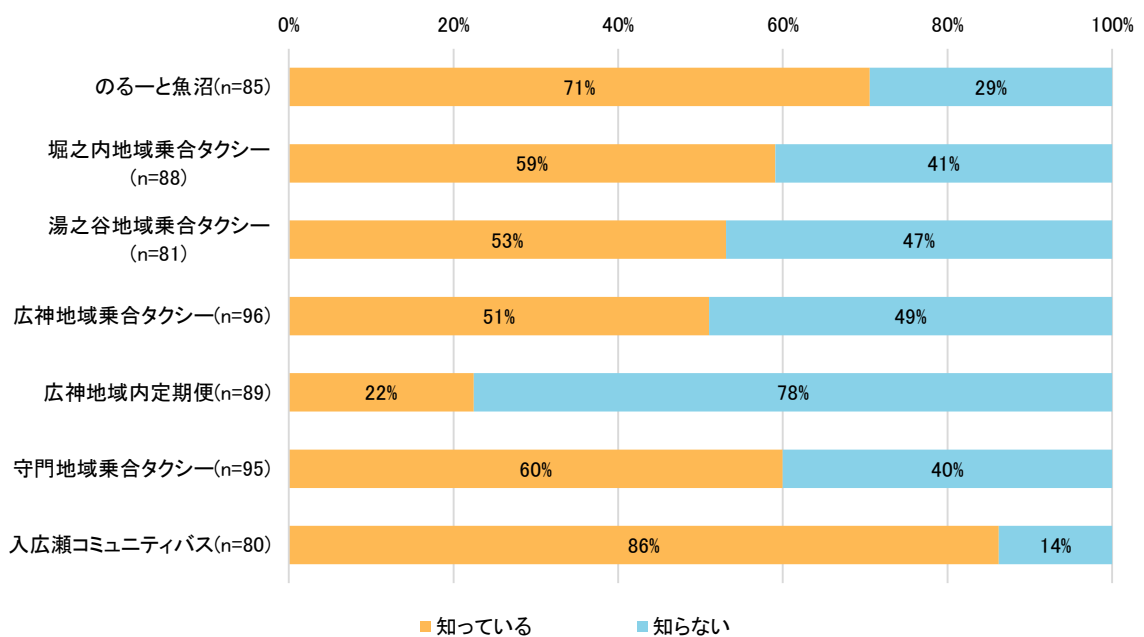
### ■入広瀬コミュニティバスの前回調査との認知度比較

○前回調査との比較では、「知っている」が前は100%であるのに対し、今回調査では86%と、認知度の低下が見られた。



### ■各路線の運行地域内での認知度比較

○今回調査での路線の認知度を比較したところ、入広瀬コミュニティバスが86%と最も高い結果となった。  
 ○その他の路線も認知度が50~70%程度と比較的高い傾向であるが、広神地域内定期便の認知度は22%と、他路線に比べ低く留まっている。

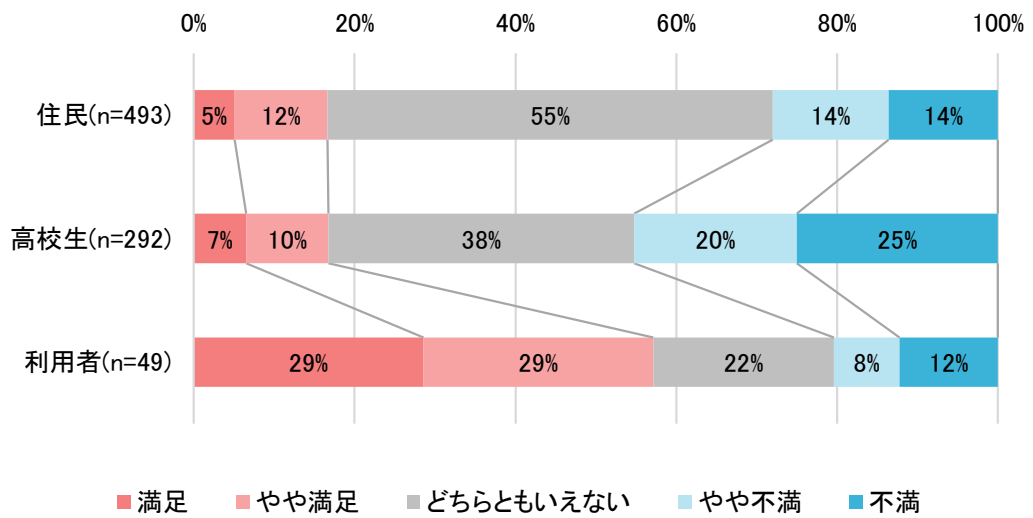


(12) 問4 市内の公共交通に対する満足度と将来の移動に対する安心感について

■満足度について

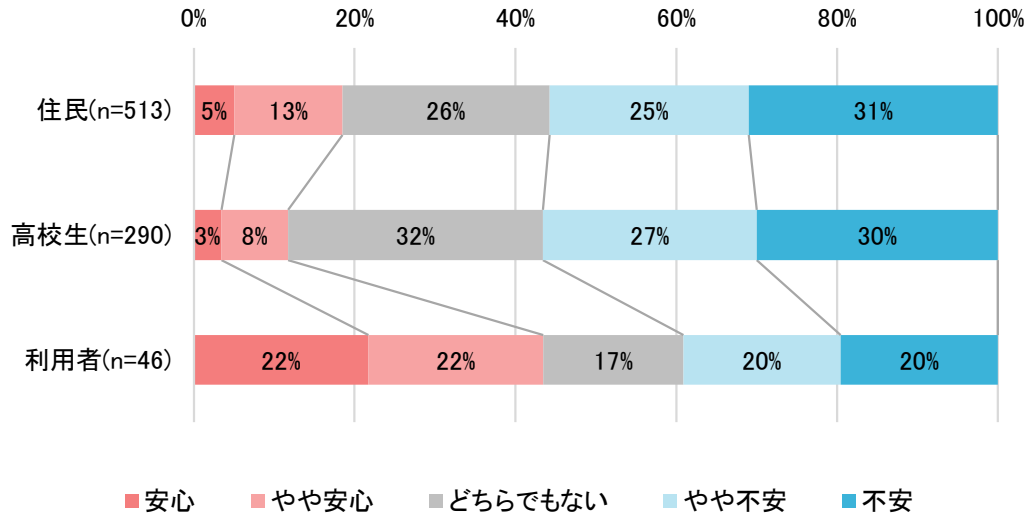
○住民・高校生ともに、「満足」「やや満足」の合計が、「やや不満」「不満」の合計よりも低い結果となった。また、特に高校生は「やや不満」「不満」と感じている人が45%と多い。

○利用者は住民や、高校生と比べて「満足」「やや満足」と感じている人が多い結果となった。



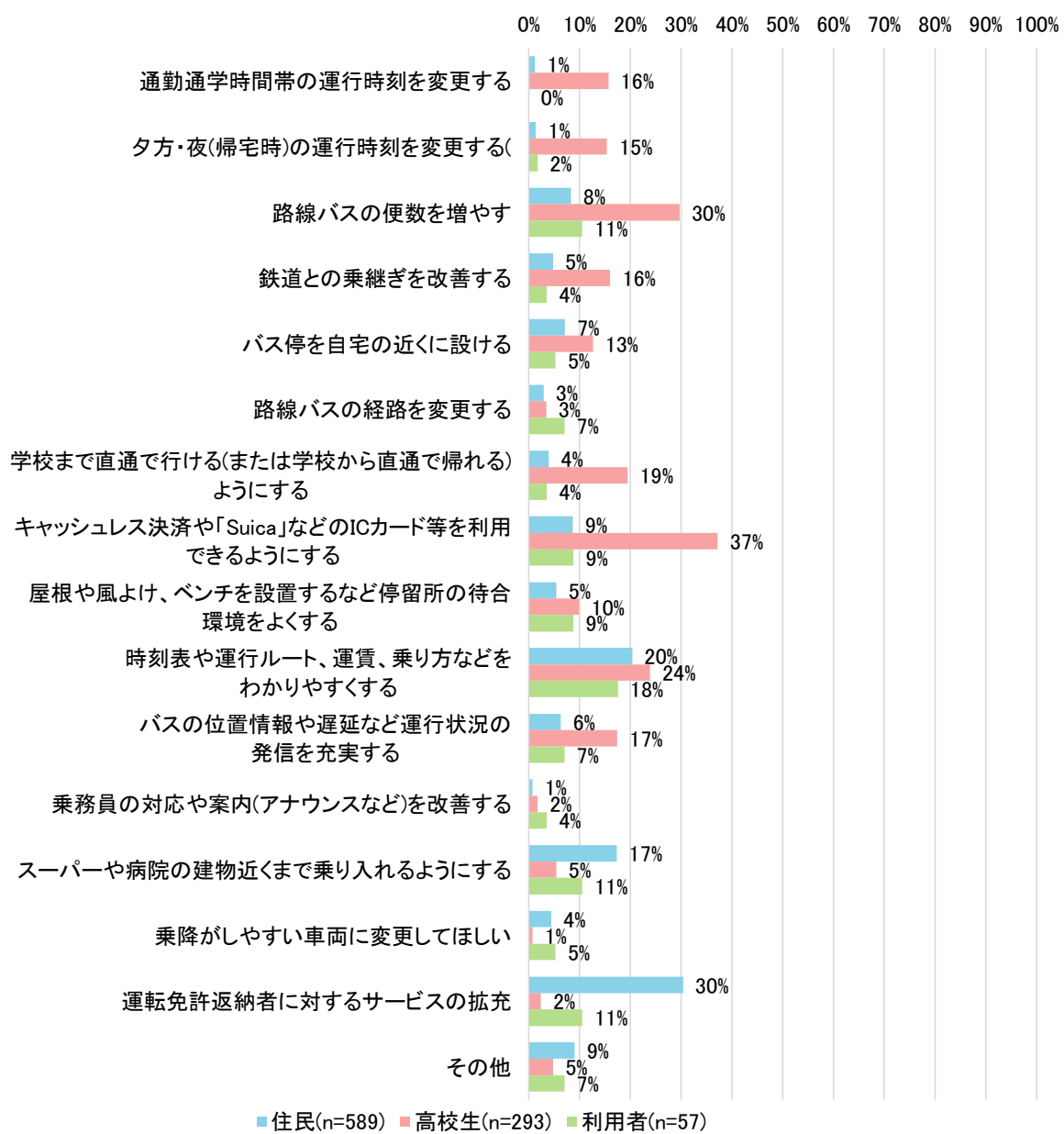
## ■将来の移動に対する安心感

- 住民および高校生は、「やや不安」「不安」の合計が、どちらも50%以上であり不安に感じている人が多い。
- 利用者においては「安心」「やや安心」の割合と、「やや不安」「不安」の割合がほぼ同程度である。



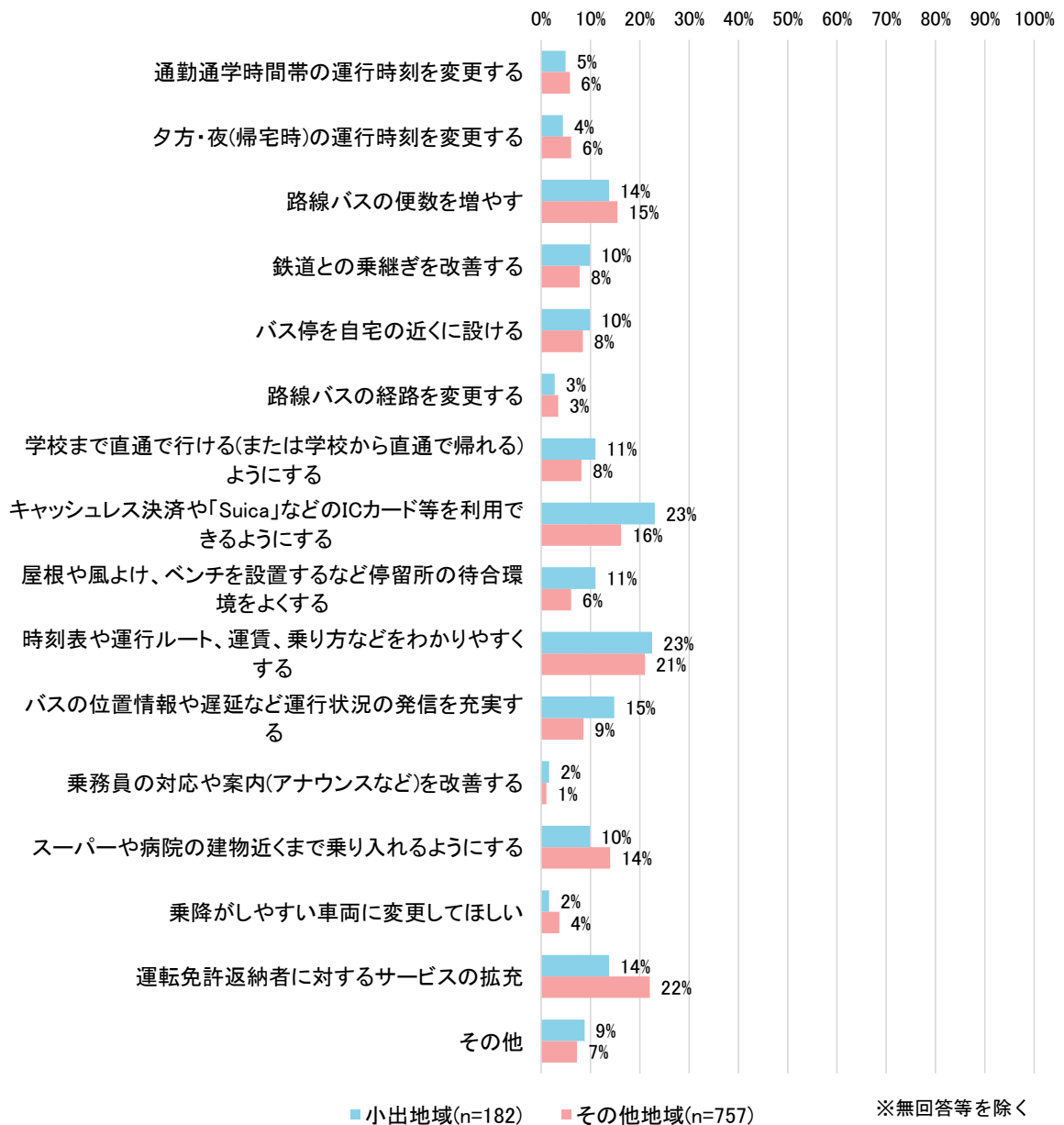
(13) 問5 路線バス(入広瀬込みバスも含む)について改善が必要だと思う項目(4つまで○)

- 住民においては「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が30%と最も回答が多く、次いで「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が20%の回答であった。
- 高校生においては「キャッシュレス決済や「Suica」などのICカード等を利用できるようにする」が37%と最も回答が多く、次いで「路線バスの便数を増やす」が30%の回答であった。
- 利用者においては突出した回答は見られなかったが、「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が18%と最も回答が多かった。



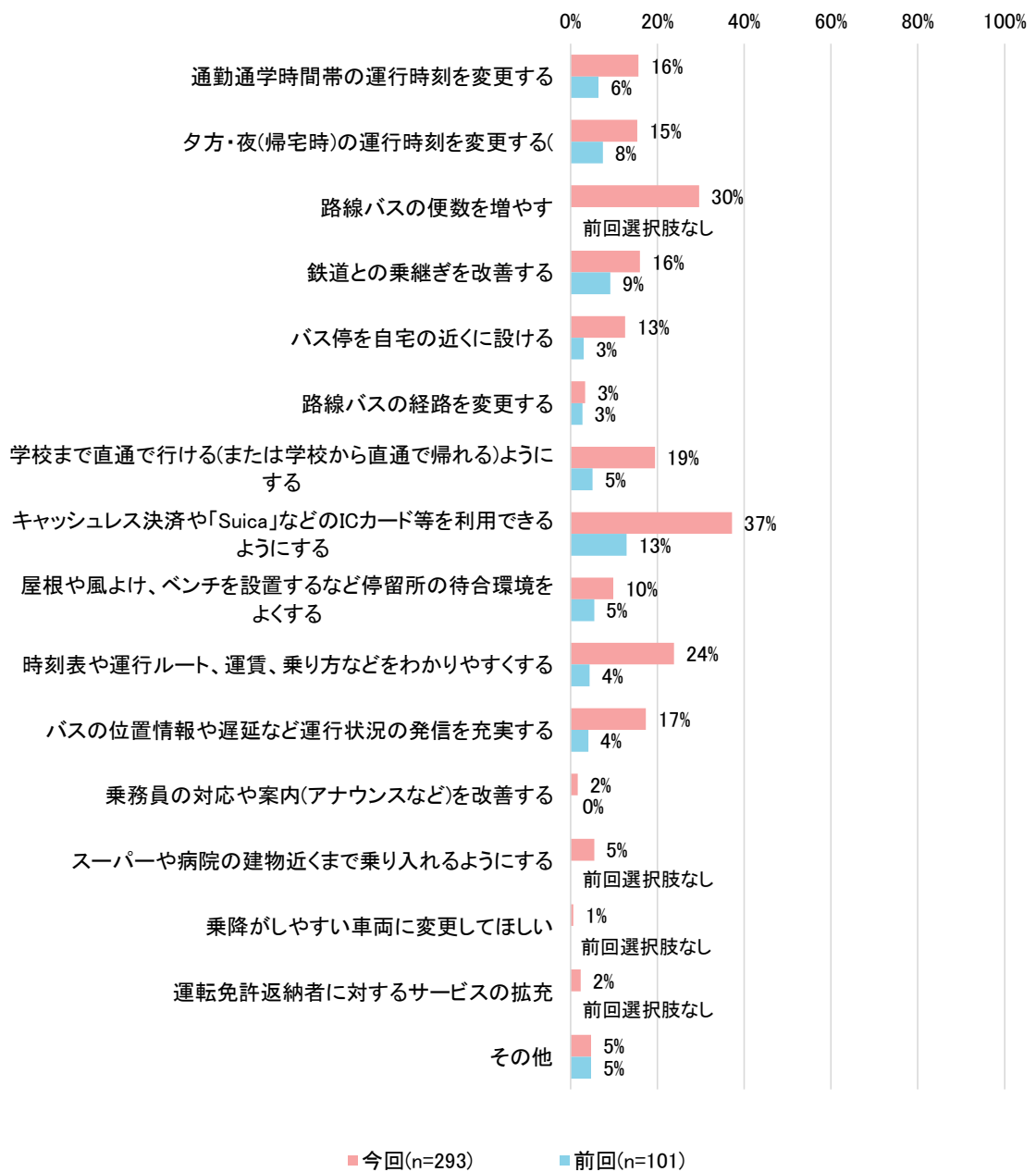
## ■小出地域とその他地域での路線バスの改善要望比較

- 小出地域では「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」「キャッシュレス決済や「Suica」などのICカード等を利用できるようにする」の2項目が23%と最も回答が多く、次いで「バスの位置情報や遅延など運行状況の発信を充実する」が15%の回答であった。
- その他地域では「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が22%と最も回答が多く、次いで「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が21%の回答であった。



## ■路線バス(入広瀬込みバスも含む)の改善要望の前回調査比較

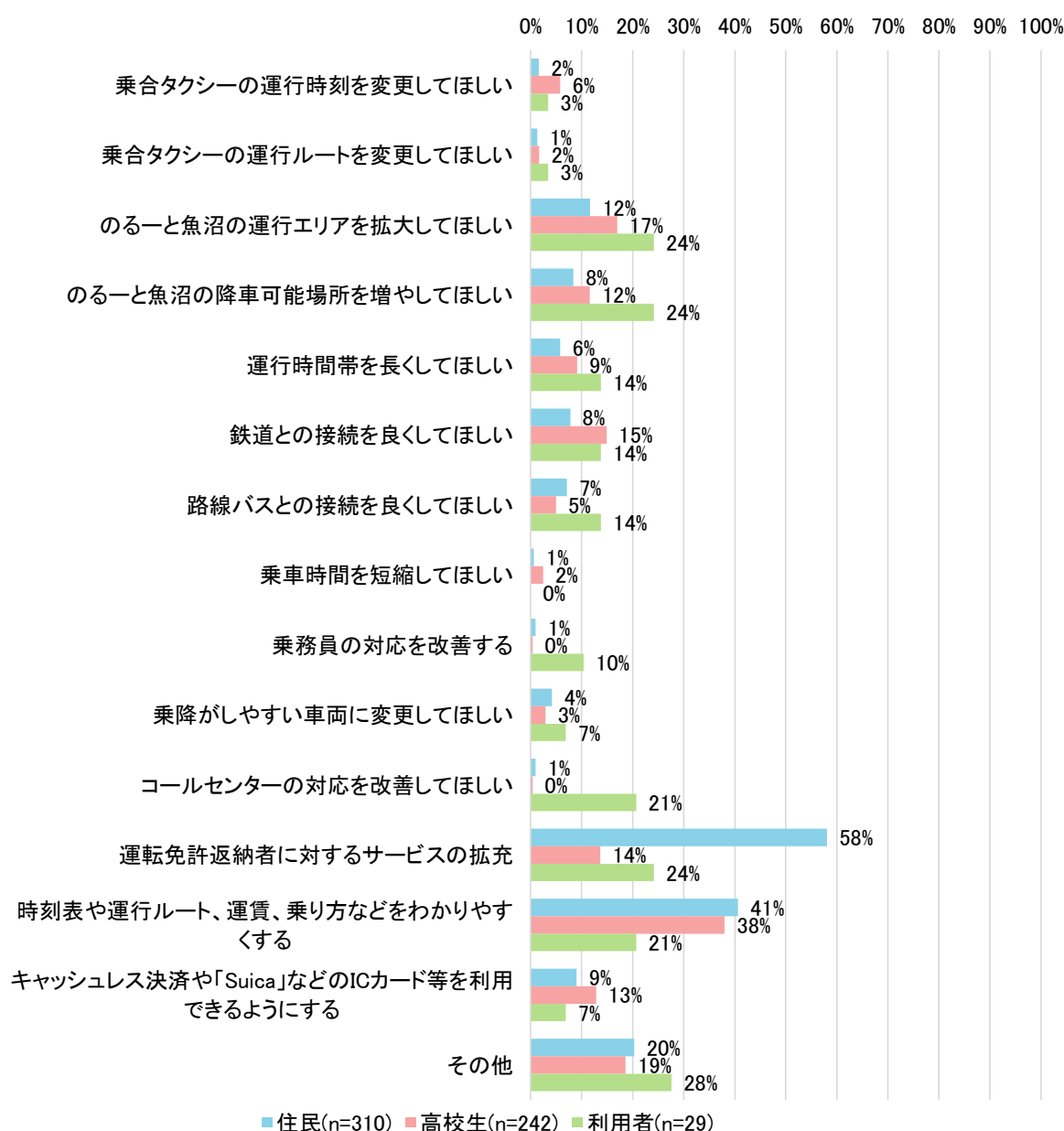
- 今回の調査では全体的に改善要望が高くなっている。
- 特に「キャッシュレス決済や「Suica」などのICカードを利用できるようにする」が37%と最も回答が多く、前回よりも大幅に増加している。
- また、「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」、「バスの位置情報や遅延など運行状況の発信を充実する」等も増加している。



※前回計画が高校生のみで改善要望を聞いていたため、上記は高校生のみでの調査結果の比較

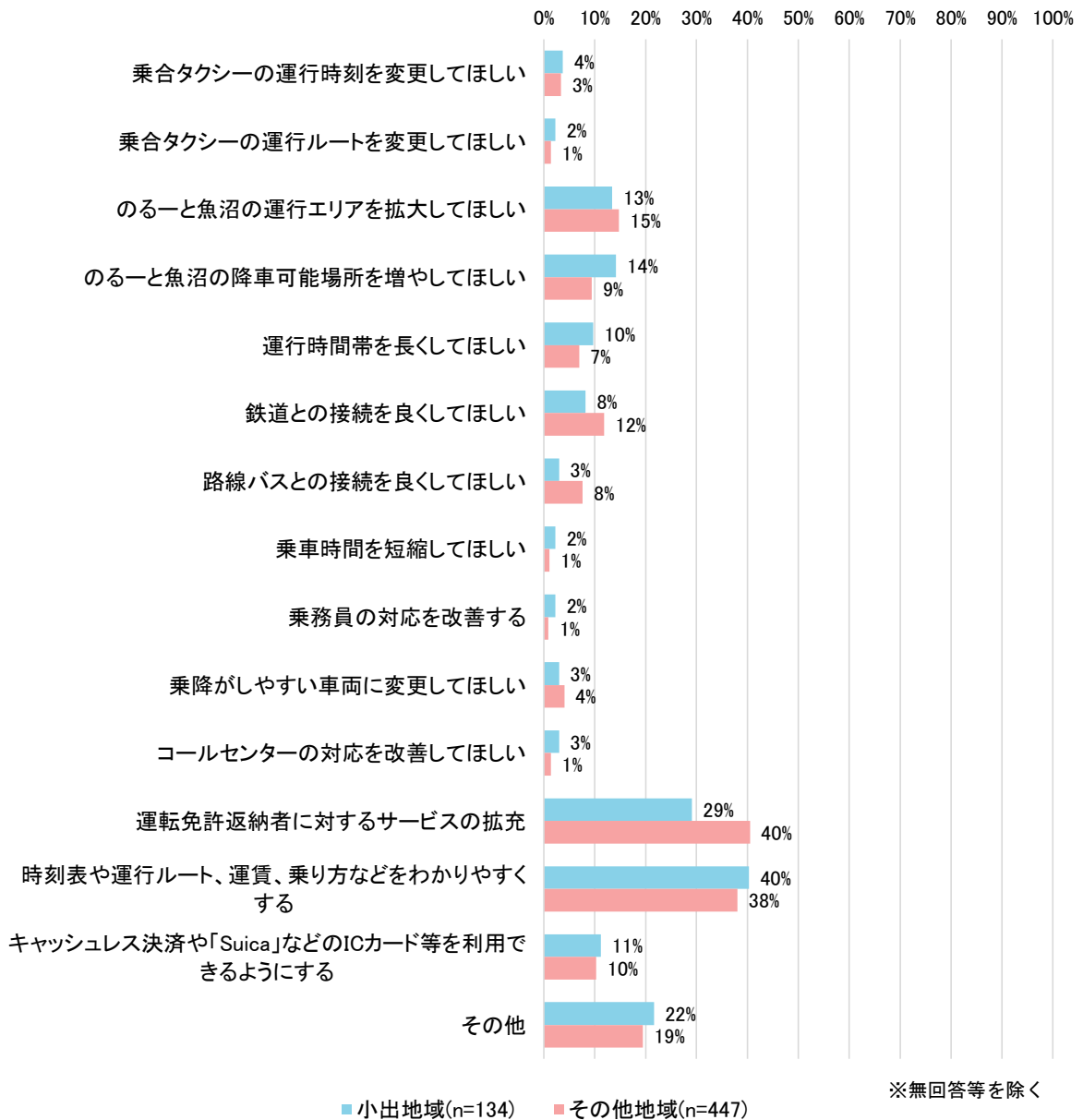
(14) 問 6-1 各地域乗合タクシーおよびのりーと魚沼に対して改善が必要だと思う項目を教えてください (4つまで)

- 住民においては「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が58%と最も回答が多く、次いで「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が20%であった。
- 高校生においては「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が37%と最も回答が多かった。
- 利用者においては「のりーと魚沼の運行エリアを拡大してほしい」「のりーと魚沼の降車可能場所を増やしてほしい」がともに24%と回答が多かった。



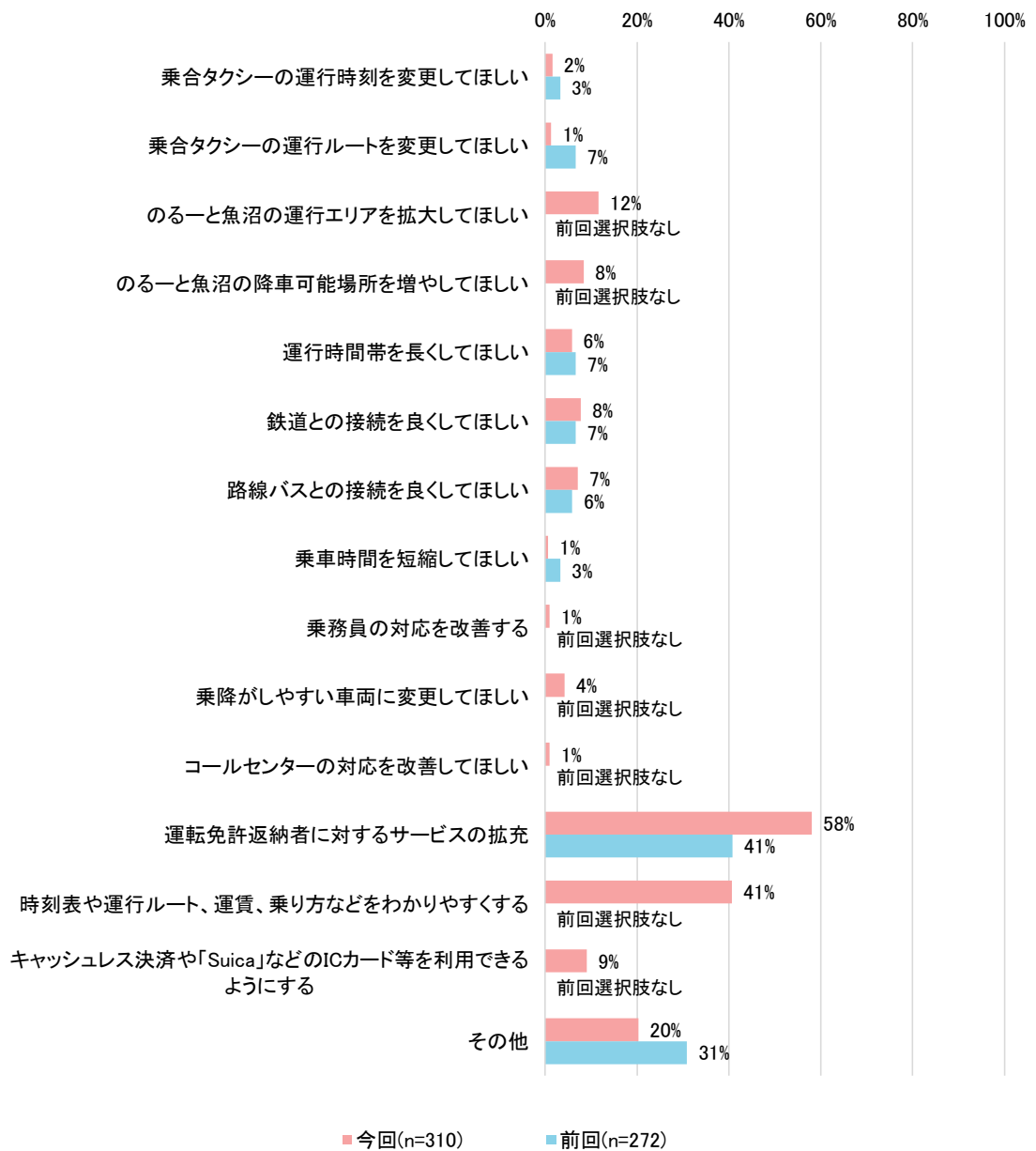
## ■小出地域とその他地域での乗合タクシー・のりーと魚沼の改善要望比較

- 小出地域では「時刻表や運行ルート、運賃、乗り方などをわかりやすくする」が40%と最も回答が多く、次いで「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が29%であった。
- その他地域では「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が40%と最も回答が多かった。



■乗合タクシー・のり一と魚沼の改善要望の前回調査比較（住民のみ）

- 「運転免許返納者に対するサービスの拡充」が58%と前回の41%と比較して増加している。
- 「乗合タクシーの運行ルートを変更して欲しい」が1%と前回の7%と比較して減少したことから、改善が図られたと考えられる。
- その他の項目は前回調査と大きな差はなかった。

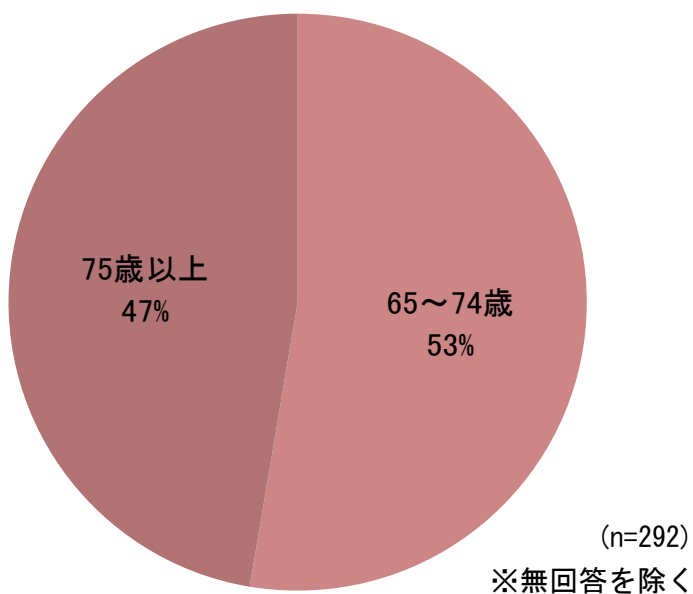


※前回計画が住民（65歳以上）のみに改善要望を聞いていたため、上記は高校生のみ調査結果の比較

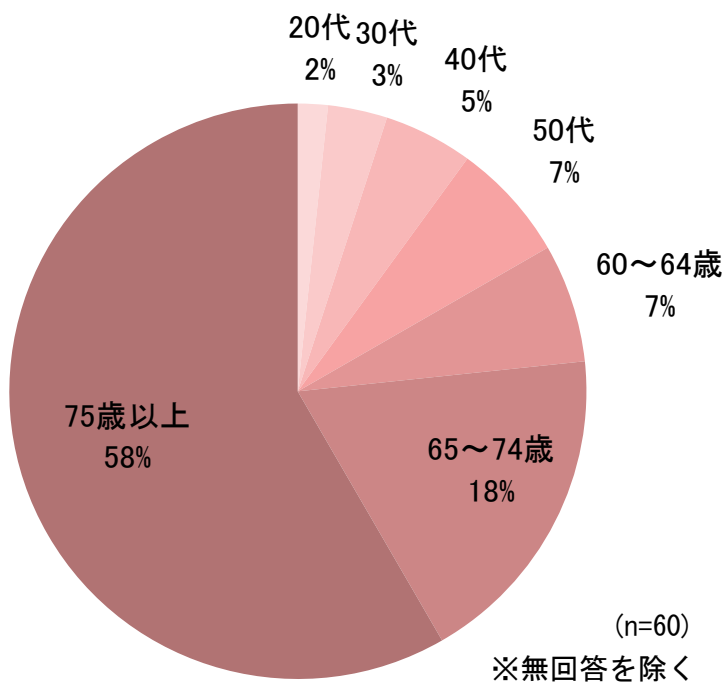
(15) 問 7-1 年齢構成

○住民（65歳以上）の年齢構成は「65～74歳」が53%、「75歳以上」が47%となった。  
○利用者は「75歳以上」が58%と最も多いが、20～50代からの回答もある。  
※高校生は10代の回答のみなので省略

■住民（65歳以上）

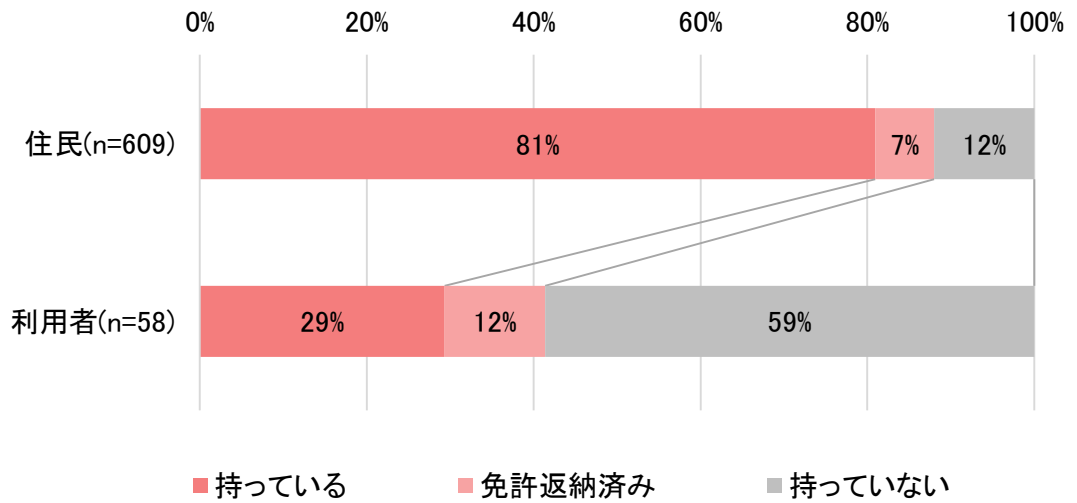


■利用者



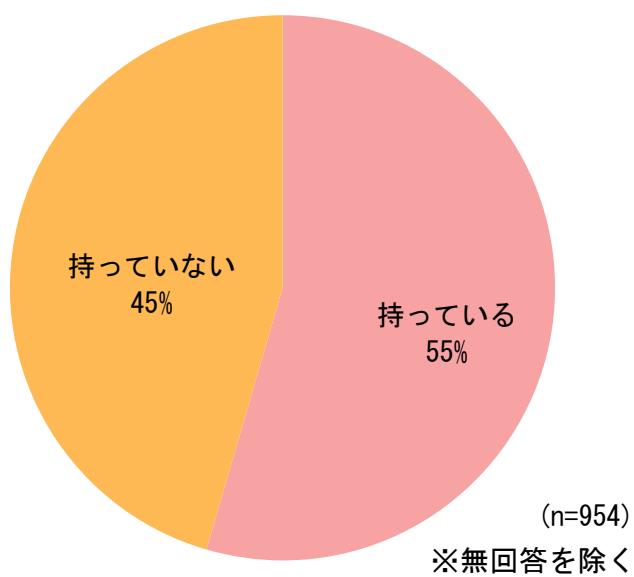
(16) 問 7-2 免許保有状況

○住民（65歳以上）の免許保有状況は「持っている」が81%と多く、「持っていない」が12%、「免許返納済み」が7%であった  
○一方で、利用者の免許保有状況は「持っている」が29%と、住民と比較して低い。また、「免許返納済み」は12%で、住民よりも多くなっている。



## ■自動車保有状況

○回答者の自動車保有状況は「持っている」が55%、「持っていない」が45%、であった



## ■自宅から最寄りのバス停留所（又は駅）までの移動時間

○回答者の移動時間は「徒歩5分未満」が33%、「徒歩5分以上10分未満」が24%、「徒歩10分以上」が33%、「わからない」が10%であった

